取扱説明書

BS・110 度 CS・地上デジタルチューナー内蔵
USB ハードディスク録画対応
ハイビジョン液晶テレビ

HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160
HS29K300/HS24K300

はじめに
機器の準備をする
テレビを見る
番組の録画、再生、予約をする
接続した機器を使う
設定をする
その他の情報

Hisense® ハイセンス

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意（☞ 2 ～ 7 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。
内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。

⚠ 注意 この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味（例）

気をつけていただきたいという記号です。

してはいけないという記号です。

していただきたいという記号です。

⚠ 警告（移動、設置）

正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。
修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
【HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160 は 10kg を超える重量物ですので、必ず２人で運搬 / 移動 / 設置をしてください。】

運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどを全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
・棚や押入の中に置かない。
・ホットカーペットの上に置かない。
・布をかけない。

⚠ 警告（移動、設置）（つづき）

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

・上部：30 cm
・左右：10 cm
・下部：10 cm（壁掛けの場合）
・背面：6 cm

壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう

設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因になることがあります。

目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いをかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告（電源コード・プラグ）

⃠ コンセントや配線機器の定格を超える使いかたや、交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

⃠ 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⃠ 電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

⃠ ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

❗ 電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差してください。

❗ 電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

❗ お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

⃠ ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

⃠ 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⃠ 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告（使用）

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 警告（電池）

電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

内部の掃除をお買い上げ店に依頼する

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3 年に 1 度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店ご依頼ください。

⚠ 注意（電池）

指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠ 廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意（廃棄）

一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

家電リサイクル法に従って廃棄する

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村などの自治体に適正に引き渡すことが求められています。
詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リサイクル券センターまでお願いいたします。
電話：（フリーダイヤル）0120-319640
ホームページ（URL）：
http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure_s.html

目次

安全上のご注意.....2
警告（移動、設置）.....2
警告（移動、設置）（つづき）.....3
警告（電源コード・プラグ）.....4
警告（使用）.....5
警告（電池）.....5
注意.....6
注意（電池）.....7
注意（廃棄）.....7
目次.....8

はじめに.....9

本書の読みかた.....10
説明のしかたについて.....10
アイコンについて.....10
使用上のご注意・お手入れについて.....11
各部の名前.....13
本体操作部 **[HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160]**
.....13
本体接続部 **[HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160]**
.....14
本体操作部 **[HS29K300/HS24K300]**.....15
本体接続部 **[HS29K300/HS24K300]**.....16
リモコン.....17

機器の準備をする.....19

付属品を確認する.....20
リモコンについて.....22
デジタル放送について.....23
デジタル放送の特徴.....23
本機で視聴可能なデジタル放送の種類.....24
デジタル放送を視聴するための準備.....24
設置のしかた.....25
設置の手順.....25
台座をつける.....27
B-CAS カードを入れる.....35
アンテナの接続.....36
UHF アンテナを接続する.....36
BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する.....37
マンションなどの共聴システムで接続する.....37
LAN への接続（双方向通信用）.....38
電源コードの接続.....39
接続する.....39
電源に関するご注意.....39
他の機器との接続.....40
USB ハードディスクを接続する.....40
ヘッドホンを接続する.....40
DVD プレーヤーなどを接続する.....41
パソコンを接続する.....44
AV アンプなどを接続する.....45
機器リンク対応機器と接続する.....45
かんたんセットアップをする.....46

テレビを見る.....49

共通の操作.....50
チャンネルを選ぶ.....51
デジタル放送を楽しむ.....52
映像と音の操作.....55

番組の録画、再生、予約をする.....57

番組の視聴予約をする.....58
番組の録画、録画予約をする.....60
録画について.....61
動作確認済 USB ハードディスク対応機器.....61
デジタル放送の著作権保護について.....61
録画するときのご注意.....61
録画した番組を見る、編集する.....65
録画した番組をダビングする.....70

接続した機器を使う.....73

接続した機器の映像を見る.....74
機器リンクで外部機器を操作する.....75

設定をする.....77

設定メニューについて.....78
各種設定.....80

その他の情報.....97

故障かな？と思ったら.....98
お問い合わせの前に.....98
原因と対策.....98
用語の解説.....104
主な仕様.....106
ソフトウェアのライセンス情報.....122
ソフトウェアのライセンス情報.....122
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.....123
保証とアフターサービス.....132

はじめに

この章では、本機をご利用いただく上での注意事項や各部の名前など、
最初に知っておいていただきたい内容を記載しています。

ページ

本書の読みかた 10

使用上のご注意・お手入れについて 11

各部の名前 13

本書の読みかた

説明のしかたについて

- 本書は、HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160/HS29K300/HS24K300 の 8 つのモデルの取扱いを説明しています。
- 文中の太字は画面に表示される選択項目、カッコ付きの太字はボタン名を表しています。

  例）

  選択項目：**受信設定** / **リモコン設定** / **受信レベル**

  ボタン名：**[電源]**/**[映像切換]**/**[決定]**
- 説明文中の用語には、専門性が高くわかりにくい言葉も含まれます。わかりにくい言葉については、「用語の解説」（☞ 104 ページ）をご覧ください。

映像と音の操作

チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

● [画面表示] を押す

もう一度 [画面表示] を押すと、表示が消えます。

画面モードを切り換える

画面の縦横比を切り換えます

1 [ワイド切換] を押す

2 お好みにより、ノーマル、スムーズ、映画 1、映画 1 字幕、映画 2 字幕、フル、スタンダード、フル HD、ズームを選択して、[決定] を押す

お知らせ

● [メニュー（字幕）] を押して、**ワイド切換**を選択しても切り換えができます。また**各種設定**からも切り換えができます。（☞ 85 ページ）

映像、音声、字幕を切り換える

番組により映像や音声を切り換えることができます。切り換えた信号は有料な場合があります。

● 番組視聴中に [**メニュー（字幕）**] を押して、**番組説明**を選択して [**決定**] を押す

設定項目	設定内容
映像	複数の映像がある場合は、切り換えができます。マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も切り替わります。
音声	複数の音声がある場合は切り換えができます。
字幕	複数の字幕がある場合は切り換えができます。**なし**を選択すると、字幕は表示されません。

お知らせ

● 映像や音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。

● 字幕の表示、非表示は [**メニュー（字幕）**] を押して、**字幕設定**を選択しても可能です。

● 音声の切り換えは、[**音声切換**] を押して、切り換えることも可能です。

● ステレオ放送やモノラル放送のときは、音声を切り換えることはできません。

HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160/HS29K300/HS24K300 55

アイコンについて

⚠ご注意

説明文中で、とくにご注意頂きたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元にもどります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意・お手入れについて（つづき）

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 0 ～ 35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

- テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

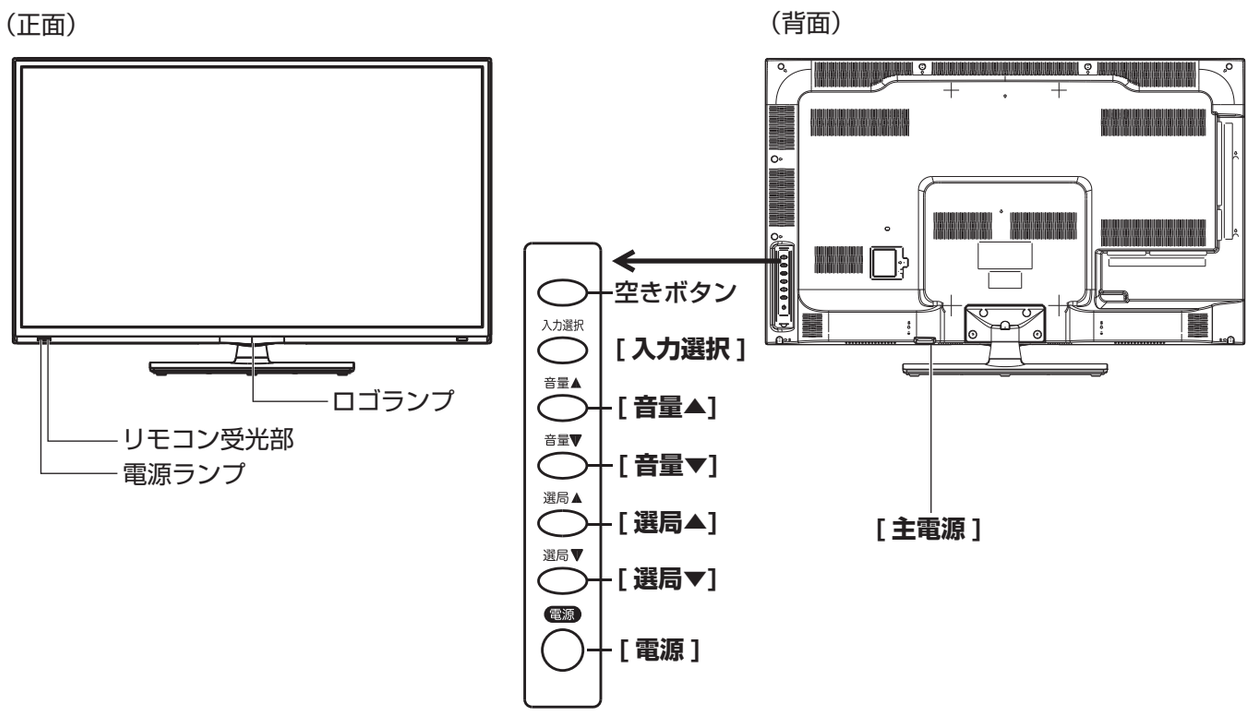
USB ハードディスクについて

- USB ハードディスクを本機に正しく接続してください。正しく接続されていないと、本機では USB ハードディスクの登録ができません。またハードディスクを破損するおそれがあります。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因になります。

各部の名前

本体操作部

[HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160]
[説明例] HS39K360



[主電源]
本機の電源をオン・オフします。

[入力選択]
接続している外部機器の映像に切り換えます。

[音量▲]/[音量▼]
スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。

[選局▲]/[選局▼]
チャンネルの順送りによる選局を行います。

[電源]
スタンバイと電源オンの切り替えを行います。

⚠ご注意

- スタンバイのときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行など , 本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、本体の **[主電源]** をオフにしてください。

お知らせ

- 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

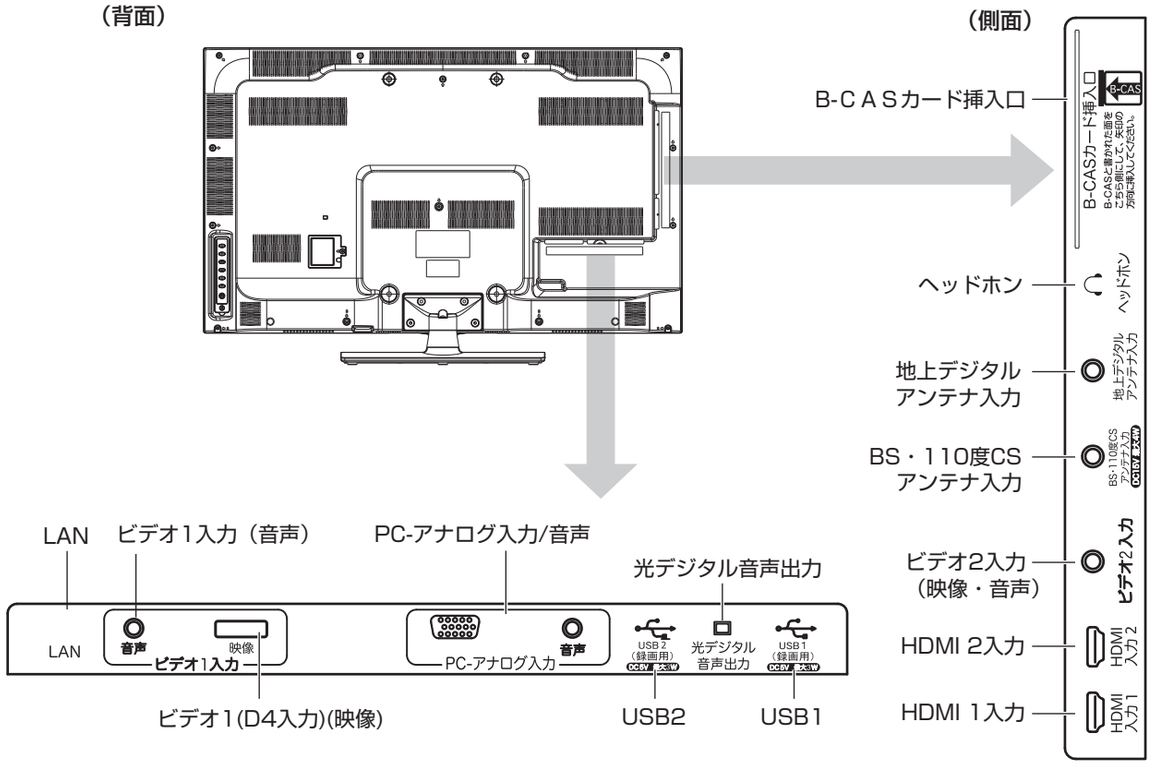
主電源オフ：	消灯
スタンバイ：	赤
電源オン：	緑
スタンバイ、予約あり：	黄
電源オン、予約あり：	青
スタンバイ、録画実行中：	紫
電源オン、録画実行中：	水色

- ロゴランプは電源オンのとき、白色に点灯します。（HS39K160/HS32K160 は点灯しません。）

各部の名前（つづき）

本体接続部

[HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160]
[説明例] HS39K360



（側面）

B-CAS カード挿入口
B-CAS カードを挿入します。

ヘッドホン入力
ヘッドホンと接続します。

地上デジタルアンテナ入力
アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力
アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

ビデオ 2 入力 (映像 / 音声)
付属の変換アダプターと市販の AV ケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 1入力 /HDMI 2入力
市販の HDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

（背面）

LAN
データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

ビデオ 1 入力（D4 映像 / 音声）
市販の D 端子ケーブル・音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

PC- アナログ入力
市販の VGA ケーブルを使用してパソコンを接続します。

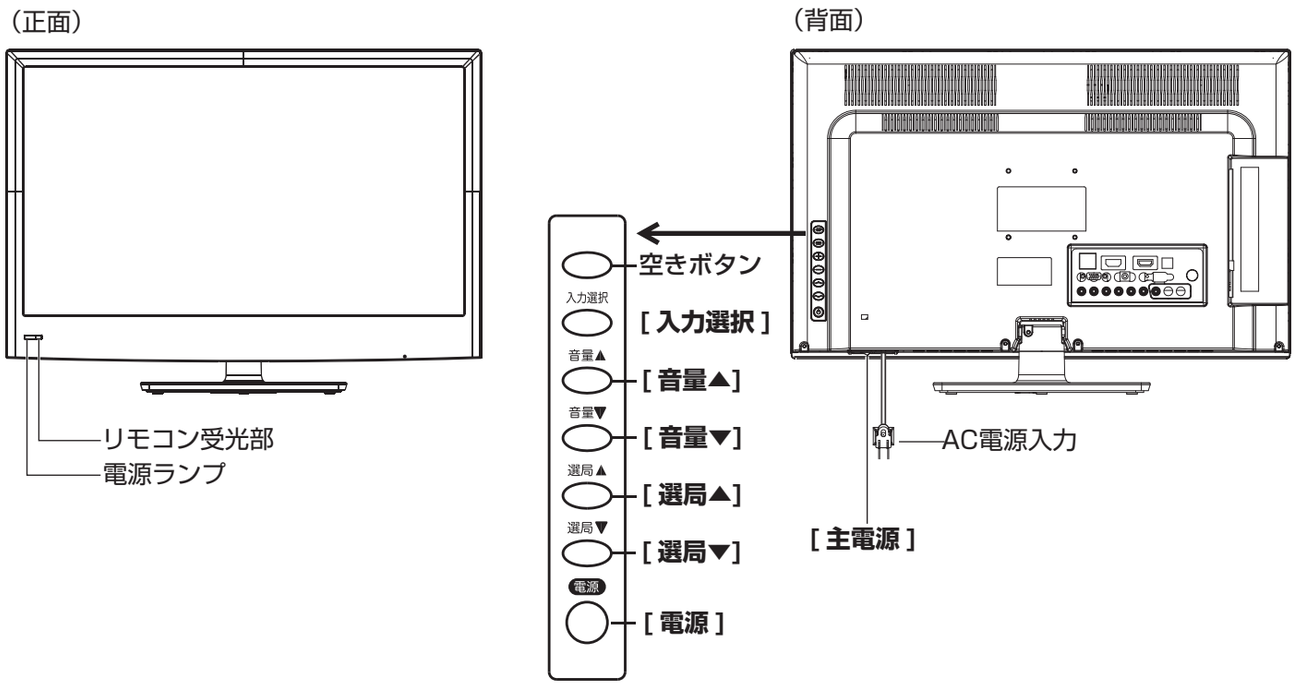
音声入力 (ステレオミニピン用)
パソコンの音声出力やヘッドホンと接続します。プラグを差し込むとスピーカーの音は消えます。

USB1・USB2
別売の USB ハードディスクを接続します。

光デジタル音声出力
市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

本体操作部

[HS29K300/HS24K300]
[説明例] HS24K300



[主電源]
本機の電源をオン・オフします。

[入力選択]
接続している外部機器の映像に切り換えます。

[音量▲]/[音量▼]
スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。

[選局▲]/[選局▼]
チャンネルの順送りによる選局を行います。

[電源]
スタンバイと電源オンの切り替えを行います。

お知らせ

- 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

主電源オフ：	消灯
スタンバイ：	赤
電源オン：	緑
スタンバイ、予約あり：	黄
電源オン、予約あり：	青
スタンバイ、録画実行中：	紫
電源オン、録画実行中：	水色

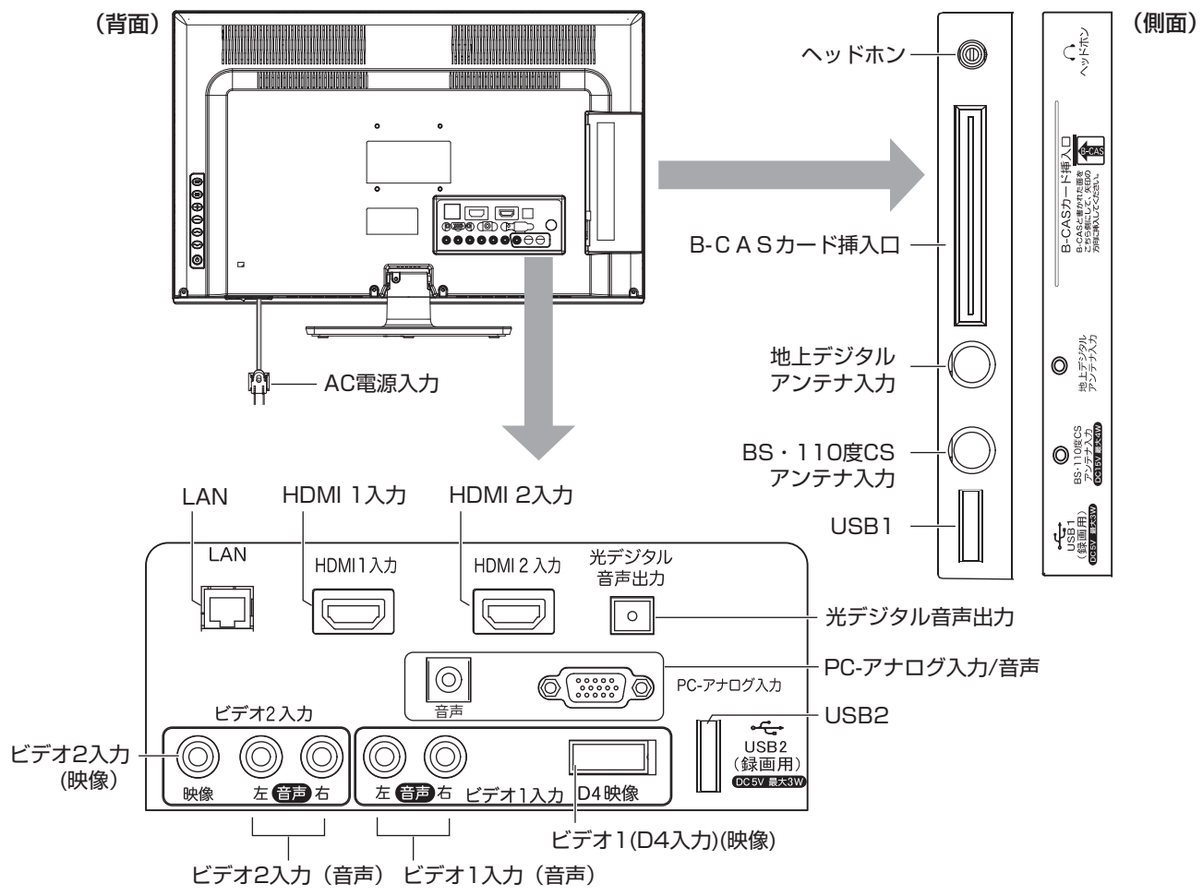
⚠ご注意

- スタンバイのときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行など , 本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、本体の **[主電源]** をオフにしてください。

各部の名前（つづき）

本体接続部

[HS29K300/HS24K300]
[説明例] HS24K300



（側面）

ヘッドホン入力
ヘッドホンと接続します。

B-CAS カード挿入口
B-CAS カードを挿入します。

地上デジタルアンテナ入力
アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力
アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

USB1
別売の USB ハードディスクを接続します。

（背面）

LAN
データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

HDMI 1入力 /HDMI 2入力
市販の HDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

光デジタル音声出力
市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

PC- アナログ入力
市販の VGA ケーブルを使用してパソコンを接続します。

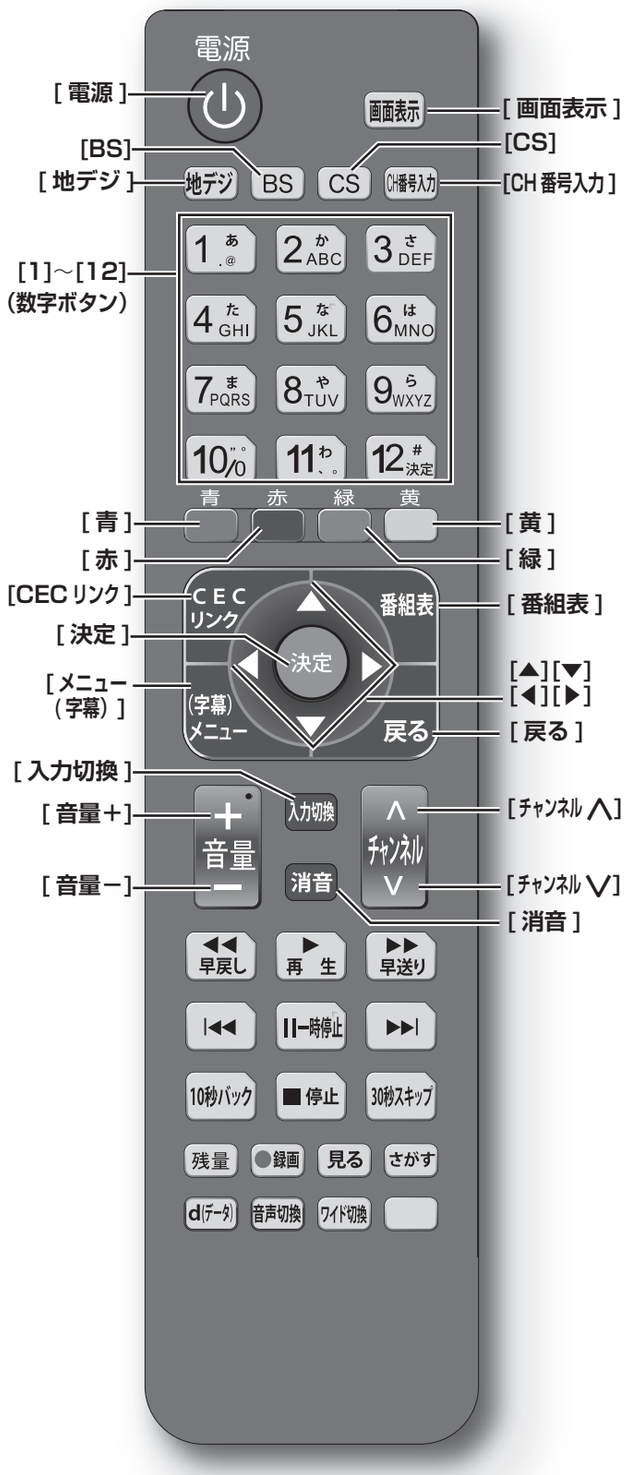
音声入力 (ステレオミニピン用)
パソコンの音声出力やヘッドホンと接続します。プラグを差し込むとスピーカーの音は消えます。

ビデオ 1 入力（D4 映像 / 音声）
市販の D 端子ケーブル・音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

ビデオ 2 入力 (映像 / 音声)
市販の AV ケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB2
別売の USB ハードディスクを接続します。

リモコン



[電源]
スタンバイと電源オンの切り替えを行います。

[画面表示]
受信チャンネルなどの情報を表示します。

[地デジ]
地上デジタル放送を受信します。

[BS]
BS デジタル放送を受信します。

[CS]
110 度 CS デジタル放送を受信します。

[CH 番号入力]
デジタル放送または CATV チャンネルのチャンネル番号を直接入力して選局するとき使用します。

[1] ～ [12]（数字ボタン）
チャンネルの直接選局などの数字入力に使用します。

[青]/[赤]/[緑]/[黄]
デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

[CEC リンク]
HDMI-CEC リンク機能の操作に使用します。

[決定]
[▲]/[▼]/[◀]/[▶] での選択を確定します。

[番組表]
番組表の表示 / 非表示を行います。

[メニュー (字幕）]
設定メニューを表示します。(字幕設定もこのボタンから行います。)

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
メニュー操作中などに、項目を選択します。

[戻る]
前の表示に戻ります。

[入力切換]
接続している外部機器の映像に切り換えます。

[音量＋]/[音量－]
スピーカー（またはヘッドホン）の音量を調節します。

[消音]
消音します。

[チャンネル ∧]/[チャンネル ∨]
チャンネルの順送りによる選局を行います。

各部の名前（つづき）

リモコン（つづき）

[さがす]
見たい番組を、ジャンル、キーワードなどから探します。

[d(データ)]
デジタル放送番組に連動したデータ放送画面に切り換えます。

[音声切換]
複数の音声があるときに切り換えます。

[ワイド切換]
アスペクト比を切り換えます.（メインメニュー画面でも可能です。）

以下のボタンは USB ハードディスク (別売) 接続時に使用します。

[再生]
録画番組を再生します。

[サーチ (早戻し／早送り) ／スロー]
再生中の場面を見ながら見たい場面を探します。また一時停止中に押すとスロー再生になります。

[スキップ／コマ送り]
チャプターの先頭から再生します。また一時停止中はコマ送り再生をします。

[一時停止]
再生中の映像を一時停止します。

[10 秒バック]
再生中に押すと、約 10 秒戻って再生します。

[停止]
録画や再生中の映像を停止します。

[30 秒スキップ]
再生中に押すと約 30 秒先のシーンから再生します。

[残量]
接続された USB ハードディスクの残量を確認します。

[録画]
現在見ている番組の録画をします。

[見る]
録画した番組一覧表を見たり、編集を行います。また USB ハードディスクの取り外しを行います。

機器の準備をする

この章では、本機や本機に接続する機器の設置および設定方法などについてご説明いたします。

ページ

付属品を確認する 20

リモコンについて 22

デジタル放送について 23

設置のしかた 25

アンテナの接続 36

LAN への接続（双方向通信用） 38

電源コードの接続 39

他の機器との接続 40

かんたんセットアップをする 46

付属品を確認する

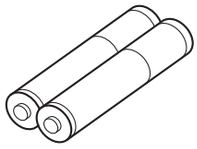
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

取扱説明書 x1 部・クイックガイド x1 部

保証書 x1 部

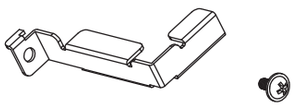
アンテナケーブル x1 本

赤外線リモコン x1 台



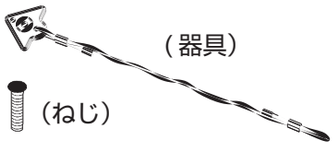
リモコン用単四電池 x2 本

B-CAS カード（レッドカード）x1 枚



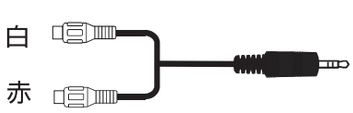
B-CAS カード固定用金具 x1 セット

HS24K300 には付属していません。
※HS50K360/HS50K610 の器具は形状・付属品が異なります。



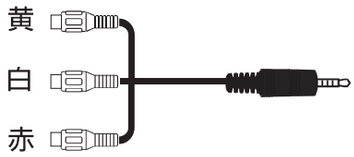
転倒防止用器具　1 式

HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160 に付属



ビデオ 1 入力用変換アダプター
(D 端子・音声ケーブル接続用)

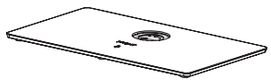
HS50K610/HS50K360/HS39K360/HS39K160/HS32K360/HS32K160 に付属



ビデオ 2 入力用変換アダプター
(AV ケーブル接続用)

HS50K610/HS50K360

台座部品一式



台座　1個

首　1個

接続部　1個

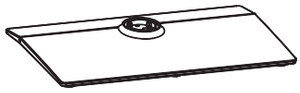
M5 x 12 mm
ねじ　4個

M4 x 12 mm
ねじ　6個

ST4 x 14 mm
ねじ　2個

HS39K360/HS39K160

台座部品一式



台座　1個

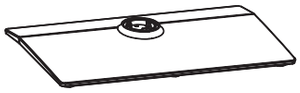
首　1個

接続部　1個

M5 x 12mm
ねじ　8個

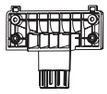
HS32K360/HS32K160

台座部品一式



台座　1個

首のカバー　1個



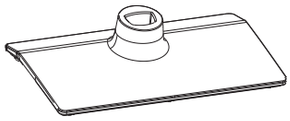
接続部　1個

M5 x 12 mm
ねじ　4個

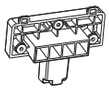
M4 x 12 mm
ねじ　1個

HS29K300

台座部品一式



台座　1個



接続部　1個

M4 x 12 mm
ねじ　4個

HS24K300

台座部品一式

台座　1個

首　1個

ST3 x 8 mm
ねじ　2個

M4 x 16 mm
ねじ　1個

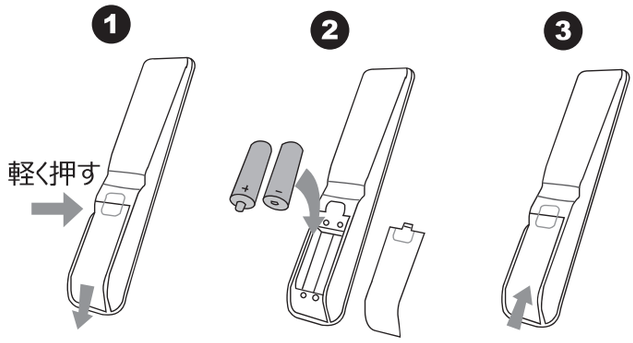
リモコンについて

電池の入れ方

❶電池カバーを開ける

❷＋極、－極の向きを確認し、正しい方向で単４電池の１本目を入れる

❸続けて同様に２本目の電池を入れ、電池カバーがカチッというまで押して閉める



⚠ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。
  漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お知らせ

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

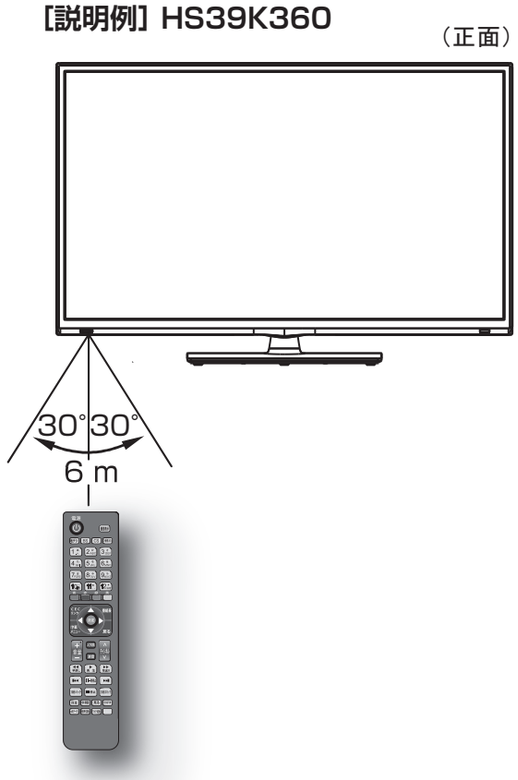
操作のしかた

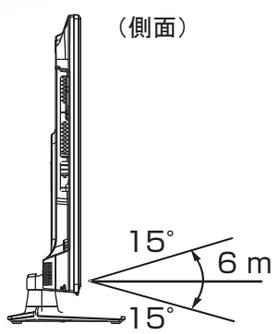
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

⚠ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。

[説明例] HS39K360





デジタル放送について

本機では地上デジタル、BS、110 度 CS デジタルの放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のようなアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

デジタル放送の特徴

高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送でみられるようなゴースト（映像の二重化）やスノーノイズ（雪が舞っているようなちらつき）といった映像の乱れが起こりません。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナログの通常放送と比較して走査線数（ブラウン管方式のテレビの映像の細密度を示す指数）で約 2 倍、解像度にして約 8 倍の高精細映像を楽しむことができます。音声についても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、高音質な音声を再現できます。

データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情報などの独立したデータ放送の受信ができます。

電子番組表（EPG）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を表示することができます。

したがって、最初にご使用になるとき、設定の初期化 (☞ 94 ページ) 後、あるいは電源を長期間（一週間以上）外していた場合などには、表示されません。また、電源オフ（電源ランプ消灯）の場合は最新の番組表に更新されません。電源スタンバイ（電源ランプが赤）の状態であれば自動的に受信して最新の番組表に更新されます。

双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の解答など、視聴者として番組に参加することができます。双方向通信をなさりたい場合は ADSL などのサービスを提供するプロバイダーとの契約が必要です

マルチ（複数）チャンネル

デジタル放送では、一つのチャンネルあたり、6MHz の帯域が与えられています。この帯域はさらに 430kHz ずつ、13 のセグメントとよばれる帯域に分割されています。この 13 のセグメントのうち、デジタルハイビジョン放送（HDTV) では、12 セグメントを使って放送されます。標準画質放送（SDTV) の場合は一つの番組では 4 セグメントしか使わないので、一度に 3 つの番組を放送することができます。

なお、本機は受信中の放送が HD か SD かを自動判別して映像を表示します。

デジタル音声放送（デジタルラジオ）

従来のアナログラジオ放送（AM、FM、短波）とは異なり、音楽 CD 並みに高音質な音声のみの放送を楽しむことができます。地上デジタル音声放送（デジタルラジオ）には、本機は対応しておりません。

臨時編成サービス

スポーツ中継が延長になった場合などに、別チャンネルで予定されていた番組を放送することができます。（イベントリレー）

字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどの音声を、文字にして画面に表示させることが できます。

文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報（文字スーパー）を画面に表示 することができます。

緊急警報放送

地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合などに放送される警報放送です。災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的としています。本機では、現在視聴中のチャンネルで緊急警報放送が開始された場合、「緊急警報放送を行っております。」のメッセージを表示します。

マルチビューサービス

放送中の番組を、別のカメラから見た視点で見ることができます

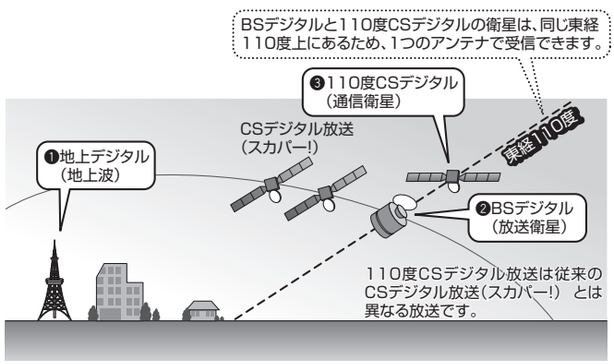
※ 上記のサービスや機能は、全てのデジタル放送の種類や放送局、番組で行っているというものではありません。

デジタル放送について（つづき）

本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタルの 3 種類のみです。

スカパー！（スカパー !e2 を除く）など、上記を除くデジタル CS 放送には対応しておりません。



デジタル放送を視聴するための準備

アンテナなどについて

デジタル放送を視聴するためには、受信用アンテナの用意をする必要があります。また、BS・110 度 CS デジタル放送を受信するには、放送局や放送事業者に受信申し込みをする必要があります。

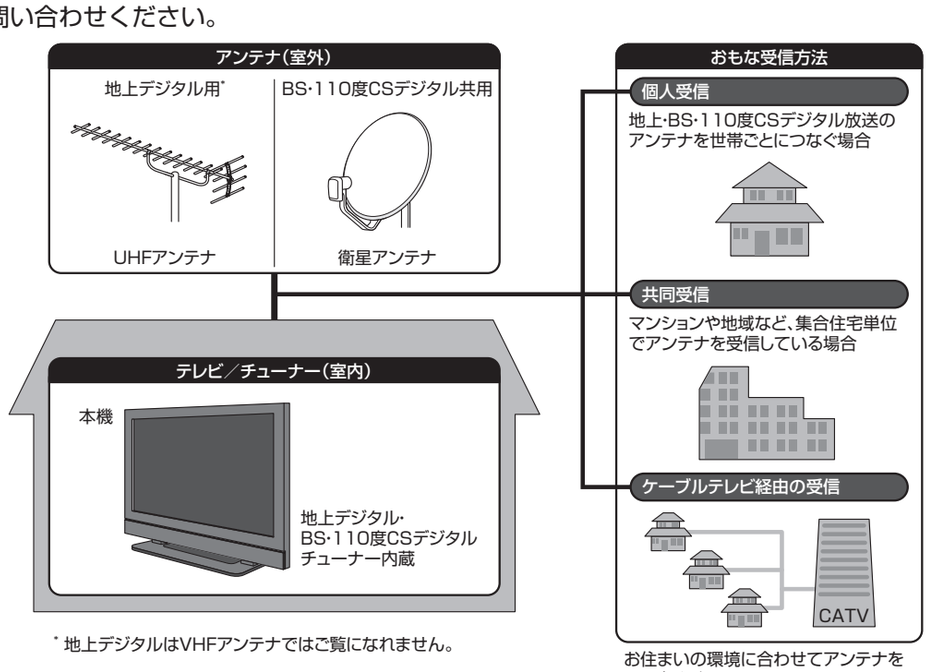
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によって異なります。詳しくはお買い上げ店などでご確認ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

本機はケーブルテレビのパススルー方式（同一周波数または UHF 帯域周波数変換）および帯域外周波数パススルーに対応しております。詳しくはご契約のケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- 衛星放送用には BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110 度 CS 帯域 (2,150MHz) まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。BS デジタル放送専用のアンテナでは 110 度 CS 放送は受信できません。



* 地上デジタルはVHFアンテナではご覧になれません。

お住まいの環境に合わせてアンテナをご用意ください。

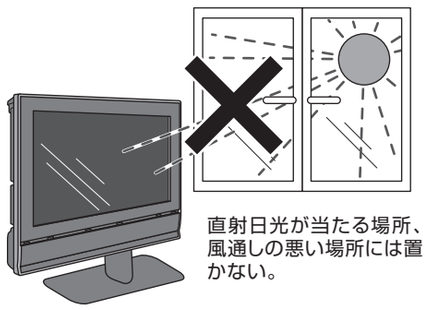
設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定した場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。



直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

2 台座をつける

- **HS50K610/HS50K360**（☞ 27 ページ）
- **HS39K360/HS39K160**（☞ 29 ページ）
- **HS32K360/HS32K160**（☞ 31 ページ）
- **HS29K300**（☞ 33 ページ）
- **HS24K300**（☞ 34 ページ）

⚠ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、台座を外さないでください。
- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

3 配置する

⚠ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

設置のしかた（つづき）

4 転倒防止策を実施する

付属の転倒防止器具を使って転倒防止策を実施してください。

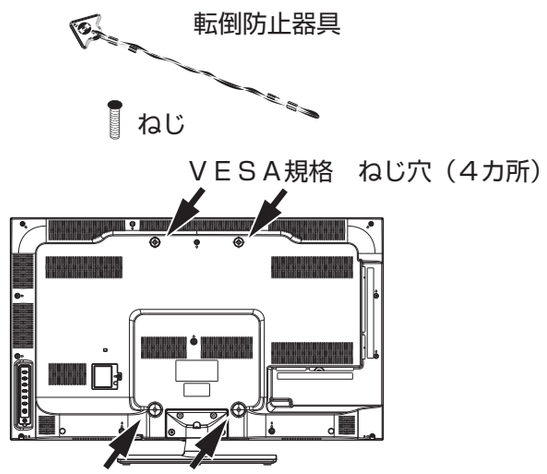
テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴の一つに、転倒防止器具の樹脂のアダプター部分を付属のねじで固定します。もう一方の輪の部分は壁などに引っかけて固定します。

HS24K300 には転倒防止器具は付属していませんので、市販品をご使用ください。

⚠ご注意

- 本機が転倒するとお客様のけがや本機の故障につながります。必ず転倒防止策を行ってください。
- 上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

[説明例] HS39K360



壁に掛けるとき

本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴を使用します。

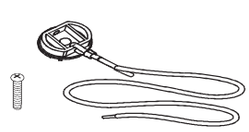
（☞ 114 ～ 121 ページ）

⚠ご注意

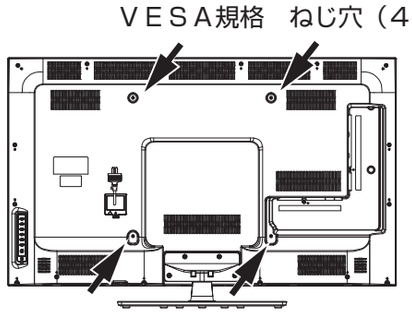
- 壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

[説明例] HS50K360/HS50K610 の 2 機種のみ

転倒防止器具
※スリーブが付属しています。



ＶＥＳＡ規格　ねじ穴（４カ所）



※ＶＥＳＡ穴に取り付けられているねじを外してから、器具を取り付けます。

通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所（棚や押入れの中など）や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

台座をつける

[HS50K610/HS50K360]

1 台座を組み立てる

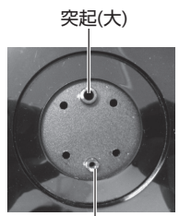
⚠ご注意
●組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。

❶台座と首の形状を合わせて、付属のねじで固定する

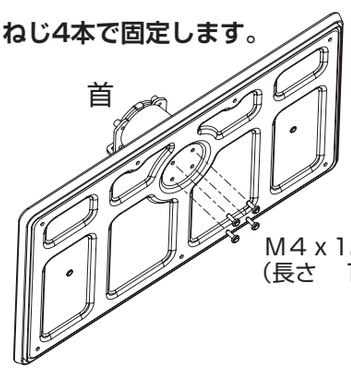
1. 各々のみぞ・突起（大、小）を組み合わせます。

※ 首のつなぎ目を下から見た図

※ 台座のつなぎ目を上から見た図



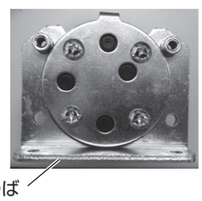
2. ねじ4本で固定します。



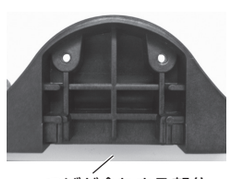
❷首と接続部の形状を合わせて、付属のねじで固定する

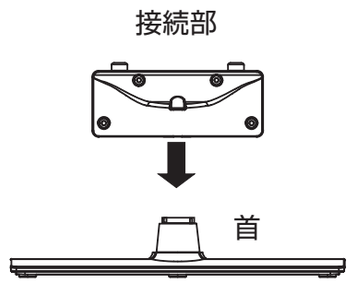
1. 首の【つば】の部分が接続部分ときちんと合うように組み合わせます。

※ 首のつなぎ目を上から見た図



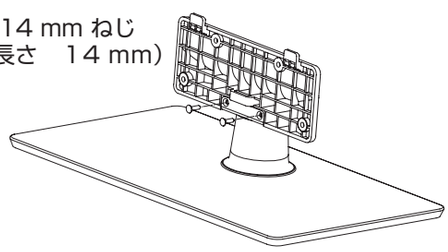
※ 接続部のつなぎ目を下から見た図





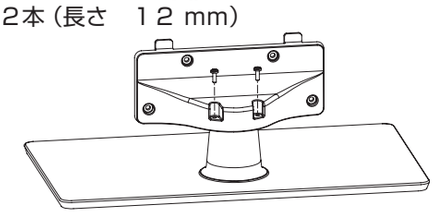
2. ねじ2本で接続部の前面を固定します。

ST4 x 14 mm ねじ
2本（長さ　14 mm）



3. ねじ2本で接続部の背面を固定します。

M4 x 12 mm ねじ
2本（長さ　12 mm）



設置のしかた（つづき）

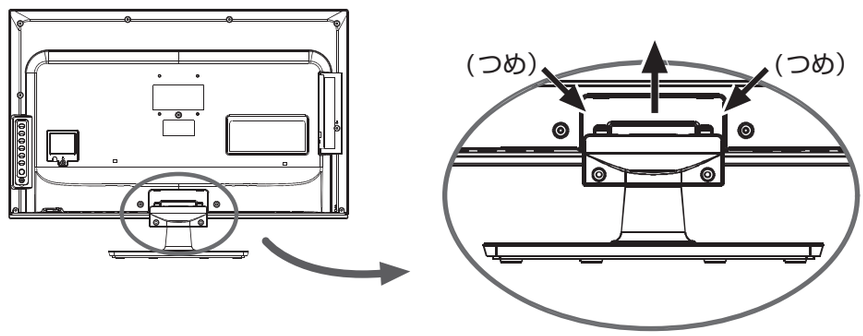
台座をつける（つづき）

[HS50K610/HS50K360]

2 台座を本機にしっかり固定する

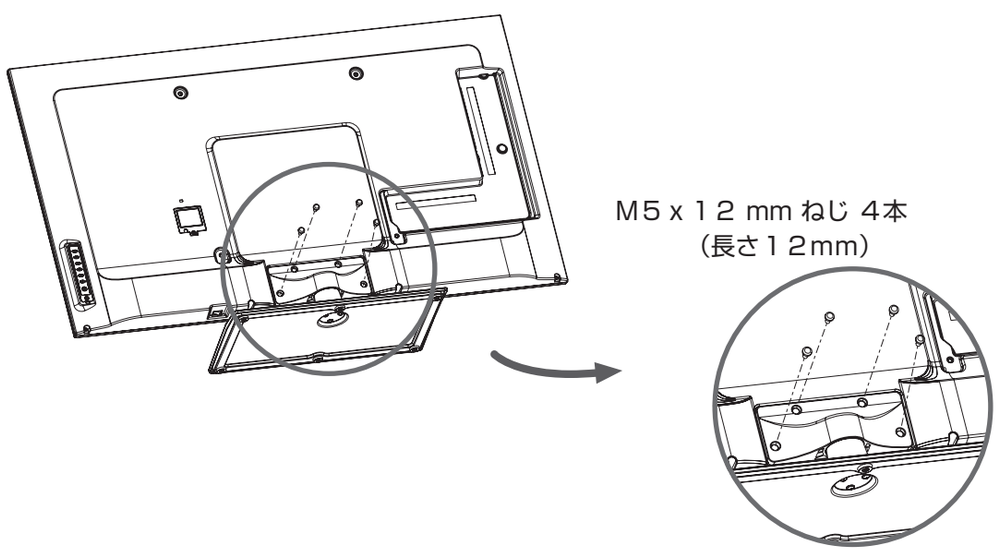
❶液晶画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く

❷本機と台座のねじ穴を合わせ、付属のねじで固定する



1. 矢印の【つめ】が、本体側の穴に入るよう接続部分を図のようにはめ込みます。

2. ねじ４本で本機と台座を固定します。



台座をつける（つづき）

[HS39K360/HS39K160]

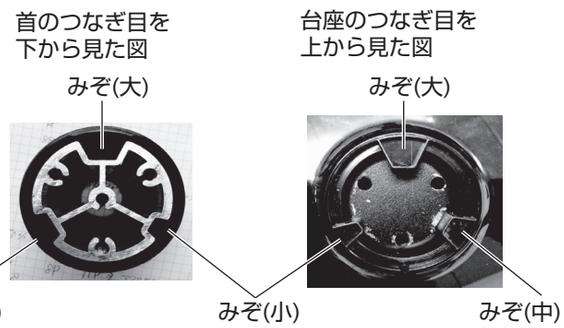
1 台座を組み立てる

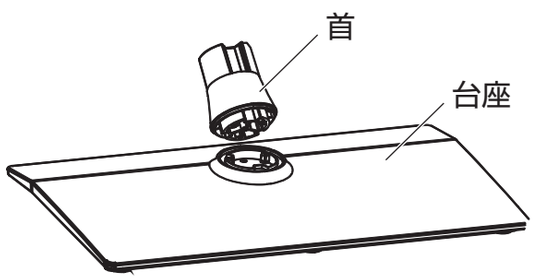
⚠ご注意

●組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。

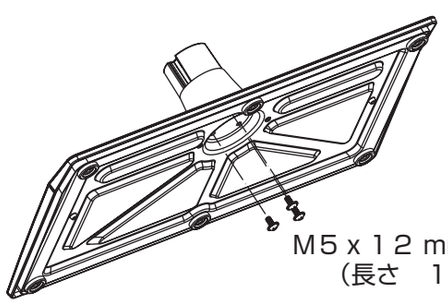
❶台座と首の形状を合わせて、付属のねじで固定する

1. 首と台座のみぞ（大、中、小）を組み合わせます。





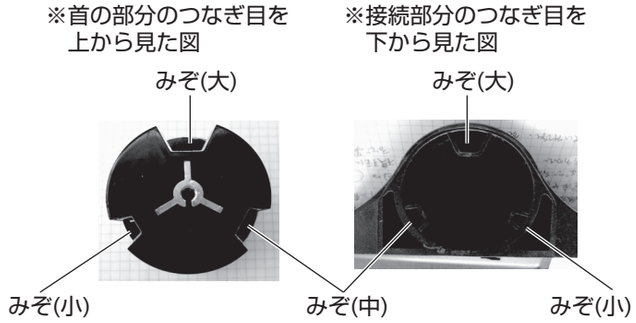
2. ねじ３本で首と台座を固定します。



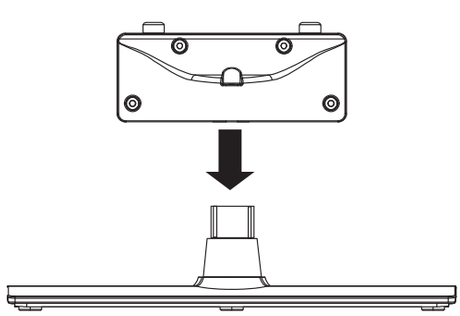
M５ｘ１２ mm ねじ　3本
（長さ　１２ mm）

❷首と接続部の形状を合わせて、付属のねじで固定する

1. 首と接続部のみぞ（大、中、小）を組み合わせます。



2. 首と接続部を組み合わせます。

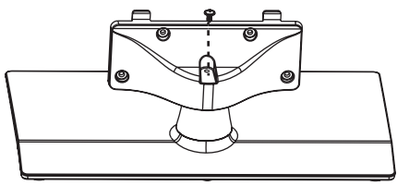


設置のしかた（つづき）

台座をつける（つづき）

[HS39K360/HS39K160]

3. 首と接続部をねじ1本で固定します。

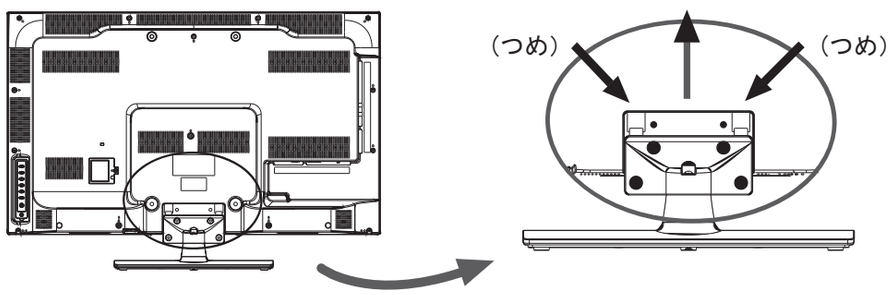


M５ｘ１２ mm ねじ　１本
（長さ　１２mm）

❷ 台座を本機にしっかり固定する

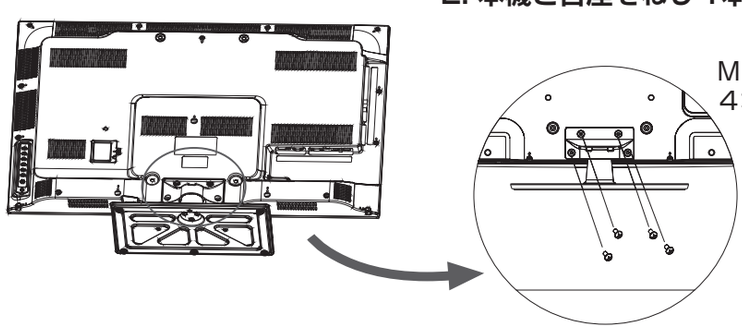
❶液晶画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く

❷本機と台座のねじ穴を合わせ、付属のねじで固定する



1. 矢印の【つめ】が、本体側の穴に入るよう接続部を図のようにはめ込みます。

2. 本機と台座をねじ４本で固定します。



M５ｘ１２ mm ねじ
４本（長さ１２mm）

台座をつける（つづき）

[HS32K360/HS32K160]

1 台座を組み立てる

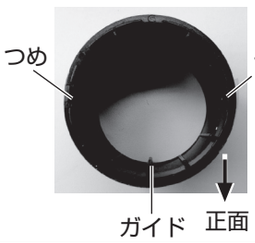
⚠ご注意

●組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。

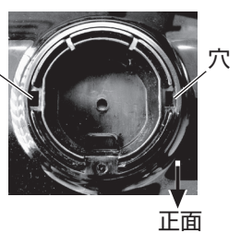
❶台座と首のカバーの形状を合わせてはめ込む

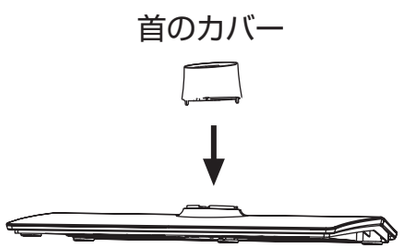
つめを穴に合わせ、「カチッ」というまで、はめ込みます。

首のカバーのつなぎ目を下から見た図



台座のつなぎ目を上から見た図

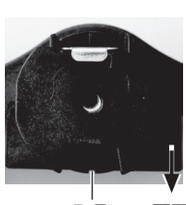




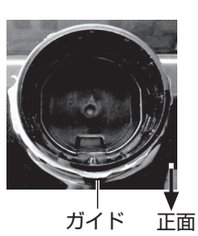
❷接続部を台座にはめ込む

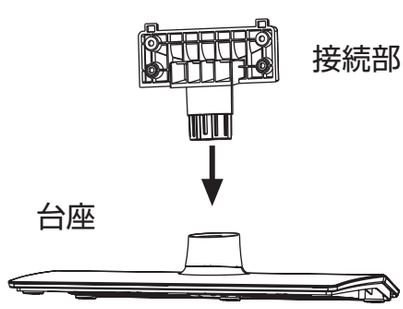
【みそ】と【ガイド】を合わせながら、はめ込みます。

首の部分のつなぎ目を下から見た図

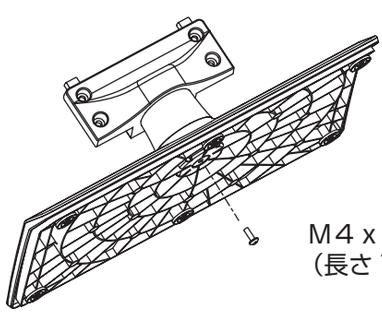


台座のつなぎ目を上から見た図





❸台座の下から付属のねじ 1 本で固定する



M4 x 12 mm ねじ 1本
（長さ12mm）

設置のしかた（つづき）

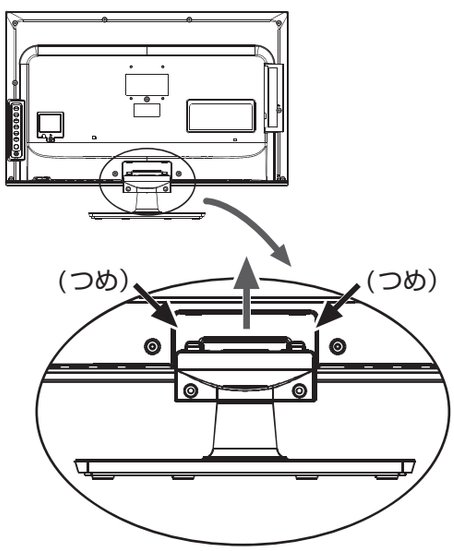
台座をつける（つづき）

[HS32K360/HS32K160]

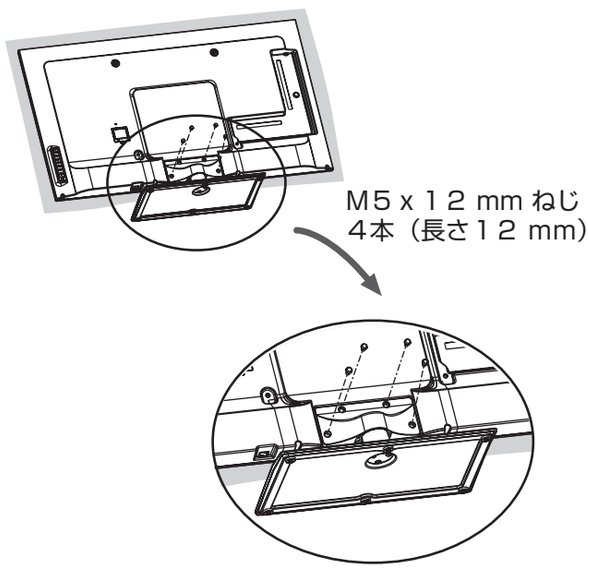
2 台座を本機にしっかり固定する

❶液晶画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く

❷本機と台座のねじ穴を合わせ、付属のねじで固定する



1. 矢印の【つめ】が、本体側の穴に入るよう接続部を図のようにはめ込みます。



2. 本機と台座をねじ4本で固定します。

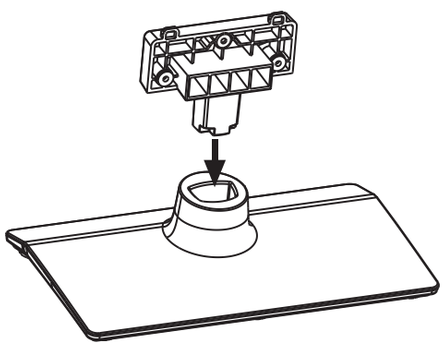
台座をつける（つづき）

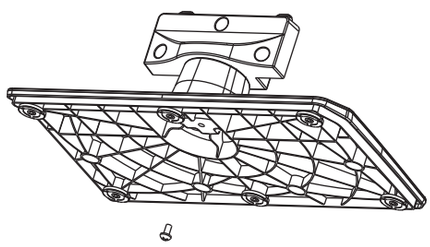
[HS29K300]

1 台座を組み立てる

⚠ご注意
- 組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。

❶ 接続部を台座の首にはめ込み、付属のねじ 1 本で固定する



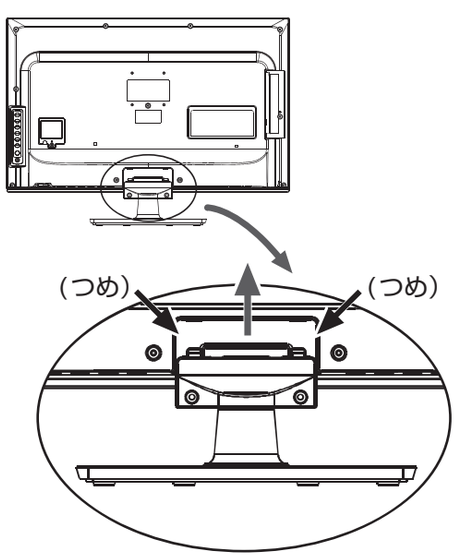


M４ｘ１２ mm ねじ 1本
（長さ１２mm）

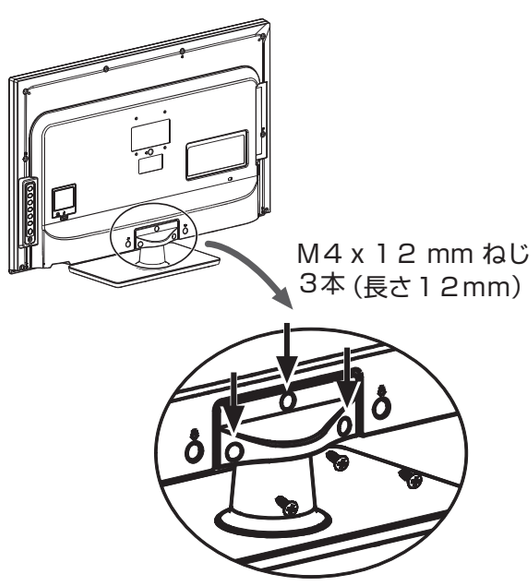
2 台座を本機にしっかり固定する

❶ 液晶画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く

❷ 本機と台座のねじ穴を合わせ、付属のねじで固定する



1. 矢印の【つめ】が、本体側の穴に入るよう接続部を図のようにはめ込みます。



2. 本機と台座をねじ3本で固定します。

設置のしかた（つづき）

台座をつける（つづき）

[HS24K300]

1 台座を組み立てる

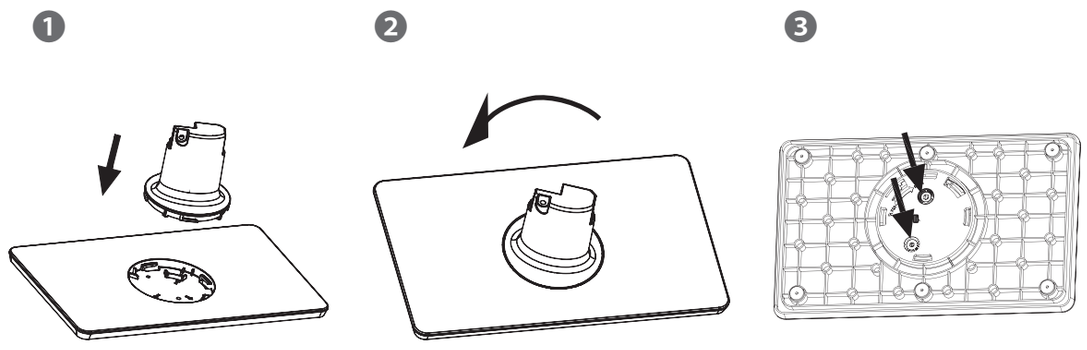
⚠ご注意

●組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。

❶台座に首をはめ込む

❷首を矢印の方向に回す

❸首を台座に付属のねじ 2 本で固定する

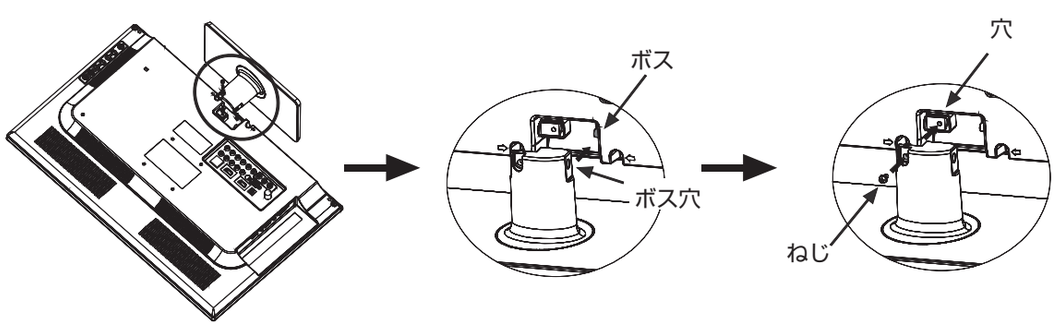


ＳＴ３ｘ８mm ねじ 2本
（長さ　8mm）

2 台座を本機にしっかり固定する

❶液晶画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く

❷本機のボス (突起部分）をボス穴にはめ込み、付属のねじ 1 本で固定する。



Ｍ４ｘ16 mm ねじ 1本
（長さ　16mm）

B-CAS カードを入れる

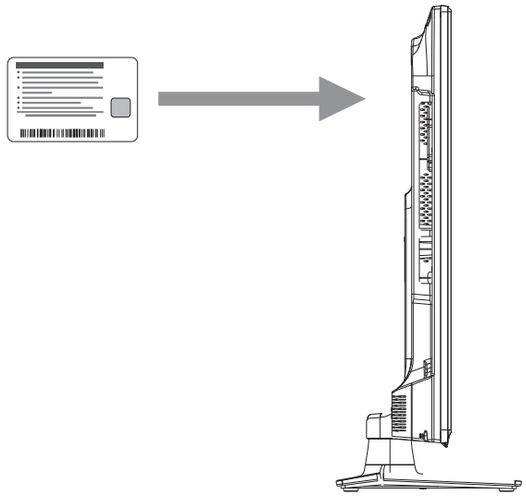
B-CAS カードについて

- 地上デジタル放送・BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが B-CAS カードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CAS カードを本機に挿入していただくことが必要です。

お知らせ

- スカパー !e2、WOWOW などの有料サービスをご利用される場合は、別途契約が必要です。
- B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターまでお願いいたします。

[説明例] HS39K360(左側面)



B-CAS カードの入れかた

❶ 本機の電源を切る

❷ 同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがす

❸ B-CAS カードを挿入する

お知らせ

- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードの盗難などにご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- B-CAS カードは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。

取扱い上のご注意

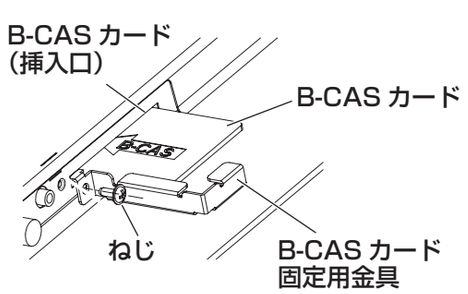
- B-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損などによる B-CAS カードの再発行は有料です。
- B-CAS カードの金属部（集積回路）には触れないでください。
- B-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除いて行わないようにしてください。

付属の B-CAS カード固定具について

付属の B-CAS カード固定具は、店頭展示や公共の場所でご利用いただく場合の盗難防止用具です。ご家庭などでご利用いただく場合は必要ありません。

取り付け方法

B-CAS カード固定具をねじ止めしてください。



アンテナの接続

⚠ご注意

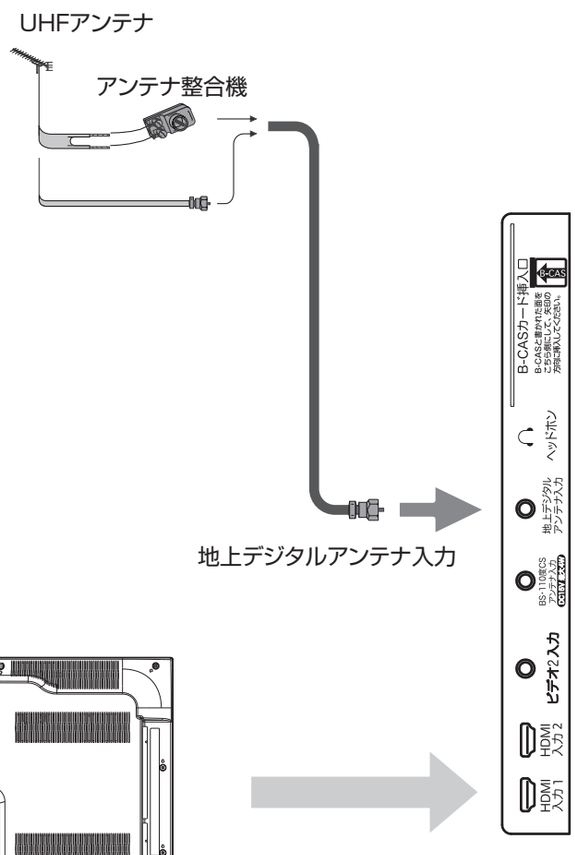
- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

UHF アンテナを接続する

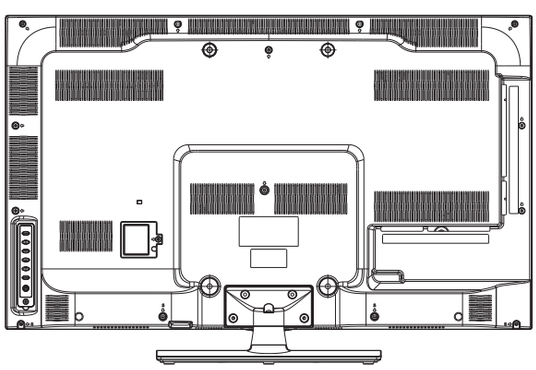
本機に付属のアンテナケーブル（または市販の同等品）を、地上デジタルアンテナ入力端子と UHF アンテナに直接接続します。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- アンテナをアンテナ入力端子に接続するときは、同梱のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形の同軸ケーブルに変換するため、市販のアンテナ整合器をお使いください。
- [**メニュー（字幕）**] を押して、各種設定→**初期設定→受信設定→受信設定（地上デジタル）→ CH 合わせ（マニュアル）**（☞ 89 ページ）を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって受信レベルは異なりますが、目安としては 45 以上できれいに受信できます。受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターをつけることをお勧めします。

[説明例] HS39K360（左側面）



[背面]

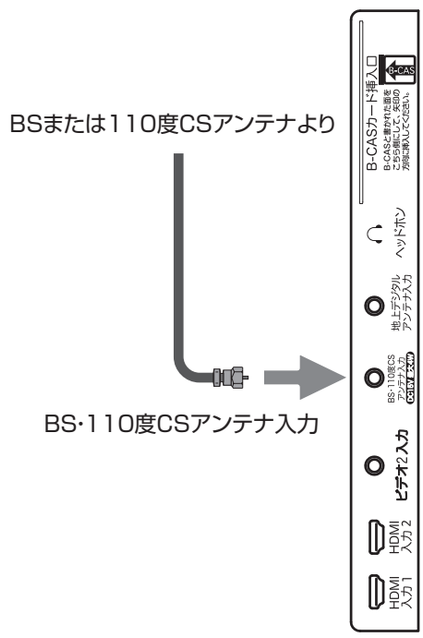


BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する

本機に付属のアンテナケーブル（または市販の同等品）を、BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子と BS・110 度 CS アンテナに直接接続します。

- アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110 度 CS 帯域（2,150MHz）まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送の受信には BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー !e2 を除くスカパー ! 用のアンテナでは 110 度 CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110 度 CS 共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- **［メニュー (字幕)］**を押して、各種設定→**初期設定→受信設定→受信設定 (BS・CS) → CH 合わせ**（☞ 89 ページ）で受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。50 以上あればきれいに受信できます。
- **メニュー (字幕)］**を押して、各種設定→**初期設定→受信設定→受信設定 (BS・CS) →コンバーター電源**（☞ 89 ページ）でアンテナ電源の設定を**切**に設定してください。
- 家庭用分配器を使って複数の BS 機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いください。この場合、本機か他の BS 機器か、どちらかのアンテナ電源の供給を「オン」に設定してください。両方とも「オン」に設定すると故障の原因となります。また、本機の電源をスタンバイ・オフ状態にしたときはアンテナ電源は供給されません。他の BS 機器を本機がオフまたはスタンバイの時に使う場合は、当該機器より電源を供給してください。

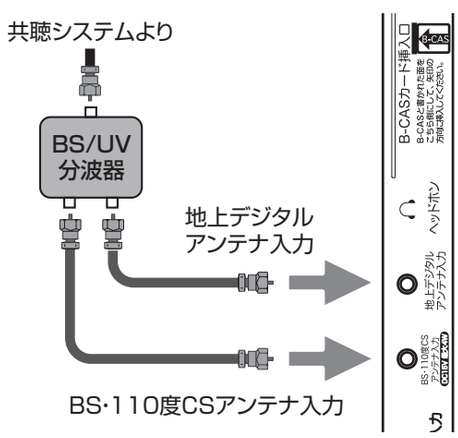
［説明例］HS39K360(左側面)



マンションなどの共聴システムで接続する

まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルや BS･110 度 CS デジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。BS・110 度 CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販の BS/UV 分波器を使用して接続します。分波器は 110 度 CS 帯域（2,150MHz）まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

- **メニュー (字幕)］**を押して、各種設定→**初期設定→受信設定→受信設定 (BS・CS) →コンバーター電源**（☞ 89 ページ）でアンテナ電源の設定を**連動**に設定してください。



LAN への接続（双方向通信用）

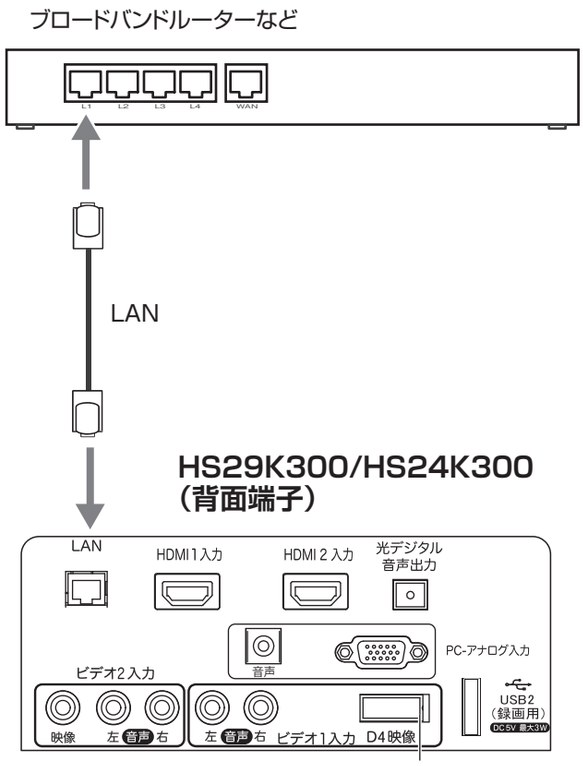
デジタル放送では、ADSL などのブロードバンド回線に接続してデータ放送の双方向サービスを利用することができます。双方向サービスを使用すると、ご家庭からテレビ局に向けてクイズ番組の回答やアンケートなどの情報を送ることができます。

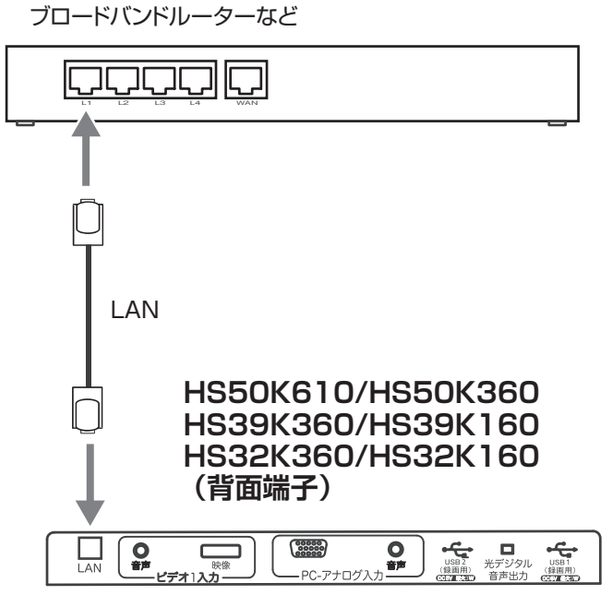
市販の LAN ケーブルを使い、ブロードバンドルーターなどの LAN ポートと本機の LAN 接続端子を接続します。

- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、LAN ポートの一つと本機の LAN 端子を接続してください。LAN ポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- **[メニュー (字幕)]** を押して、各種設定→**初期設定**→**通信設定**から設定を行ってください。(☞ 89ページ)

お知らせ

- 双方向サービスを利用しない場合、LAN への接続は必要ありません。
- 双方向サービスを利用するには、ADSL などのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンがインターネットに接続されているなどブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。





電源コードの接続

接続する

全ての接続が終わったら、最後に電源コードを接続してください。

❶ 本体下側の **[主電源]** がオンになっていることを確認する

❷ コンセントに電源コードのプラグを挿入する

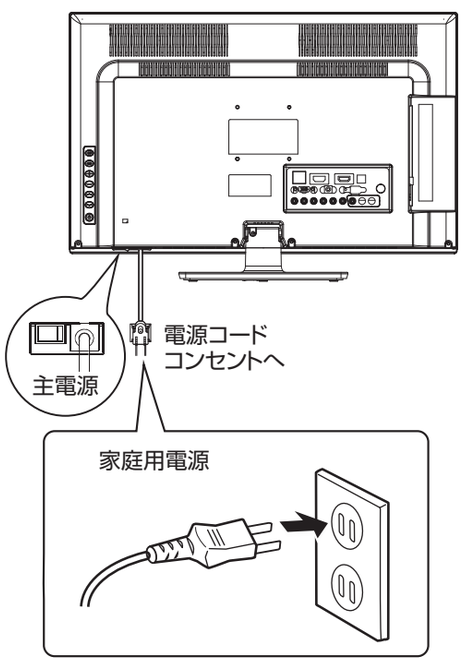
本機前面の電源ランプが赤く点灯します。

お知らせ

- 通常は電源プラグをコンセントに差したままで **[主電源]** をオンにしておいてください。オフにすると電子番組表が更新されません（☞ 52 ページ）。お手入れの際や長時間ご使用にならないときは、**[主電源]** をオフにしてから、電源プラグを抜いてください。

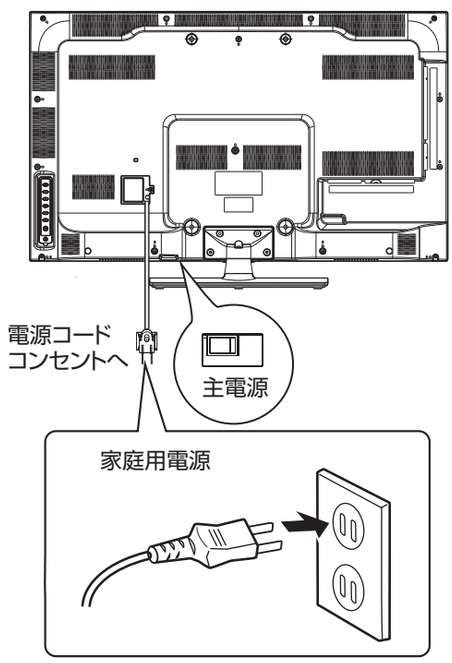
HS29K300/HS24K300

[説明例] HS24K300



HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160

[説明例] HS39K360



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定などが無効になってしまうことがあります。またハードディスクが故障するおそれがあります。まずリモコンの **[電源]** を押して電源を切り、そのおよそ 5 秒後に **[主電源]** をオフにし、その後で電源プラグを抜いてください。

他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しんだり、本機で受信した番組を他の機器 (別売）に録画することができます。

⚠ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

USB ハードディスクを接続する

別売の USB ハードディスクを USB1 端子、USB2 端子に合計２台まで接続することが出来ます。（☞ 14、16 ページ）

ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。**[音量＋]/[音量ー]** で音量を調整します。

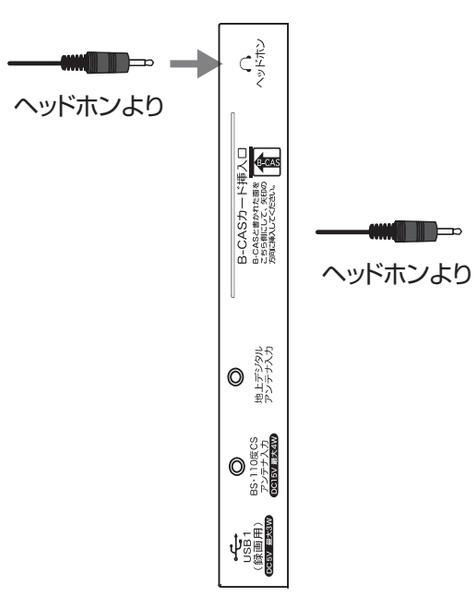
お知らせ

- ヘッドホンを接続するとき、本機のスピーカーから、音を出すか出さないかの設定ができます。（☞ 84 ページ）

⚠ご注意

- 大きな音量設定でヘッドホンプラグを抜くと、スピーカーから大きな音が出ます。音量を下げてから、ヘッドホンプラグを抜くようにしてください。
- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

HS29K300/HS24K300
（左側面端子）



HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160
（左側面端子）

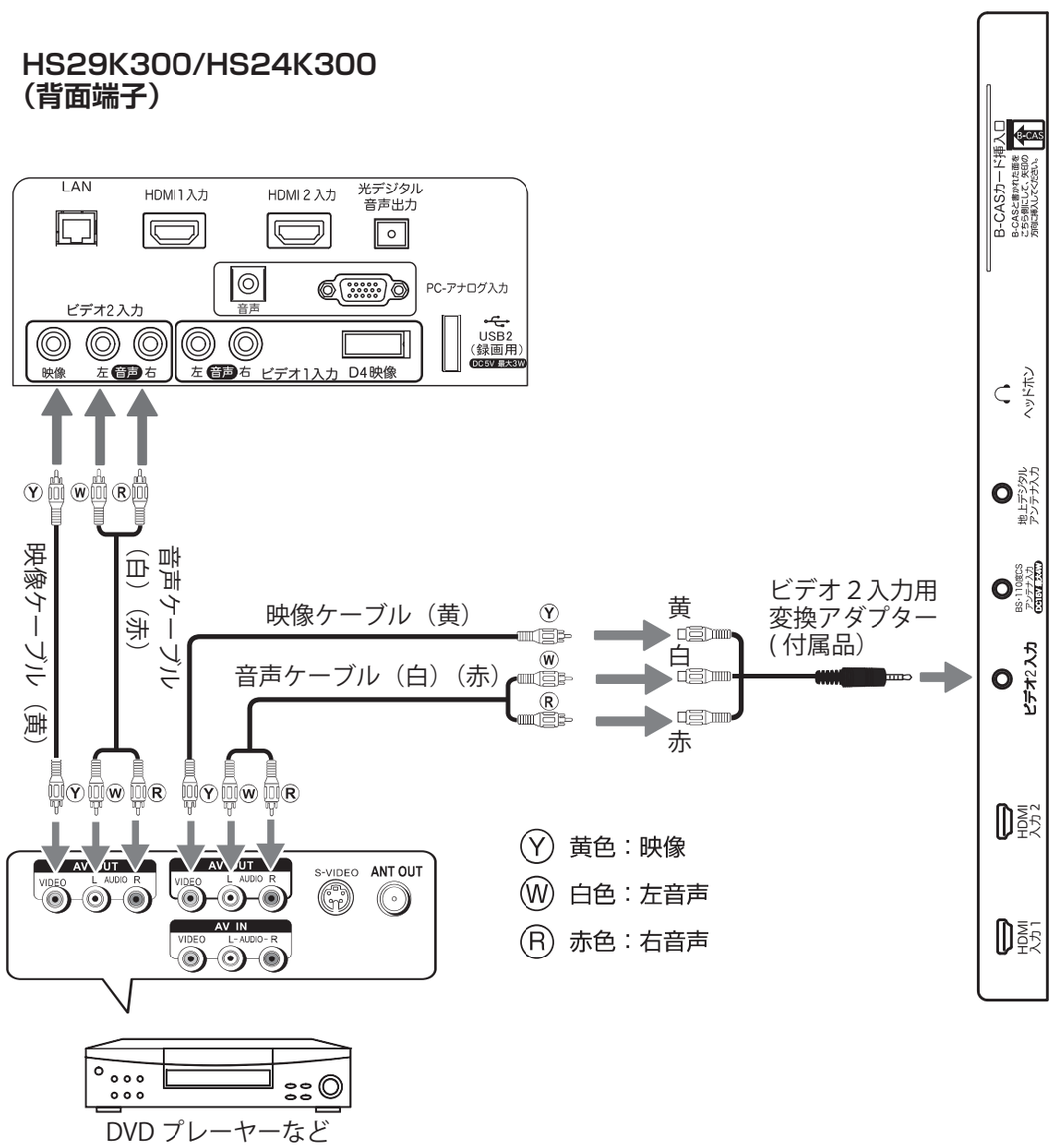
DVD プレーヤーなどを接続する

ビデオ入力端子に接続する

市販の AV ケーブルで、DVD プレーヤーなどの AV 出力端子と本機のビデオ入力端子 / ビデオ入力（音声）端子を接続します。黄色のプラグをビデオ入力端子に、赤と白のプラグをビデオ入力（音声）端子に、プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。

HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160
（左側面端子）

HS29K300/HS24K300
（背面端子）



他の機器との接続（つづき）

D 端子入力に接続する

市販の D 端子ケーブルを使い、DVD プレーヤーなどの D 端子と本機の D4 映像入力端子 (背面）を接続します。音声は市販の AV ケーブルで、それぞれの音声入力端子を接続します。

お知らせ

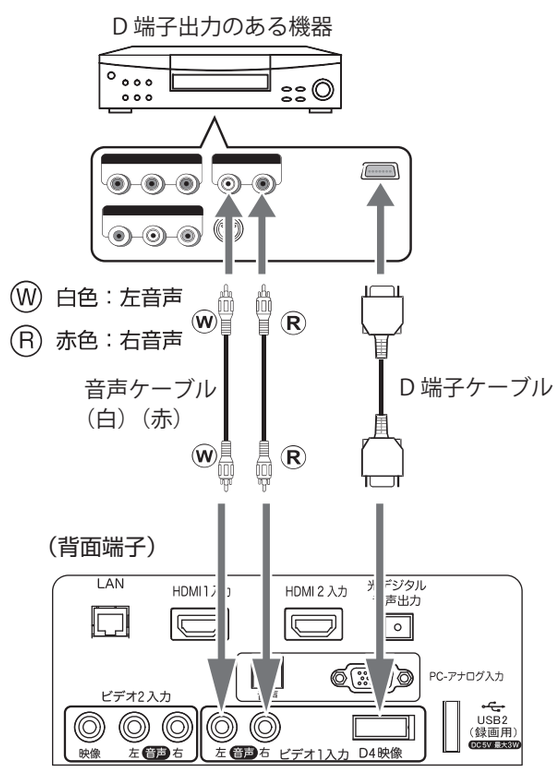
- 本機の D 端子は D4 規格です。これは D 端子規格の中で D1、D2、D3 および D4 入力信号を自動的に判別して表示する機能を持った端子です。接続する機器からどのような信号が出力されているかは接続する機器の仕様書をご覧ください。

D 端子の種類と対応信号フォーマット

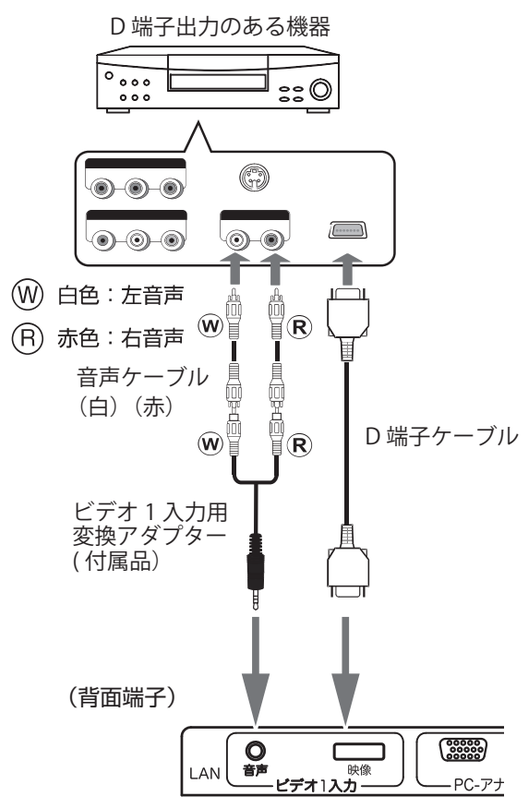
	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)	1125p (1080p)
D1	○	×	×	×	×
D2	○	○	×	×	×
D3	○	○	○	×	×
D4	○	○	○	○	×
D5	×	×	×	×	×

- カッコ内の数字は有効走査線数と呼ばれるものです。お使いの機器によってはこちらの数字を表示している場合があります。
- 接続機器によっては、出力を D 端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧頂き、設定してください。

HS29K300/HS24K300



HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160



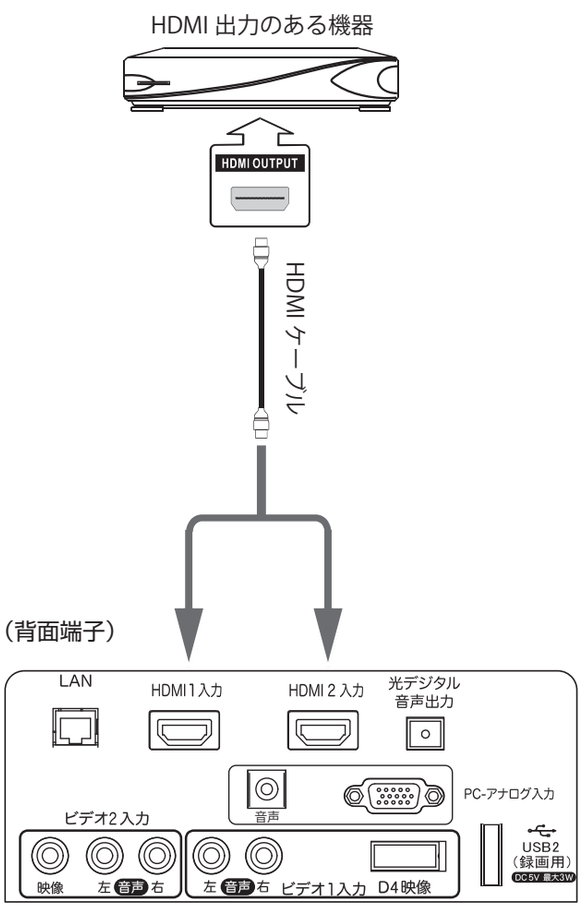
HDMI 入力端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、ブルーレイレコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどの HDMI 出力と本機の HDMI 入力 1 端子または HDMI 2 入力端子のいずれかとをつないでください。HDMI ケーブルはデジタル信号で映像と音声を 1 本で接続します。

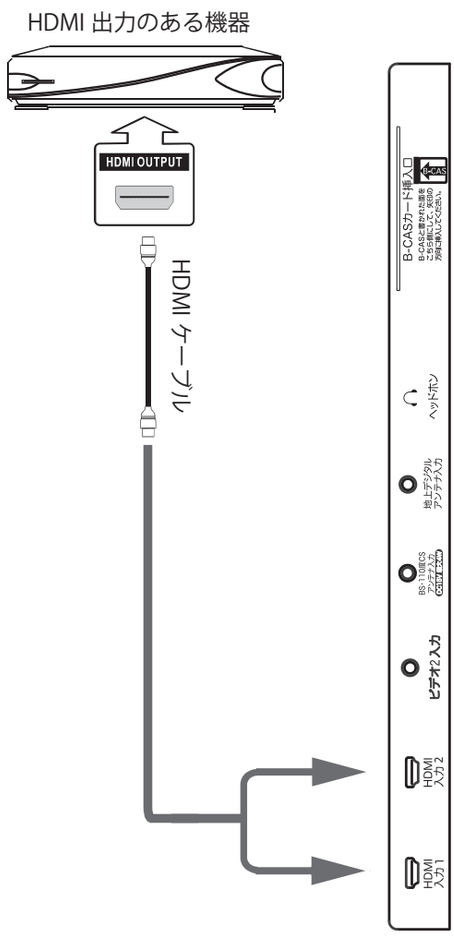
お知らせ

- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証しておりません。
- 映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

HS29K300/HS24K300



HS50K610/HS50K360 HS39K360/HS39K160 HS32K360/HS32K160



他の機器との接続（つづき）

パソコンを接続する

VGA ケーブルでパソコンの VGA 出力と、本機の PC- アナログ入力端子を接続します。音声は、音声ケーブル（ミニステレオ）でパソコンの音声出力と PC- アナログ入力・音声端子を接続します。対応フォーマットは下記の通りです。

解像度	信号名
640x480 @ 60Hz	
800x600 @ 60Hz	
1024x768 @ 60Hz	
1280x768 @ 60Hz	WXGA
1280x1024 @ 60Hz	
1360x768 @ 60Hz	WXGA
1366x768 @ 60Hz	WXGA

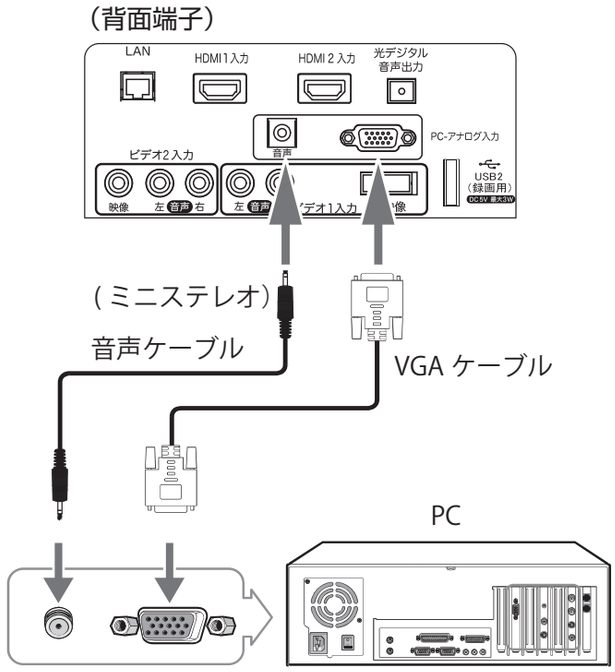
パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。この際には、**メニュー (字幕)]** を押して、各種設定→**初期設定→ RGB 入力設定→水平位置、垂直位置、クロック周波数、クロック位相、WXGA モード**（☞ 91 ページ）を調整してください。

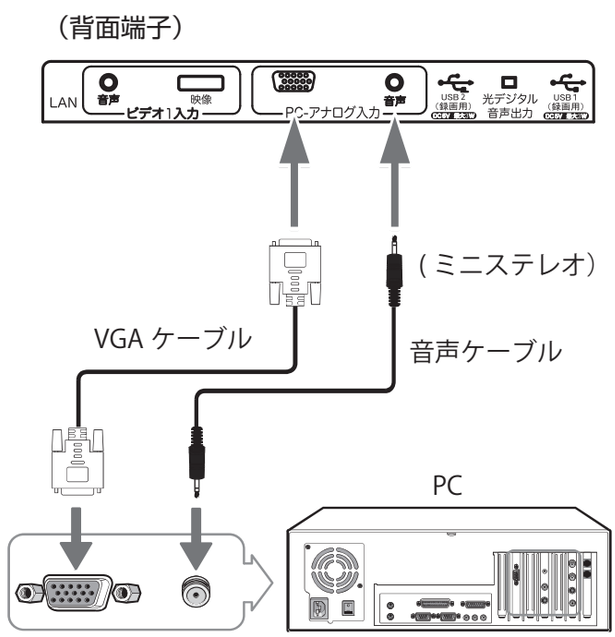
HS29K300/HS24K300

（背面端子）



HS50K610/HS50K360 HS39K360/HS39K160 HS32K360/HS32K160

（背面端子）



AV アンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルで AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AV アンプなどから音声を出力し、5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の二つから選ぶことができます。（☞ 84 ページ）

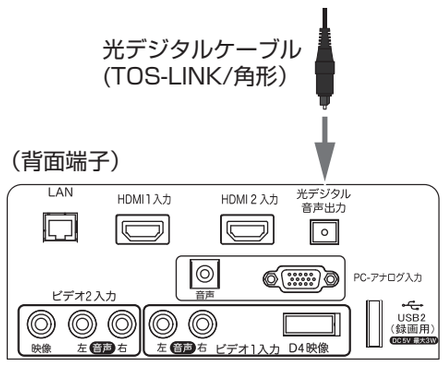
オート　：MPEG-2 AAC またはドルビーデジタル対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。

PCM　：MPEG-2 AAC またはドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバータを内蔵している必要があります。

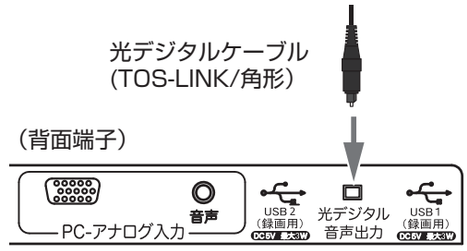
お知らせ

- この端子からはデジタル放送（地上、BS、CS）受信時と HDMI 入力端子からの音声が出力されます。

HS29K300/HS24K300



HS50K610/HS50K360
HS39K360/HS39K160
HS32K360/HS32K160



機器リンク対応機器と接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、機器リンク対応機器（AV アンプ、DVD レコーダーなど）を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。（☞ 75 ページ）

お知らせ

- 機器リンクに対応した、AV アンプと DVD レコーダーを同時に使用する場合は、本機とレコーダーの間に AV アンプを接続してください。また DVD レコーダー再生時に、映像より音声が進んで聞こえる場合は、AV アンプの音声遅延設定で調整してください。AV アンプで音声遅延設定ができない場合は、DVD レコーダーを HDMI ケーブルで直接本機に接続して、本機の光デジタル音声遅延で調整してください。（☞ 84 ページ）
- 機器リンクを使用するには、機器リンク設定が必要です。また接続する AV アンプや DVD レコーダー側の設定も必要です。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。

かんたんセットアップをする

本機の電源を初めて入れると、かんたんセットアップが自動的に起動します。テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。

[メニュー (字幕)] を押し、各種設定→**初期設定**→**受信設定**から設定を行うこともできます。(☞ 88 ページ)

かんたんセットアップが起動したら、

● 画面の文章をお読みになり、**[決定]** を押す

郵便番号を入力する

1 お住まいの郵便番号 (7桁) を入力する
[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

2 **[▼]** を押し **[決定]** を押す
スキップを選択すると、郵便番号設定をスキップします。

お知らせ

●メニューの項目を選択すると、項目が黄色になります。

地上デジタル受信設定をする

1 **[▲]/[▼]** を押し、お住まいの地域を選び **[決定]** を押す
「地域」、「都道府県」の順に設定します。

2 CATV(ケーブルテレビ) の受信をする場合は、**する**、しない場合は**しない**を選択して、**[決定]** を押す

3 **開始**を選択して、**[決定]** を押す
スキャン終了後、**[決定]** を押す
スキップを選択すると、地上デジタル受信設定をスキップします。

BS 受信設定をする

1 **[◀]/[▶]** を押し、**連動**、**切**、**スキップ**のいずれかを選択して **[決定]** を押す

2 画面の文章をお読みになり、**[決定]** を押す

ソフトウェア更新設定をする

[▲]/[▼] を押し、**自動**、**する**、**しない**、のいずれかを選択して **[決定]** を押す

日付・時刻設定

1 変更したい箇所を [◀]/[▶] で選択して、[▲]/[▼] で設定する

2 最後に **OK** を選択して、[**決定**] を押す

お知らせ

- BS・CS・地上デジタル放送を受信している場合は、時刻情報により、自動的に時刻を設定します。この場合は、日付・時刻の設定はできません。

映像モード設定をする

[▲]/[▼] を押し、映像モードを選択して、[**決定**] を押す

設定終了

画面の文章をお読みになり、[**決定**] を押す

テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

ページ

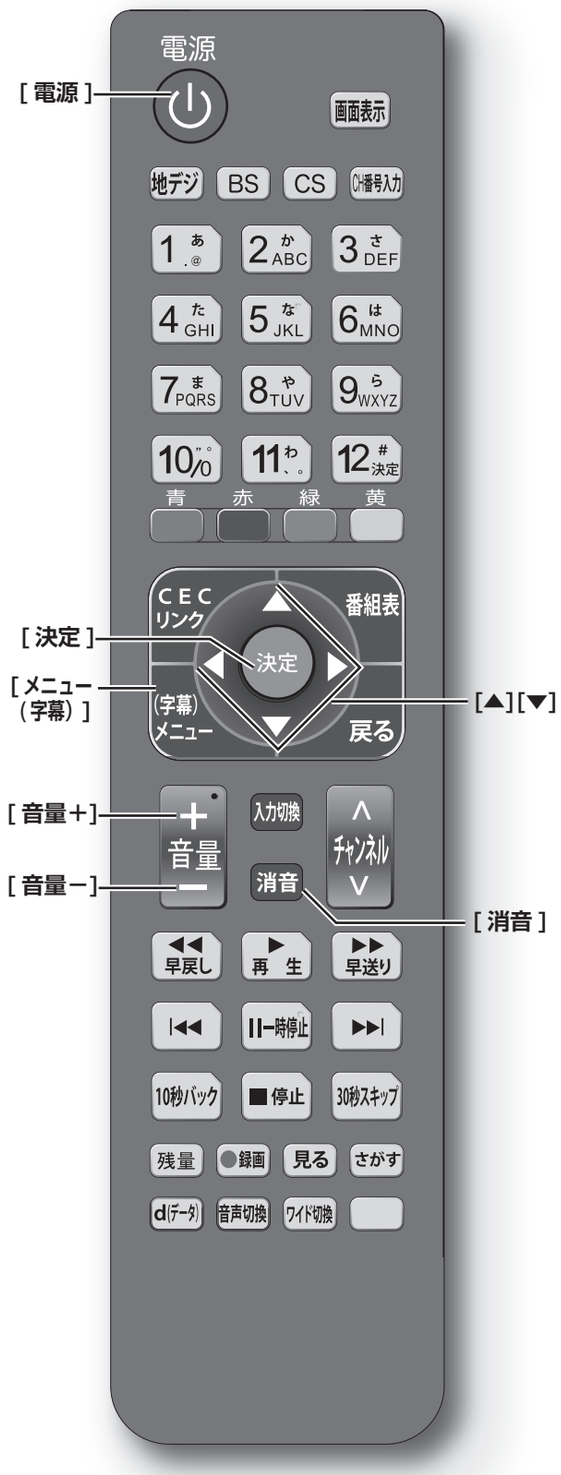
共通の操作 50

チャンネルを選ぶ 51

デジタル放送を楽しむ 52

映像と音の操作 55

共通の操作



電源を入れる / 切る

電源を入れる

❶ **[電源]** を押す

本体の電源ランプが緑に点灯します。

電源を切る

● もう一度、**[電源]** を押す

⚠ご注意

● 本機は **[電源]** を押して電源を切った状態のときは、常に微弱な電流が流れています。旅行など、本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、本体の **[主電源]** をオフにするか、コンセントを抜いて（電源ランプ：消灯）ください。

音量を調節する

● **[音量＋]/[音量－]** を押す

一時的に音を消す

● **[消音]** を押す

もとに戻すには

- **[消音]** を再度押す
- **[音量＋]** を押す

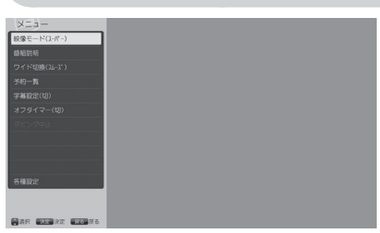
オフタイマー

本機の電源を切るまでの時間を設定します。

● **[メニュー (字幕)]** を押して、**オフタイマー**を選択して、**[▲]/[▼]** で希望の設定 (**切 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分)** に切り換える

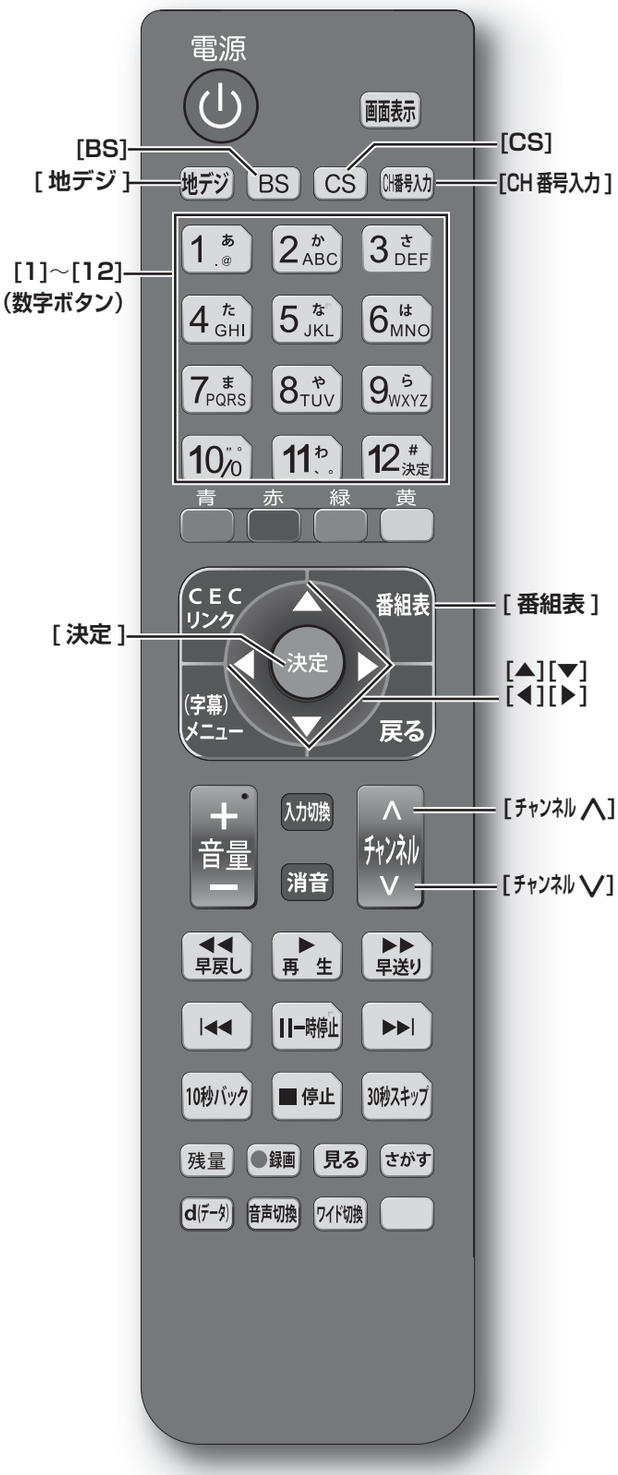
オフタイマー設定中はもう一度オフタイマーを選択して、変更することができます。

メインメニューについて



● **[メニュー (字幕)]** を押すと、すぐ設定したい項目と**各種調整**の項目が表示されます。(☞ 79 ページ)

チャンネルを選ぶ



お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換などに時間がかかるためで、故障ではありません。
- 放送の種類によっては他の機能が追加されている場合があります。この場合、各ボタンの機能はテレビ画面に表示されます。
- 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外も受信可能な場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番（011-2 の「-2」など）で区別して選びます。枝番つきのチャンネルの放送局番号を入力すると、枝番を入れる画面が表示されますので、数字ボタンを使って枝番まで入力します。

放送を切り換える

- **[地デジ]/[BS]/[CS]** を押して放送の種類を選ぶ

チャンネル番号で選局する

（ワンタッチボタン選局）

- お好みのチャンネル番号の**数字ボタン**を押す

放送局番号で選局する

1 **[CH 番号入力]** を押す

2 お好みの放送局の放送局番号を **[1]** から **[10]** までの数字ボタンを押して入力する

[10] は「0（ゼロ）」として使用します。

選局ボタンで選局する

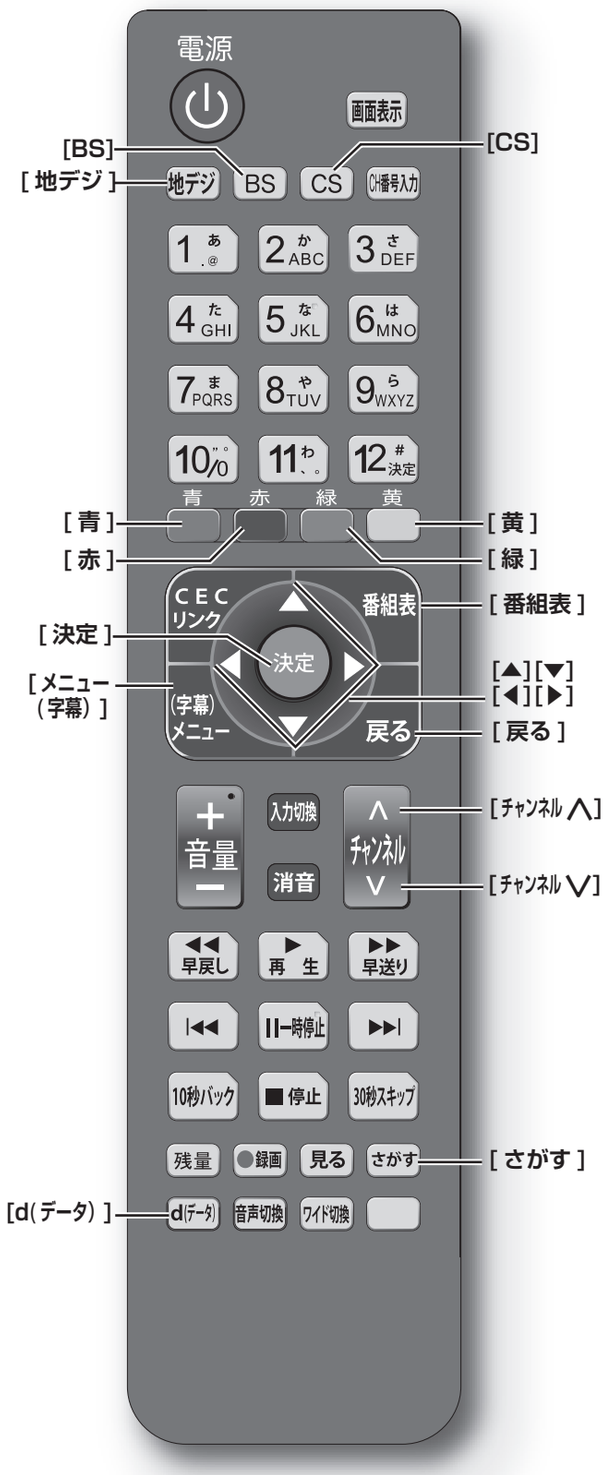
- **[チャンネル ∧]/[チャンネル ∨]** を押して選局する

番組表から選局する

1 **[番組表]** を押す

2 **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して現在放送中の見たい番組を選び、**[決定]** を押して、**選局する**を選択し、**[決定]** を押す

デジタル放送を楽しむ



電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。

● **[番組表]** を押す

- **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して番組を選択します。
- **[青]** を押すと、前日の番組を表示します。
- **[赤]** を押すと、翌日の番組を表示します。
- **[緑]** を押すと、「番組をさがす」が表示されます。ここからお好みの番組を探すことができます。**[さがす]** を押して、「番組をさがす」を表示することもできます。
- **[黄]** を押すと予約一覧が表示されます。
- **[地デジ]** を押すと、地上デジタル放送の番組を表示します。
- **[BS]** を押すと、BS デジタル放送の番組を表示します。
- **[CS]** を押すと、CS デジタル放送の番組を表示します。
- **[チャンネル ∧]/[チャンネル ∨]** を押すと、放送時間帯のページを切り換えます。
- **[メニュー (字幕)]** を押すと、電子番組表の表示設定ができます。(☞ 54 ページ)

番組説明を表示する

視聴中の番組内容（チャンネル番号・放送局名・放送時間・ジャンル種別・音声情報・映像情報など）を表示します。

番組内容を表示するには、2 種類の方法があります。

● 番組視聴中に **[メニュー (字幕)]** を押して、**番組説明**を選択して、**[決定]** を押す

- **[戻る]** を押すともとの画面に戻ります。
- **[決定]** を押すと映像、音声、字幕の切り換えができます。(☞ 55 ページ)

データ放送を受信する

● **[d]** を押す

もう一度 **[d]** を押すもとの画面に戻ります。

お知らせ

- データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。
- **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して項目を選び、**[決定]** を押して選択を確定することができます。
- データ放送画面から、さらに別の画面へ移行することができます。画面上に **[青][赤][緑][黄]** それぞれでどの情報（天気予報、ニュースなど）へ移行するのかが表示されます。

双方向通信を行う

LAN 接続をしていて、双方向通信が行われているチャンネルを受信すると、双方向通信の画面が表示されます。

[▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して画面を切り換えたり、番組によっては **[青][赤][緑][黄]** を押すことで、放送局へデータ（人気投票、クイズの回答など）を送信することができます。画面に表示される指示に従ってください。

番組をさがす

1 電子番組表示中に **[緑]** を押す、または **[さがす]** を押して、**[決定]** または **[▶]** を押す

2 **[▲]/[▼]** を押し、**ジャンル**、**キーワード**、**国内ドラマ**、**海外ドラマ**、**新規お好み登録**、を選択して、**[決定]** または **[▶]** を押す

3 **[決定]** または **[▶]** を押して、詳細のジャンルを選択して **[決定]** を押すと、検索を開始し、該当する番組があれば表示する

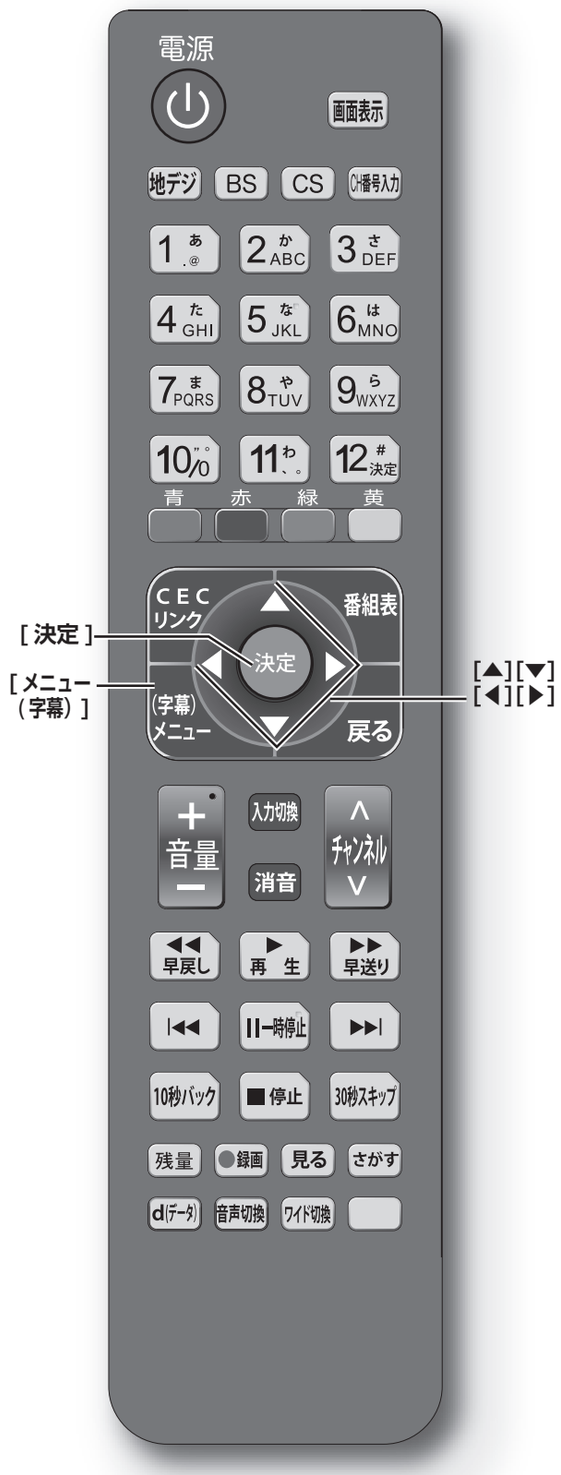
4 **[決定]** を押すと、**予約設定**が表示される

録画予約や視聴予約ができます。（☞ 58 ページ）

お知らせ

- 新規お好み登録を選択すると、7つまでの検索条件を指定し、番組を検索することができます。検索条件を選択したら、**[戻る]** を押します。自動的に「お好み1」という項目ができます。最大7つまで項目を増やすことができます。

デジタル放送を楽しむ（つづき）

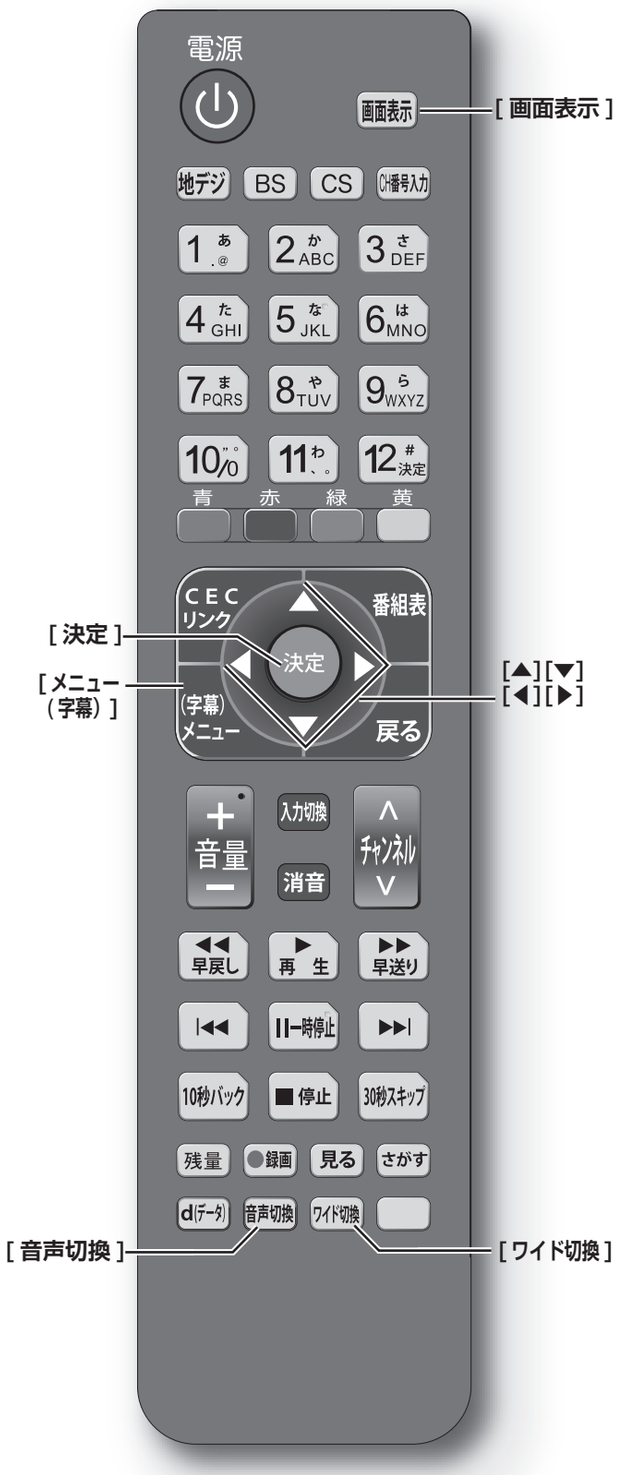


電子番組表の表示設定を行う

1 電子番組表示中に [**メニュー (字幕)**] を押す

設定項目	設定内容
標準 / チャンネル別表示	**標準**：新聞のテレビ欄のように表示します。 **チャンネル別**：一つのチャンネルを曜日毎に表示します。
表示数／文字サイズ	**8列／文字サイズ・小**： 文字を小さく表示します。 **6列／文字サイズ・大**： 文字を大きく表示します。
マルチ表示	マルチ表示したい放送に [**決定**] を押して、チェックを入れます。 ・一つのチャンネルで、複数のサービスがある場合、選んでいるチャンネルの番組表の右または左にサブチャンネルを縦の水色の帯で表示します。 ・[▲]/[▼]/[◀]/[▶] で選択すると、サブチャンネルの番組表を表示します。
テレビ／データ／ラジオ	テレビ、データ放送、ラジオサービスに切り換えます。サービスが行われていない場合は、選択できません。
ジャンル色分け	番組のジャンル毎に色分けすることができます。色分けしたいジャンルに [**決定**] を押して、チェックを入れます。

映像と音の操作



チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

● **[画面表示]** を押す

もう一度 **[画面表示]** を押すと、表示が消えます。

画面モードを切り換える

画面の縦横比を切り換えます

1 **[ワイド切換]** を押す

2 お好みにより、ノーマル、スムーズ、映画 1、映画 1 字幕、映画 2 字幕、フル、スタンダード、フル HD、ズームを選択して、**[決定]** を押す

お知らせ

● **[メニュー (字幕)]** を押して , **ワイド切換**を選択しても切り換えができます。また**各種設定**からも切り換えができます。(☞ 85 ページ)

映像、音声、字幕を切り換える

番組により映像や音声を切り換えることができます。切り換えた信号は有料な場合があります。

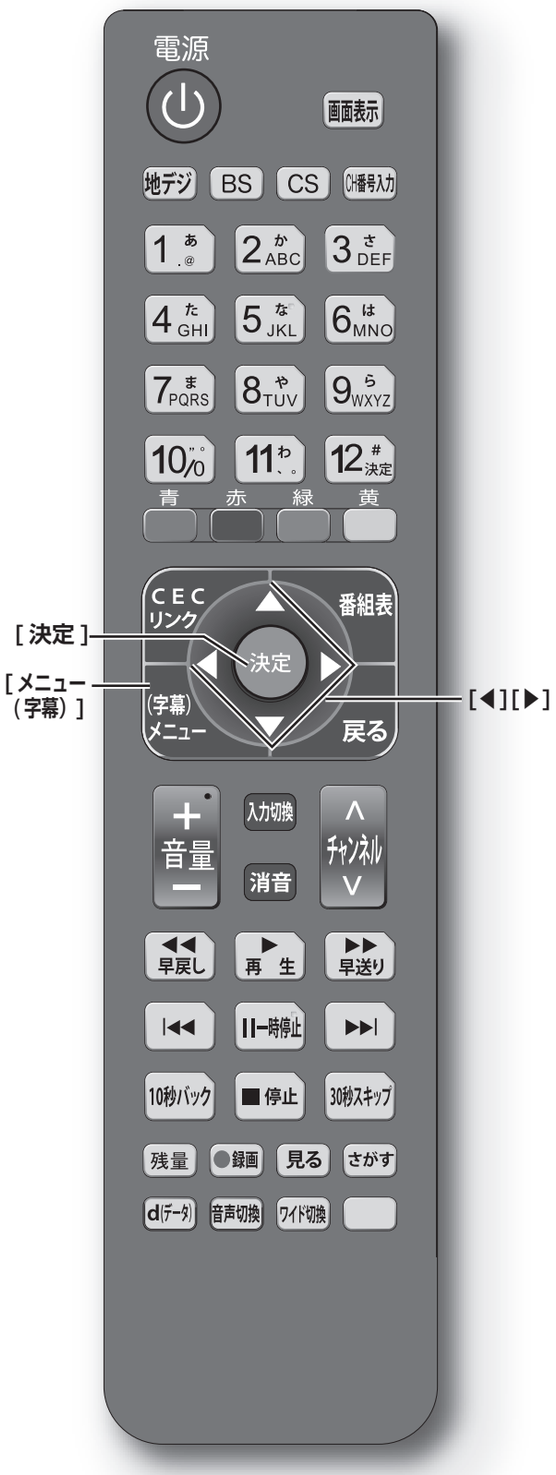
● 番組視聴中に **[メニュー (字幕)]** を押して、**番組説明**を選択して **[決定]** を押す

設定項目	設定内容
映像	複数の映像がある場合は、切り換えができます。マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も切り替わります。
音声	複数の音声がある場合は切り換えができます。
字幕	複数の字幕がある場合は切り換えができます。**なし**を選択すると、字幕は表示されません。

お知らせ

- 映像や音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 字幕の表示、非表示は **[メニュー (字幕)]** を押して , **字幕設定**を選択しても可能です。
- 音声の切り換えは、**[音声切換]** を押して、切り換えることも可能です。
- ステレオ放送やモノラル放送のときは、音声を切り換えることはできません。

映像と音の操作（つづき）



映像モードを切り換える

1 **[メニュー (字幕)]** を押して、**映像モード**を選択して、**[決定]** を押す。

2 **[◀]/[▶]** を押して、**スーパー、スタンダード、シネマ (ソフト)、ユーザ設定**のいずれかを選択して **[決定]** を押す

番組の録画、再生、予約をする

この章では、番組の視聴予約、録画予約、録画した番組の再生について説明しています。

録画予約や録画した番組の再生を行うには USB ハードディスク（別売）が必要です。

ページ

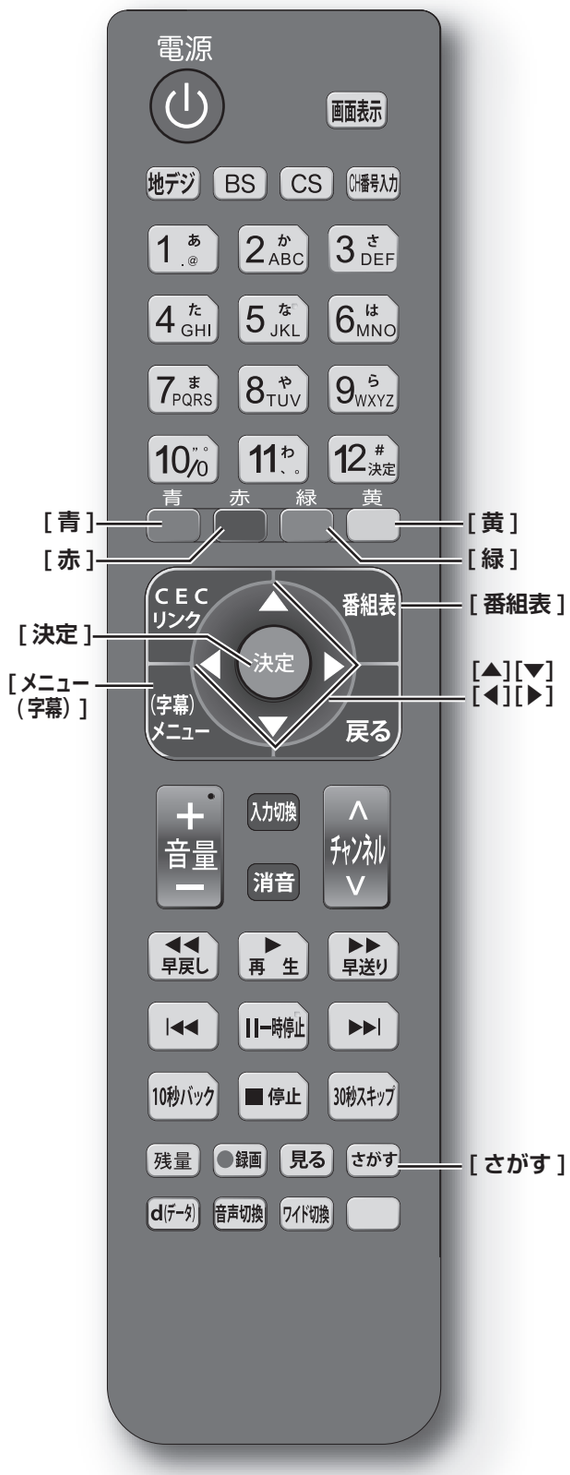
番組の視聴予約をする 58

番組の録画、録画予約をする 60

録画した番組をみる、編集する 65

録画した番組をダビングする 70

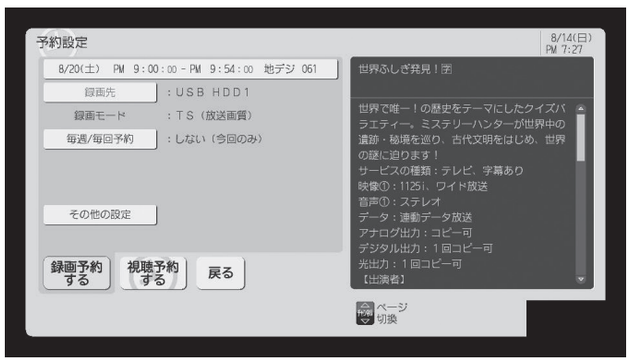
番組の視聴予約をする



番組を予約する

まだ放送が始まっていない番組を視聴予約することができます。開始時刻になると、予約されたチャンネルを選局します。スタンバイのときは、自動的に電源が入ります。

1 「電子番組表」(☞ 52 ページ)や「番組をさがす」(☞ 53 ページ)から , 予約したい番組を選び **[決定]** を押す



2 **[▲]/[▼]** を押して、**毎週**／**毎回予約**を選択し **[決定]** を押す

今回のみの予約の場合は、設定する必要はありません。

3 **しない (今回のみ)**、**毎週**、**毎日**、を選択して、**[決定]** を押す。

4 **その他の設定**から**更新**、**映像**、**音声**、を選択して、お好みの項目を選び、**[決定]** を押す。

選択するものがない場合は、選択できません。

5 **[▼]** を押し、**[▶]** を押して、**視聴予約する**を選択して、**[決定]** を押す。

青い時計マークが視聴予約した番組に付きます。

お知らせ

- 番組予約で、**毎週**、**毎日**を選択した場合、番組の編成によっては、予約が実行されない場合があります。実行されない予約は、予約一覧で黄色で表示でされます。
- 予約実行時には B-CAS カードが挿入されている必要があります。

予約の確認、変更、取り消しをする

1 **[メニュー (字幕)]** を押して、**予約一覧**を選択して、**[決定]** を押す。

2 **録画予約、視聴予約**を選択し決定を押す。

3 **[▲]/[▼]** を押して、予約した番組を選択する

毎週／毎回予約の変更ができます。

4 **変更して予約する、予約を削除する、戻る**のいずれかを選択して、**[決定]** を押す

お知らせ

- **[青]** を押すと、新規の予約ができます。
- **[赤]** を押すと、予約の削除ができます。
- **[緑]** を押すと、予約を一時的に実行しません。
- **[黄]** を押すと、文字の大きさを変更できます。

● 予約されている番組には、「実行」にチェックマークが入ります。「赤丸」が付いている場合は、予約を実行中です。「重複」が表示されている場合は、番組編成の変更により、予約が重複しています。この場合は、予約が実行されない可能性がありますので、予約の見直しが必要です。

予約の実行結果を確認する

1 **[メニュー (字幕)]** を押して、予約一覧を選択して、**[決定]** を押す。

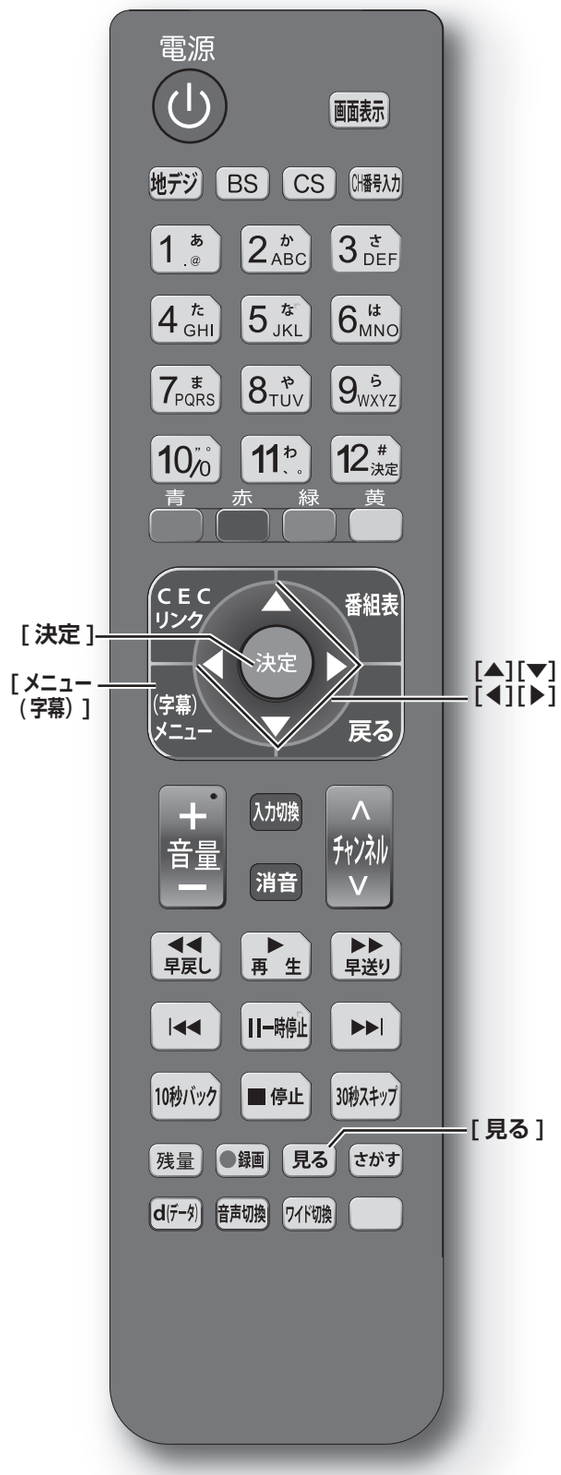
2 **[▼]** を押して、**実行結果**を選択する

予約実行の結果の確認ができます。

お知らせ

● 番組表や「番組をさがす」から , 予約登録した番組を選択して、**[決定]** を押しても、予約の変更、取り消しができます。

番組の録画、録画予約をする



USB ハードディスクを登録する

- 最大で８台までの USB ハードディスクを登録できます。ただし、本機の２つの USB 端子に各１台ずつ、合計２台までが同時に接続できます。
- USB ハブを経由して、USB ハードディスクを使用することはできません。
- 本機で USB ハードディスクに録画した映像は、他の機器での再生はできません。（本機と同じ型番でも再生できません。）
- 本機で受信したデジタル放送の録画や、USB ハードディスクを２台接続した場合、ダビングができます。

本機に未登録の USB ハードディスクを接続すると、登録画面が表示されます。**[メニュー (字幕)]** を押して、**各種設定→初期設定→ディスク設定→ USB HDD 設定**から登録することもできます。(☞ 93 ページ)

1 **[◀]/[▶]** を押して、**はい**を選択して、**[決定]** を押す

2 確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択し、**[決定]** を押す

USB ハードディスクを初期化し、登録します。

登録を確認するには

[メニュー (字幕)] を押して、**各種設定→初期設定→ディスク設定→ USB HDD 設定**で確認できます。(☞ 93 ページ)

お知らせ

- 本機が対応している USB ハードディスクの容量 (公称値）は、80GB から 2TB までです。

USB ハードディスクを取りはずす

本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、必ず先に、以下の操作を行ってください。

- **[見る]** を押し、取りはずしたい USB ハードディスク（USB HDD ※）を選択し、**[メニュー (字幕)]** を押して、**[決定]** を押す（※ は登録番号）

「USB HDD を安全に取り外すことができます」と表示されたら、接続ケーブルを抜くか、電源を切っても安全です。

録画について

万一、何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、内容 (データ) の保証や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

放送画質と録画時間		
	デジタル放送	
	HDD 容量 1TB	HDD 容量 500G
TS HD (ハイビジョン)	約９０時間	約４５時間
TS SD (標準画質)	約 270 時間	約１３５時間

USB ハードディスクの残量を確認する

● **[残量]** を押す

TS モードでの録画残量時間が確認できます。

動作確認済 USB ハードディスク対応機器

● バッファロー製

・HD-ALCU2/V シリーズ
・HD-ALU2 シリーズ
・HD-ALSU2/V シリーズ
・HD-AVU2 シリーズ
・HD-LBFU2 シリーズ
・HD-LBU2 シリーズ
・HD-LBU3 シリーズ
・HD-LEMU2 シリーズ
・HD-LSU2 シリーズ

(2013 年 4 月 24 日現在)

※ 本機が対応している USB ハードディスクの容量 (公称値) は、80GB から 2TB までです。

※USB ハードディスクの動作を保証するものではありません。

※ 最新の情報については、弊社ホームページで公開する予定です。

(www.hisense.co.jp)

デジタル放送の著作権保護について

● 本機では著作権保護により、コピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

● ダビング１０のデジタル放送番組を USB ハードディスクに録画した場合、USB ハードディスクから他に接続されている USB ハードディスクに、１０回までのダビング（９回のコピーと１回のムーブ［移動］）が可能です。

録画するときのご注意

● 電源を押してから、USB ハードディスクが起動するまで、USB ハードディスクに録画したり、入っている録画番組にアクセスすることはできません。

● 本機は、デジタル放送を２番組同時に録画することやラジオ放送、データ放送の録画はできません。

● BS・CS デジタル放送を録画する場合は、録画中の番組のみ視聴できます。

● 連続録画時間は最大で 24 時間です。24 時間を超えると自動的に停止します。

● 録画を一時停止することはできません。

● テレビ放送に連動したデータ放送は録画されますが、録画した後で再生した場合、データ放送の内容によっては操作できない場合があります。

● デジタル放送の受信状態が悪い（画面がきちんと表示されない、音声がとぎれる）場合、録画を行うと、番組の先頭部分や途中部分が切れたりすることがあります。

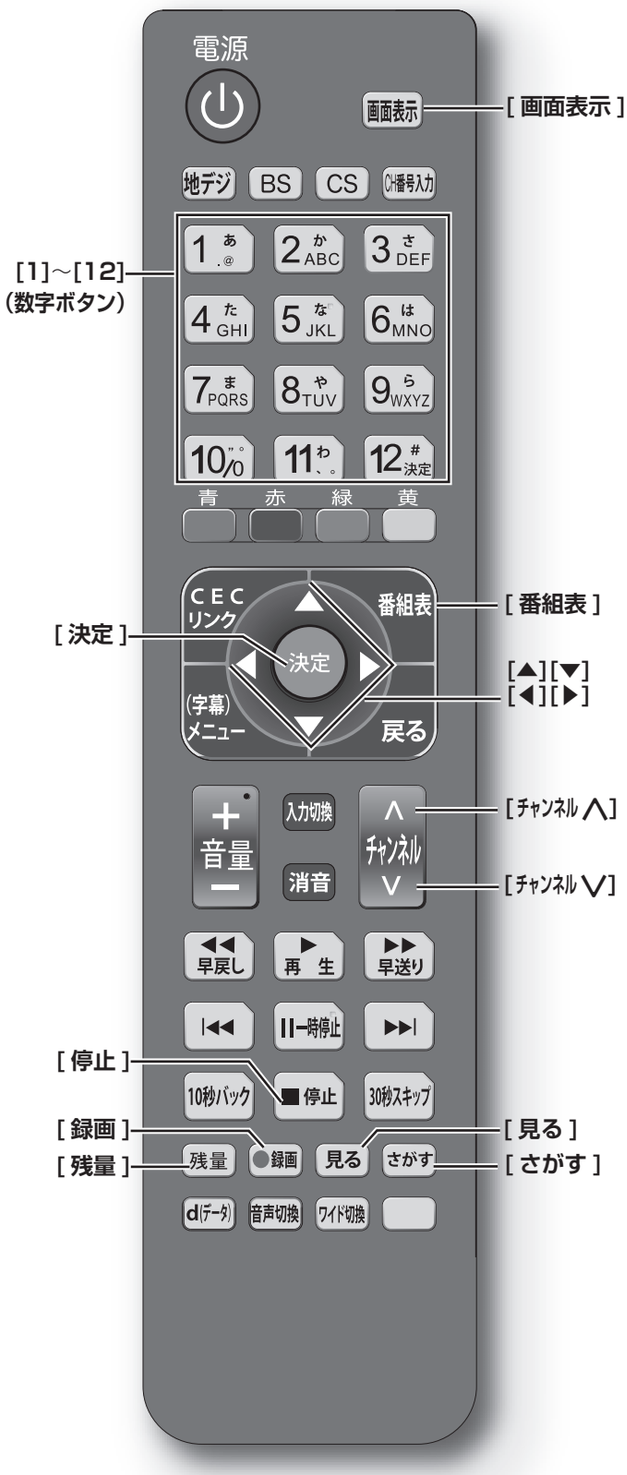
● 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると、録画が停止します。

● 保存できる録画番組の数は、USB ハードディスク 1 台あたり最大 999 個です。

● 停電などで録画が中断した場合、再び電源が入っても録画の再開はされません。また録画された番組を正しく再生できない場合があります。

● 録画中はメニュー、番組表、録画番組の画面を表示するのに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

番組の録画、録画予約をする（つづき）



放送中の番組を録画する

放送中の番組を、録画時間を選択して録画することができます。（クイックタイマー録画）

1 録画したいチャンネルを選ぶ

事前に残量に余裕があると分かっている場合、ステップ２をとばして、[録画] を押しても録画ができます。

2 **[残量]** を押す

録画できる時間と残量が表示されます。録画できる残量があることを確認してください。USB ハードディスクが２台接続されている場合は、[◀]/[▶] を押して、録画したいハードディスクを選択します。

3 **[録画]** を押す

録画が開始されます。録画時間を変更するときは、[▲]/[▼] で、**番組終了**、**30 分**、**1 時間**、**2 時間**、**3 時間**、6 時間のいずれかを選択して **[決定]** を押します。

お知らせ

- 設定した時間が経過すると、録画が停止します。
- すでに録画している場合、**[録画]** を押すと確認のメッセージが表示されます。この画面から終了時間の変更を行うことができます。

録画を途中でやめる

1 **[停止]** を押す

2 **録画を停止します**を選択して **[決定]** を押す

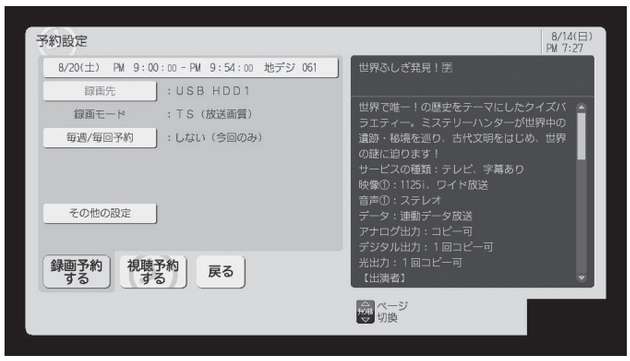
お知らせ

- クイックタイマー録画中は、**【画面表示】** を押すと、録画の経過時間が表示されます。
- 録画中はリモコン、または本体の電源を押してスタンバイにしても録画を続けます。**主電源は絶対に切らないでください。**
- 追いかけ再生中や、予約録画中はクイックタイマーの設定はできません。

番組を録画予約する

まだ放送が始まっていない番組を録画予約することができます。予約できる番組は最大で 50 番組です。

1 「電子番組表」(☞ 52 ページ)や「番組をさがす」(☞ 53 ページ)から , 予約したい番組を選び **[決定]** を押す



2 **[▲]/[▼]** を押して、**録画先**を選択し **[決定]** を押す

USB ハードディスクが 1 台しか接続されていない場合は、設定する必要はありません。

3 **[▲]/[▼]** を押して、**毎週**／**毎回予約**を選択し **[決定]** を押す

今回のみの予約の場合は、設定する必要はありません。

4 **しない (今回のみ)**、**毎週**、**毎日**、を選択して、**[決定]** を押す。

5 **その他の設定**から**フォルダ指定**、**更新**、**映像**、**音声**、を選択して、お好みの項目を選び、**[決定]** を押す。

選択するものがない場合は、選択できません。

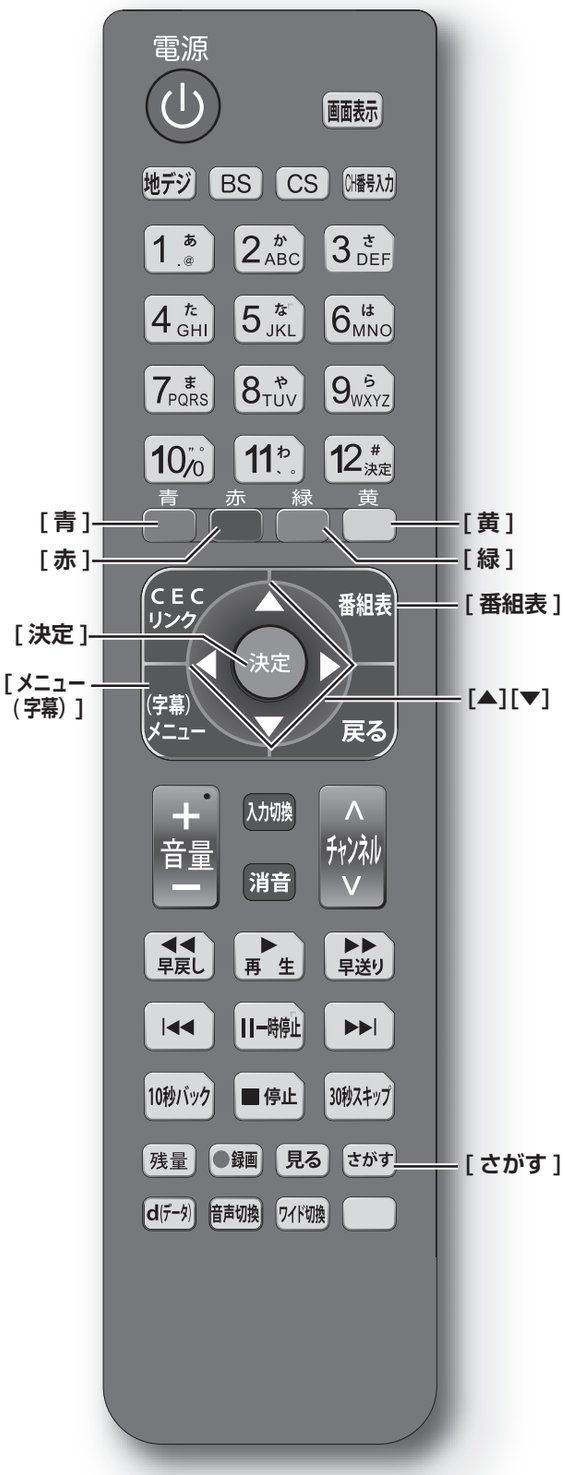
6 **[▼]** を押し、**録画予約する**を選択して、**[決定]** を押す。

赤い時計マークが録画予約した番組に付きます。

お知らせ

- 番組予約で、**毎週**、**毎日**を選択した場合、番組の編成によっては、予約が実行されない場合があります。実行されない予約は、予約一覧で黄色で表示でされます。
- 予約実行時には B-CAS カードが挿入されている必要があります。
- ＵＳＢハードディスクの残量が足りない場合、またはＵＳＢハードディスク１台あたりの録画番組数が９９９を超えた場合は、録画できません。事前に確認してください。
- 録画予約実行中に**【停止】**を押すと、途中で録画を中止することができます。
- 放送時間に変更が入った場合、**[メニュー (字幕)]** を押し、初期設定→**機能設定**→**放送時間変更対応**（☞ 92 ページ）で、**する**に設定すると、実際の放送時間に合わせて予約を実行します。番組表の更新状態によっては、追従できない場合があります。
- 録画中はリモコン、または本体の電源を押してスタンバイにしても録画を続けます。**主電源は絶対に切らないでください。**
- 録画する場合、**更新をする**に設定していると、**録画を行うとき、前回録画した番組を削除します。**更新録画した番組を、削除したくないときは、削除のロックをしてください。(☞ 67 ページ)
- **更新をする**に設定している番組を再生中に、更新録画予約が開始された場合は、再生している番組の削除は行われません。

番組の録画、録画予約をする（つづき）



予約の確認、変更、取り消しをする

1 **[メニュー（字幕）]** を押して、予約一覧を選択して、**[決定]** を押す。

2 **録画予約**、**視聴予約**を選択し決定を押す。

3 **[▲]/[▼]** を押して、予約した番組を選択する

日付／開始時刻／終了時刻放送局の予約変更ができます。
毎週／毎回予約の変更ができます。

4 **変更して予約する**、**予約を削除する**、**戻る**のいずれかを選択して、**[決定]** を押す

お知らせ

- **[青]** を押すと、新規の予約ができます。
- **[赤]** を押すと、予約の削除ができます。
- **[緑]** を押すと、予約を一時的に実行しません。
- **[黄]** を押すと、文字の大きさを変更できます。

●予約されている番組には、「実行」にチェックマークが入ります。「赤丸」が付いている場合は予約を実行中です。重複が表示されている場合は、番組編成の変更により、予約が重複しています。この場合は、予約が実行されない可能性がありますので、予約の見直しが必要です。

予約の実行結果を確認する

1 **[メニュー（字幕）]** を押して、**予約一覧**を選択して、**[決定]** を押す。

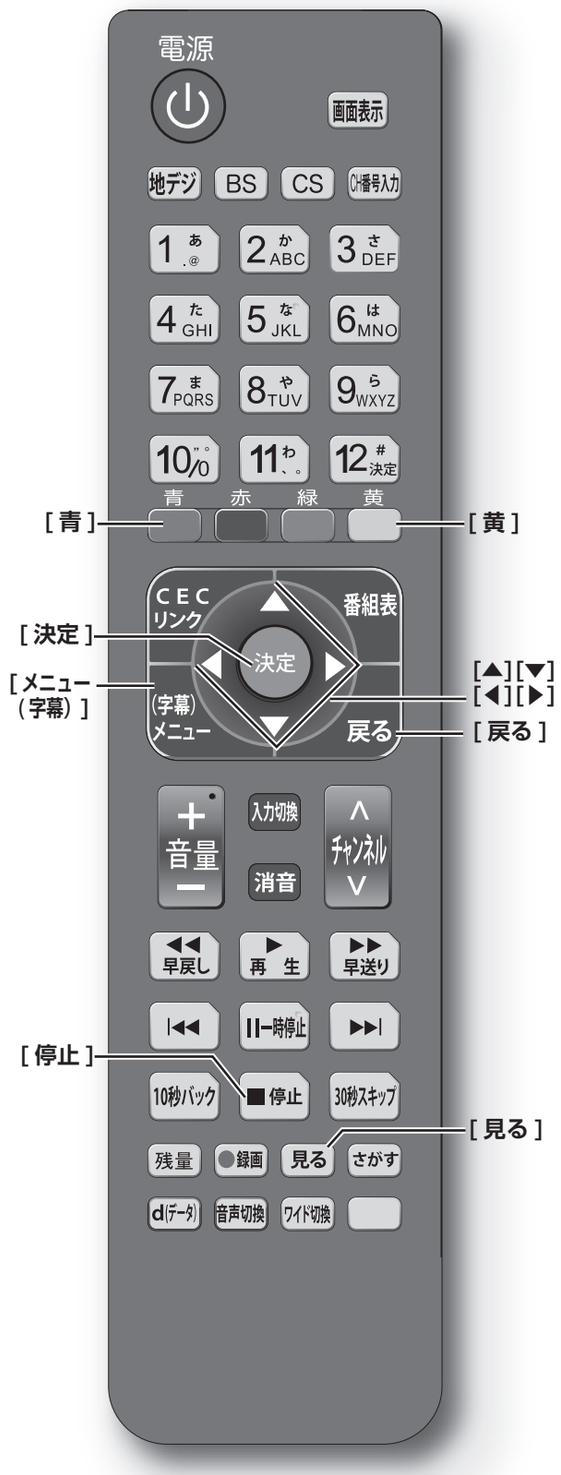
2 **[▼]** を押して、**実行結果**を選択する

予約実行の結果の確認ができます。

お知らせ

●番組表や「番組をさがす」から , 予約登録した番組を選択して、**[決定]** を押しても、予約の変更、取り消しができます。

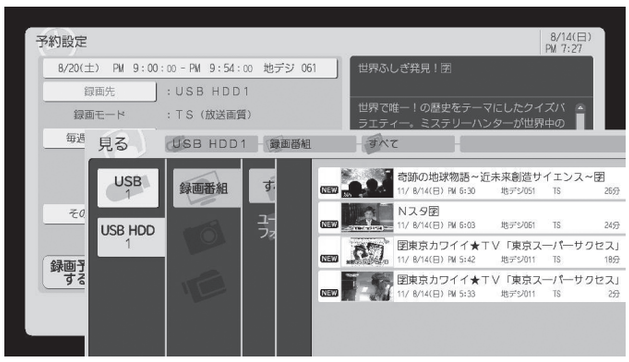
録画した番組を見る、編集する



見るから選ぶ

録画した番組を、一覧画面で表示して選択することで、再生することができます。

1 **[見る]** を押す。



2 **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して、見たい録画番組を選択して、**[決定]** を押す。

再生が開始されます。再生を停止する場合は、**【停止】**を押します。

お知らせ

- **[青]** を押すと、USB ハードディスクのメディアを切り換えます。
- **[黄]** を押すと、文字の大きさを変更できます。
- **[メニュー]** を押すと、番組の編集ができます。(☞ 67 ページ)
- **[戻る]** を押すと、放送に戻ります。

番組を録画しながら再生する

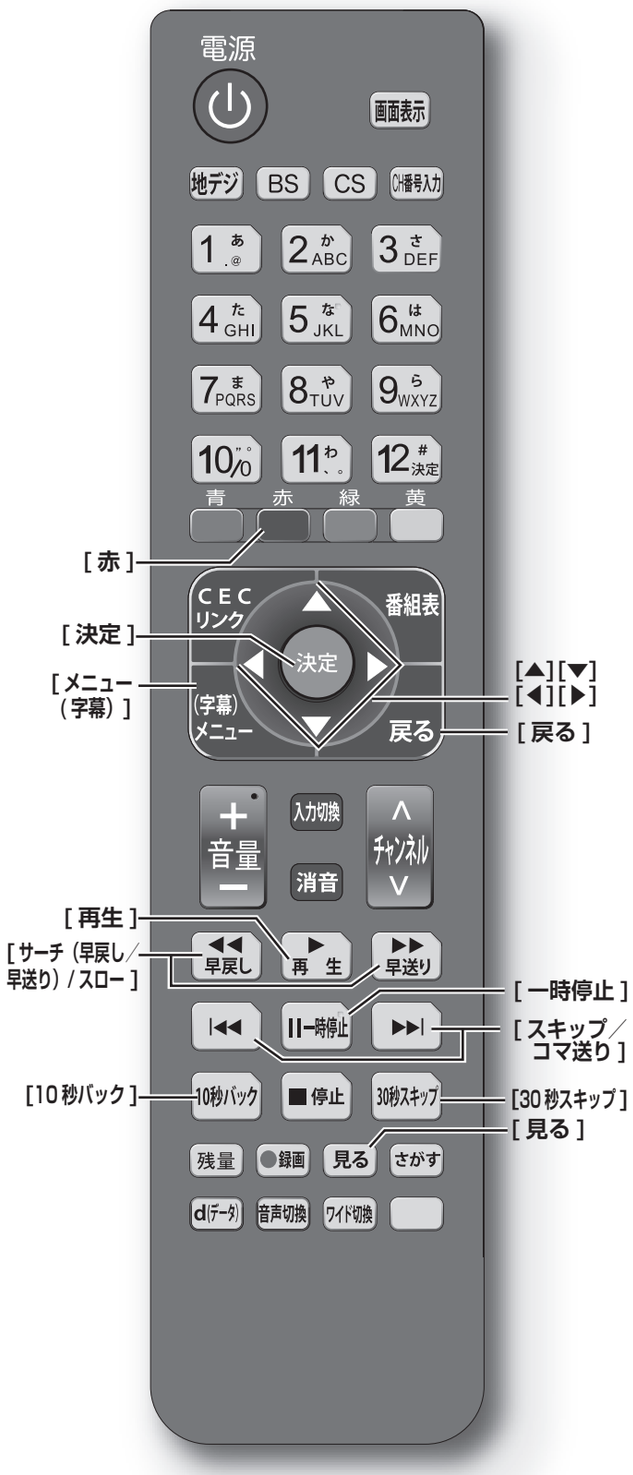
録画中の番組を、録画しながら再生することができます (追いかけ再生)。再生中、早送りやスロー再生の操作もできます。

1 **[見る]** を押す。

2 **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して、見たい録画中の番組 (赤丸が付いた録画実行中) を選択して、**[決定]** を押す。

再生が開始されます。再生を停止する場合は、**【停止】**を押します。

録画した番組をみる、編集する（つづき）



いろいろな再生のしかた

ある場面を止めてみる	再生中に**【II 一時停止】**を押す	もとに戻すには、**【II 一時停止】**を押すか、**【再生】**を押します。
早送り再生	再生中に**【早送り】**を押す	押す毎に、2 倍速→ 10 倍速→ 30 倍速→ 60 倍速→ 2 倍速になります。もとに戻すには**【再生】**を押します。
スロー再生	一時停止中に**【早送り】**を押す	押す毎に、1/16 倍速→ 1/8 倍速→ 1/2 倍速になります。もとに戻すには**【再生】**を押します。
早戻し再生	再生中に**【早戻し】**を押す	押す毎に、2 倍速→ 10 倍速→ 30 倍速→ 60 倍速→ 2 倍速になります。もとに戻すには**【再生】**を押します。
コマ送りで見る	一時停止中に**【▶▶I】**を押す	押す毎に、コマ送りします。
チャプターの先頭から見る	再生中に**【▶▶I】**または**【I◀◀】**を押す	**【▶▶I】**を押すと、次のチャプターの先頭から再生します。 チャプターの設定がない場合は、番組の終わりにスキップし、10 秒間一時停止します。 **【I◀◀】**を押すと、再生中のチャプターの先頭から再生します。 チャプターの設定がない場合は、番組の最初から再生します。
30 秒スキップ	再生中に**【30 秒スキップ】**を押す	押す毎に、約 30 秒スキップした場面から再生します。180 秒まで設定することができます。
10 秒バック	再生中に**【10 秒バック】**を押す	押す毎に、約 10 秒戻った場面から再生します。60 秒まで設定することができます。

番組説明を表示する

録画した番組の情報を見ることができます。

1 [**見る**] を押す。

2 [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、番組の内容を知りたい録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押して、**番組説明**を選択し [**決定**] を押す

お好みの場面をサムネイルに設定する

録画した番組のお好みのシーンを選び、サムネイルに設定することができます。

1 [**見る**] を押す。

2 [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、設定したい録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押して、**各種編集→サムネイル設定**を選択し [**決定**] を押す

4 [**再生**]、[**早送り**]、[**早戻し**]、[**II 一時停止**] を押して、お好みの場面を選び、[**決定**] を押す

新しいサムネイル画面が設定されます。終了するには **【戻る】** を押します。

チャプターを設定する

1 [**見る**] を押す。

2 [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、チャプターを設定したい録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押して、**各種編集→チャプター設定**を選択し [**決定**] を押す

4 [**再生**]、[**早送り**]、[**早戻し**]、[**II 一時停止**] でチャプターを入れたい場面を選び、[**決定**] を押す

チャプターが登録されます。続けて登録したい場合は、上記の操作を続けます。**【戻る】** を押すと、**見る**に戻ります。

お知らせ

- チャプターを削除するには、[◀]/[▶] で削除するチャプターを選び、**【赤】** を押します。
- 1 つの番組で最大 255 個のチャプター設定ができます。ただしチャプターとチャプターの間は 5 秒以上が必要です。

録画番組を分割する

1 [**見る**] を押す。

2 [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、設定したい録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押して、**各種編集→分割**を選択し [**決定**] を押す

4 [**再生**]、[**早送り**]、[**早戻し**] で分割したい場面を選び **【II 一時停止】** を押して、[**決定**] を押す

番組が分割されます。**【戻る】** を押すと、**見る**に戻ります。

録画した番組をロックする

大切な番組を削除できないように保護 (ロック) します。

1 [**見る**] を押す。

2 [▶] を押して、録画番組表示欄の任意の番組を選択する

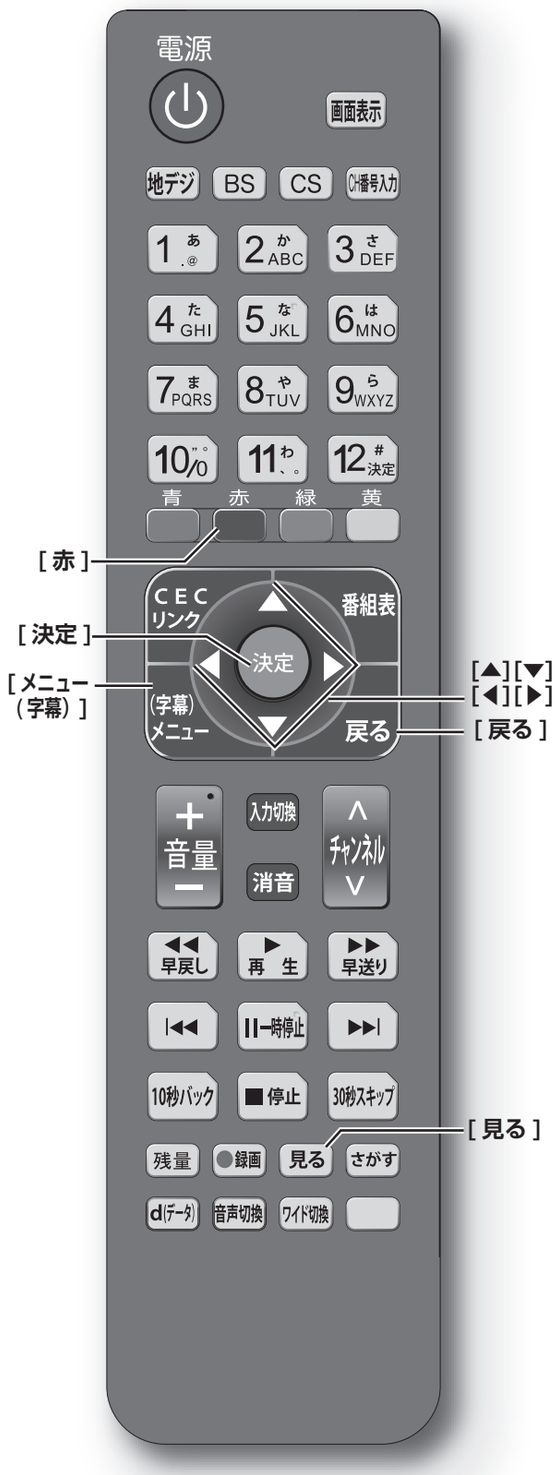
3 [**メニュー (字幕)**] を押し、**削除ロック／解除**を選択して、[**決定**] を押す

4 [▲]/[▼] を押して、設定したい録画番組を選択し、**【決定】** を押す

番組に鍵マークが付き、ロックされます。続けてロックしたいときは、番組を選び、**【決定】** を押します。

削除ロックを解除するには、ロック設定されている番組を選択して、[決定] を押します。

5 [◀] を押して、**【決定】** を押すと、終了する



フォルダーをロックする

フォルダを削除できないように保護（ロック）します。

1 **[見る]** を押す。

2 **[▶]** を押して、**フォルダー** ※（※ は番号）を選択する

3 **[メニュー（字幕）]** を押し、**削除ロック／解除**を選択して、**[決定]** を押す

フォルダー内の番組すべてに鍵マークが付き、ロックされます。

【戻る】 を押すと、放送に戻ります。

お知らせ

- USB ハードディスクを初期化する（☞ 93 ページ）と、ロックした番組も消去されます。ご注意ください。
- 15 分以内に始まる予約登録がある場合は、削除ロックを操作することはできません。

録画した番組を削除する

1 **[見る]** を押す。

2 **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して、削除したい録画番組を選択する

3 **[赤]** を押して、**はい**を選択し **[決定]** を押す

複数の番組を削除する

1 **[見る]** を押す。

2 **[▶]** を押して、録画番組表示欄の任意の番組を選択する

3 **[メニュー（字幕）]** を押し、**一括削除**を選択して、**[決定]** を押す

4 **[▲]/[▼]** を押して、削除したい録画番組を選択し、**【決定】** を押す

続けて番組を削除したいときは、番組を選び、**【決定】** を押します。

5 **[◀]** を押して、**削除実行**を選択して、**【決定】** を押す

フォルダ内の番組を一括削除する

1 [**見る**] を押す。

2 [▶] を押して、**フォルダー** ※（※ は番号）内の任意の録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押し、**一括削除**を選択して、[**決定**] を押す

4 **フォルダ内全削除**を選択し、**［決定］** を押す

5 **はい**を選択して、**［決定］** を押す
フォルダ内のすべての録画番組が削除されます。

番組をフォルダに登録する

録画した番組をフォルダ毎に整理できます。

1 [**見る**] を押す。

2 [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して、フォルダーに登録したい録画番組を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押し、**フォルダ登録**を選択して、[**決定**] を押す

4 [▲]/[▼] を押して、登録したい録画番組を選択し、**［決定］** を押す
続けて番組を登録したいときは、番組を選び、**［決定］** を押します。

5 [◀] を押して、**登録先のフォルダ**を選択して、**［決定］** を押す

6 登録したいフォルダを選択して、**［決定］** を押す
選択した番組が指定したフォルダに登録されます。

フォルダを追加する

1 [**見る**] を押して、ユーザーフォルダを選択し**［決定］** を押す

2 [**メニュー (字幕)**] を押して、**フォルダ追加**を選択する

3 [**決定**] を押すとフォルダーが追加される

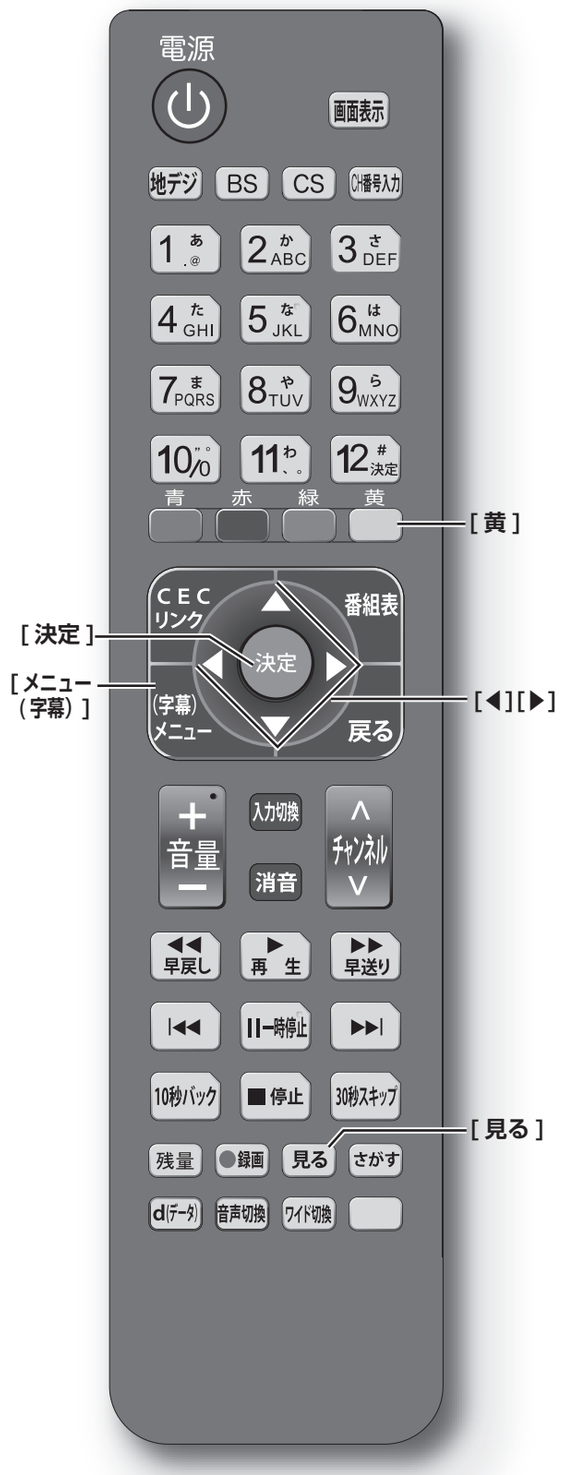
フォルダを削除する

1 [**見る**] を押して、ユーザーフォルダを選択し**［決定］** を押す

2 [**メニュー (字幕)**] を押して、**フォルダ削除**を選択する

3 **はい**を選択し、[**決定**] を押すとフォルダーが削除される

録画した番組をダビングする



ダビングをする

USB ハードディスクを 2 台接続している場合、一方から他方へダビングすることができます。

ダビング１０のデジタル放送番組を、１０回までダビング（９回のコピーと１回のムーブ「移動」）が可能です。コピーワンス（1 回のみ録画可能）の番組の場合は、1 回のムーブが可能です。

1 **[見る]** を押す。

2 **[▶]** を押して、録画番組表示欄の任意の番組を選択する

3 **[メニュー (字幕)]** を押して**ダビング**を選択し **[決定]** を押す

4 **USB HDD** を選択し **[決定]** を押し、ダビングしたいハードディスク、フォルダを選択し、**[決定]** を押す

5 **そのままダビング、不必要部分削除ダビング**（☞ 71 ページ）を選択し、**[決定]** を押す

6 ダビングしたい番組を選択し、**[決定]** を押す

ダビングしたい番組を続けて登録したい場合は、番組を選択して **【決定】** を押す。

7 **[◀]** を押して、**ダビング開始**を選択して決定を押す

8 **はい**を選択して、**[決定]** を押す

ダビングが開始されます。**いいえ**を選択すると、「番組選択画面」に戻ります。

フォルダごとダビングをする

1 [**見る**] を押す。

2 [▶] を押して、**フォルダー** ※（※ は番号）を選択する

3 [**メニュー (字幕)**] を押して**ダビング**を選択し [**決定**] を押す

4 **USB HDD** を選択し [**決定**] を押し、ダビングしたいハードディスク、フォルダを選択し、[**決定**] を押す

お知らせ

- フォルダーごとダビングする場合は、不必要部分削除ダビングは選択できません。

5 **ダビング開始**を選択して [**決定**] を押す

6 **はい**を選択して、[**決定**] を押す
ダビングが開始されます。**いいえ**を選択すると、1 つ前の画面に戻ります。

不必要部分削除ダビング

必要のない部分をカット編集してダビングします。**不必要部分削除**を選択して、

1 ダビングしたい番組を選択し、[**決定**] を押す
不要部分の指定になります。

2 チャプターを登録する手順で、不要部分の最初と最後を順番に登録する

3 **[◀]/[▶] を押して削除するシーンを選択して、[黄] を押す**
もう一度 **【黄色】** を押すと、選択が解除されます。
不必要部分削除ダビングを、続けて番組登録したい場合は、番組を選択して **【決定】** を押す。

4 [◀] を押して、**ダビング開始**を選択して決定を押す

5 **はい**を選択して、[**決定**] を押す
ダビングが開始されます。**いいえ**を選択すると、「番組選択画面」に戻ります。

お知らせ

- 不必要部分削除ダビングのときは、チャプターの設定は引き継がれません。

ダビングを中止する

[**メニュー (字幕)**] を押して**ダビング中止**を選択し [**決定**] を押す
複数の番組を一括でダビングしているときは、次の番組のダビングが中止されます。

お知らせ

ダビングについて

- ダビング中は電源プラグを抜いたり、主電源を切らないでください。USB ハードディスクの内容が損なわれる場合があります。
- ダビング中に選局操作を行うと、放送番組の視聴ができます。
- ダビング中に予約録画の開始時刻になった場合、予約がキャンセルされ、予約録画は実行されません。
- **万一、何らかの不具合により、ダビングが正常にできなかった場合、内容 (データ) の保証や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
- 私的目的で録画したものでも、著作権者などに無断で、販売したり、インターネットで公衆に配信すると、著作権侵害となります。

接続した機器を使う

この章では、他の機器を接続した場合の操作方法についてご説明いたします。

ページ

接続した機器の映像を見る 74

機器リンクで外部機器を操作する..... 75

接続した機器の映像を見る

1 接続を確認する

接続を確認してください。(☞ 41 ～ 44 ページ)

2 入力を切り換える

1 **[入力切換]** を押す

2 続けて **[入力切換]** を押して入力を選び、**[決定]** を押す

[決定] を押さなくても、しばらく待つと選択した入力に切り換わります。

以下の順番で切り換わります。

テレビ→ HDMI1 → HDMI2 →ビデオ 1 →
ビデオ 2 → RGB →テレビに戻る

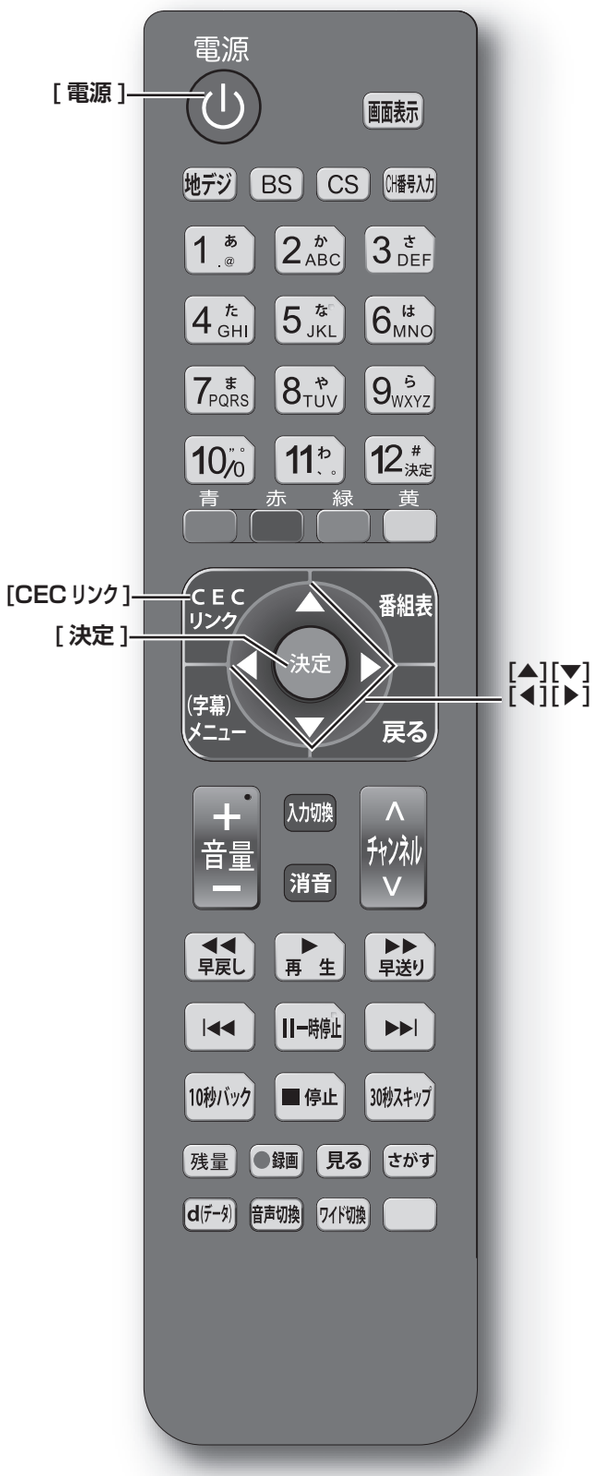
お知らせ

- ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換を押したとき、スキップさせることができます。(☞ 90 ページ)
- 接続する外部機器に合わせて、入力表示を変更することができます。(☞ 90 ページ)

3 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧いただき、機器を再生してください。

機器リンクで外部機器を操作する



準備

市販の HDMI ケーブルを使い、機器リンク対応機器 (AV アンプ、DVD レコーダーなど）を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。

接続を確認してください。(☞ 43 ページ)
機器リンク設定をしてください。(☞ 91 ページ)

AV アンプとの連携操作

1 **[電源]** を押す

2 **[CEC リンク]** を押す

3 **[▲]/[▼]** を押して、**シアターサウンドに切換**または**テレビ音声に切換**を選択して、**[決定]** を押す

シアターモードにすると、テレビのスピーカーの音声が消え、AV アンプの電源が入ります。

4 音量を調整する

お知らせ

- 機器リンクは HDMI-CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール方式です。
- シアターモード時は、音声出力（ステレオミニ）からは音声が出力されません。ヘッドホンを使用する際は、AV アンプ側のヘッドホン端子をご使用ください。

機器リンクで外部機器を操作する（つづき）

DVD レコーダーとの連携操作

レコーダーのメニューを操作する

1 **[電源]** を押す

2 **[CEC リンク]** を押す

3 **[▲]/[▼]** を押して、**接続機器選択**を選択して、**【決定】** を押す

選択した HDMI 接続機器の入力に切り換わります。レコーダーの電源がオフの場合は、自動的にオンになります。

4 **[▲]/[▼]** を押して、**操作一覧**、**サブメニュー**、**再生リスト**を選択して、**【決定】** を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]、**【決定】** を押しながら、レコーダーの画面の指示に従います。

お知らせ

- 機器リンク画面のサブメニューは接続機器により**設定メニュー**と表示される場合があります。

見ている番組をレコーダーに録画する

1 **[CEC リンク]** を押す

2 **[▲]/[▼]** を押して、**録画開始**を選択して、**【決定】** を押す

レコーダーの電源がオフの場合は、自動的にオンになり録画が開始されます。

3 録画を停止する場合は、**[▲]/[▼]** を押して、**録画停止**を選択して、**【決定】** を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]、**【決定】** を押しながら、レコーダーの画面の指示に従います。

お知らせ

- 本機で視聴している、地上デジタル放送、BS・110 度 CS デジタル放送を録画することができます。
- レコーダーの状態によっては、録画ができない場合があります。

その他の連携操作について

- レコーダーの再生操作をすると、本機の電源が自動的に入り、HDMI 入力に切り換わります。（機器リンク設定で **TV 連動オン設定**を**する**にします。（☞ 91 ページ）
- 本機の電源をスタンバイ (リモコンまたは本機の**【電源】** をオフにする）と外部機器の電源もオフにできます。（機器リンク設定で**システムオフ設定**を**する**にします。（☞ 91 ページ）
- 本機のリモコンで、レコーダーの「カーソル」「決定」、「再生」「停止」「一時停止」「サーチ／スロー」「スキップ」の操作を行うことができます。

お知らせ

対応機器について

AV アンプ／ホームシアターシステム／ DVD レコーダー／ブルーレイ／ DVD レコーダーなど

- ヤマハ製、パナソニック製など HDMI ケーブルに機器コントロール機能を搭載した機種（機種により対応できない場合や、一部連携動作ができない場合があります。）

設定をする

この章では設定メニューを使っての設定・操作方法についてご説明いたします。

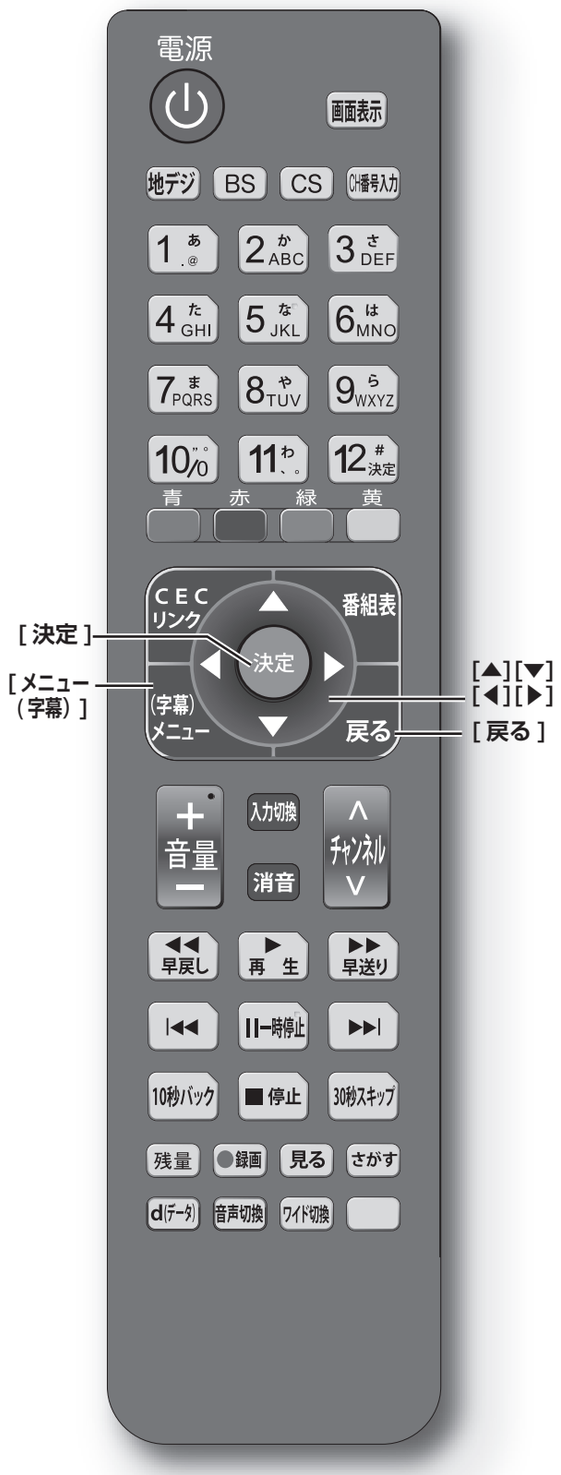
ページ

設定メニューについて 78

各種設定 80

設定メニューについて

本機をご使用いただく上での基本的な設定は、メニューを使って設定できます。



基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

1 [**メニュー (字幕)**] を押すとメインメニューが表示される

2 [▲]/[▼] を押して項目を選び、[**決定**] を押す

3 [▲]/[▼] または [◀]/[▶] を押して値、項目を選択し、[**決定**] を押す

4 [**戻る**] を押すと 1 つ前の画面に戻る

[メニュー (字幕)] を押すと、メニュー表示が消えます。

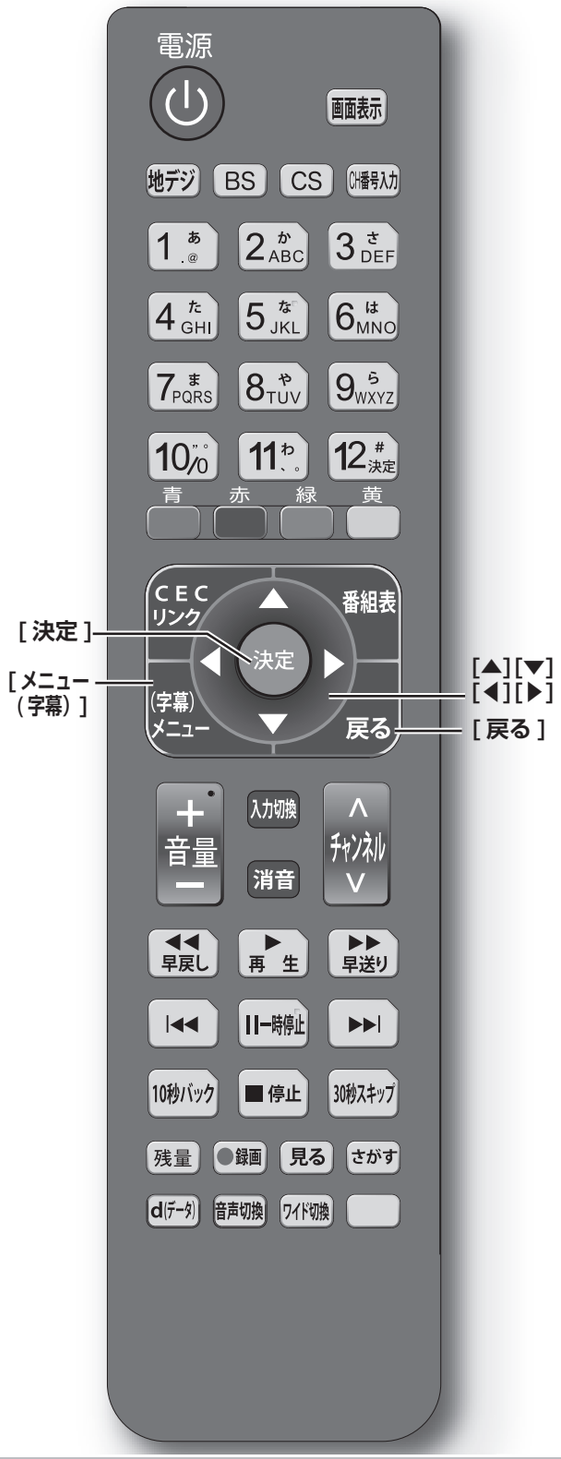
お知らせ

- 現在選択されている画面で設定できない項目は薄く表示されます。

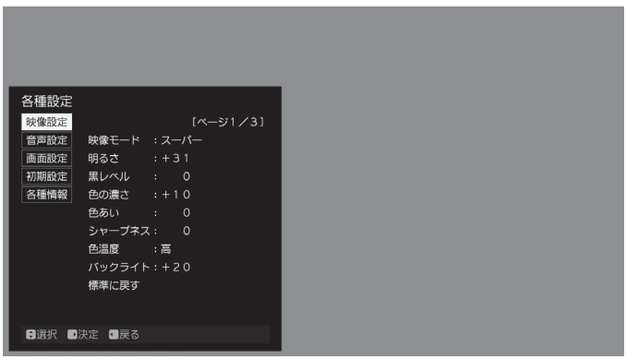
メインメニュー

設定項目	設定内容
映像モード	映像モードを切り換えます。
番組説明	現在ご覧になっている番組の詳細情報を表示します．複数の映像、音声、字幕がある場合は切り換えることができます。
ワイド切換	画面の表示サイズを変更することができます。
予約一覧	予約された番組の一覧が確認できます．録画予約や視聴予約の変更ができます。
字幕設定	**入**の場合、字幕を表示します。 **切**の場合、字幕は表示されません。
オフタイマー	指定した時間が経つと、自動的にスタンバイになります。
ダビング中止	録画した番組をダビングしているとき、ダビングを中断することができます．複数の番組を一括でダビングしているときは、次の番組のダビングが中止されます。
各種設定	テレビの各種設定を行います。 (☞ 80 ページ)

各種設定



映像設定 (ページ 1/3)



設定項目	切換項目	設定内容
映像モード	右欄参照	
明るさ	－31～＋31	周囲の明るさに合わせて見やすくします。
黒レベル	－31～＋31	黒髪の濃さに合わせて見やすくします。
色の濃さ	－31～＋31	お好みの濃さにします。
色あい	－31～＋31	肌色がきれいに見えるようにします。
シャープネス	－15～＋15	ふだんは **0** で、柔らかい感じにしたい場合は－側にします。 やわらかな画質 ←→ くっきりとした画質
色温度	高 / 中 / 低	室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。
バックライト	－20～＋20	お好みに合わせて見やすい明るさにします。
標準に戻す	はい / いいえ	**はい**を選び**「決定」**を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

- 各映像設定項目は、デジタル放送、ＨＤＭＩ１、ＨＤＭＩ２、ビデオ１、ビデオ２、ＲＧＢ入力の各モードごとに設定できます。
- 明るさ。黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度、バックライトは映像モードごとに設定することができます。
- ＲＧＢ入力時は、映像モード、シャープネスの設定はできません。
- ＨＤＭＩ ＰＣ信号入力時は、シャープネスの設定はできません。

メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
[決定] を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

●明るさは、調整値が＋３１のときに [▶] を押し続けると、＋３２～＋４０までの範囲で調節できます。(このとき、表示は赤紫色に変わります。）暗い映像ソースの場合に有効ですが、映像の明るい部分の階調は損なわれます。

● 消費電力設定を低減（強）にしている場合、バックライトの調節はできません。（☞ 93 ページ）

● 映像モード

映像モード	設定内容
スーパー	鮮明でコントラストのある画像に調整します。明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。
スタンダード	標準的な画像に調整します。通常のテレビ番組、ＤＶＤ再生などを楽しむときに適したモードです。
シネマ (ソフト)	映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、落ちついた明かりのインテリア照明のリビングなどで、長時間視聴に適したモードです。
ユーザ設定	お好みの画質に設定して楽しむことができます。

お知らせ

●映像モードは放送 (地上デジタル / ＢＳ / ＣＳ)、ＨＤＭＩ１/ ２、ビデオ１/ ２の各モードごとに設定できます。

映像設定（ページ 2/3）

設定項目	切換項目	設定内容
コントラスト	リニア / ダイナミック	**リニア**：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。 **ダイナミック**：映像の階調にメリハリをつけて、コントラスト感を向上します。
黒補正	切 / 弱 / 中 / 強	黒レベル補正を調節します。
ＬＴＩ	切 / 弱 / 中 / 強	輝度信号の鮮鋭度を調節します。
ＣＴＩ	切 / 弱 / 中 / 強	色信号の鮮鋭度を調節します。
ＹＮＲ	切 / 弱 / 中 / 強	輝度信号のノイズリダクションを調節します。
ＣＮＲ	切 / 弱 / 中 / 強	色信号のノイズリダクションを調節します。

お知らせ

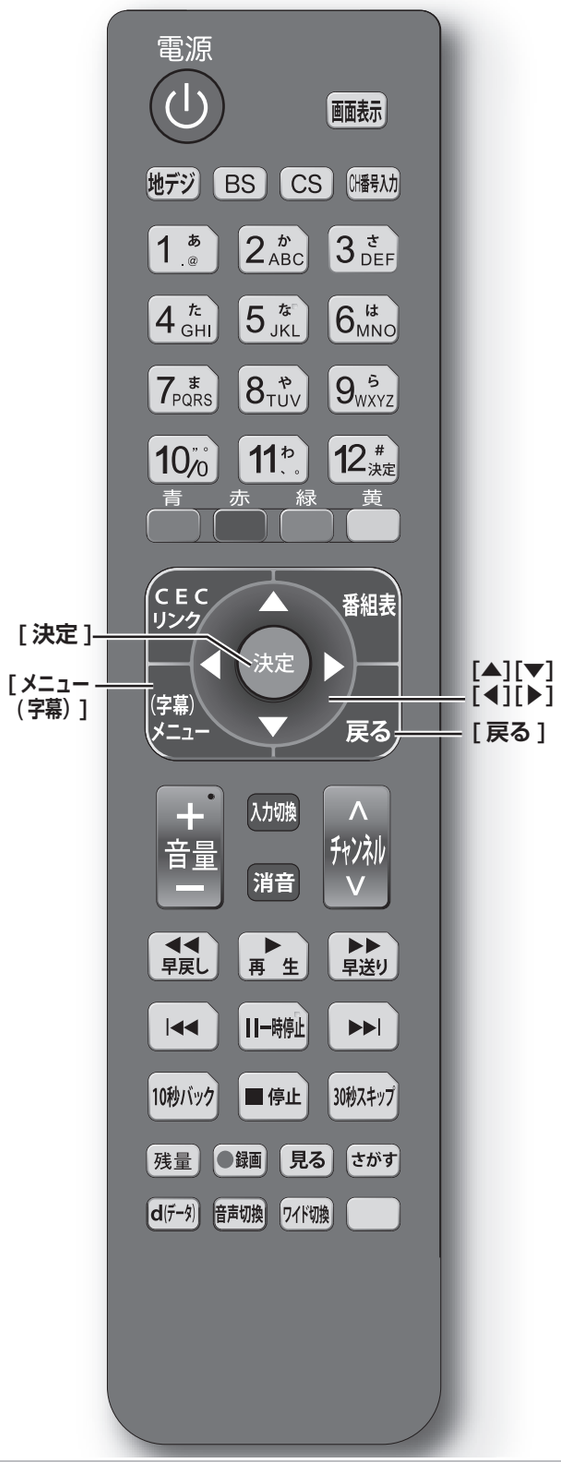
●各映像設定項目は、デジタル放送、ＨＤＭＩ１、ＨＤＭＩ２、ビデオ１、ビデオ２、ＲＧＢ入力の各モードごとに設定できます。

●ＲＧＢ入力時は、コントラスト、黒補正、ＬＴＩ、ＣＴＩ、ＹＮＲ、ＣＮＲの設定はできません。

●コントラストは、映像モードごとに設定することができます。

●ＨＤＭＩ ＰＣ信号入力時は、ＬＴＩ、ＣＴＩ、ＹＮＲ、ＣＮＲの設定はできません。

各種設定（つづき）



メニュー中の基本操作

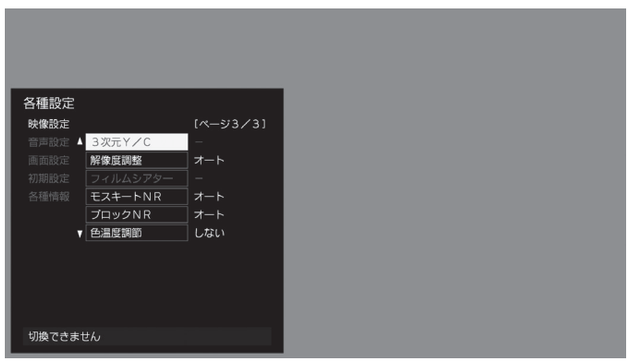
[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

映像設定（ページ 3/3）



設定項目	切換項目	設定内容
3次元Y／C	入 / 切	ビデオなどの映像が自然に見えないときは**切**にします。 通常は**入**にします。外部入力 (コンポジット入力) のときのみ設定できます。
解像度調整	切 / オート / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	映像の切り換り時が自然に見えないときは**切**にします。 **オート**：映像の解像感を自動的に調整します。 **1**～**5**：数値が大きいほど解像感が高くなります。
フィルムシアター	入 / 切	**入**に設定すると映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像を忠実に再現します。
モスキートNR	切 / オート / 1 / 2 / 3	ＭＰＥＧ特有のモスキートノイズを軽減します。 強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
ブロックNR	切 / オート / 1 / 2 / 3	デジタル放送特有のブロックノイズなどを軽減します。 強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
色温度調節	する / しない	色温度調節機能のする／しないを選択します。 **する**のとき、色温度を調節します。右欄参照

お知らせ

- ＲＧＢ入力時は、各項目の設定はできません。
- ＨＤＭＩ　ＰＣ信号入力時は、３次元Ｙ／Ｃの設定はできません。
- モスキートＮＲ、ブロックＮＲは、デジタル放送、ＨＤＭＩ１、ＨＤＭＩ２、ビデオ１、ビデオ２、ＲＧＢ入力の各モードごとに設定できます。
- ＨＤＭＩ　ＰＣ信号入力時は、モスキートＮＲ、ブロックＮＲの設定はできません。

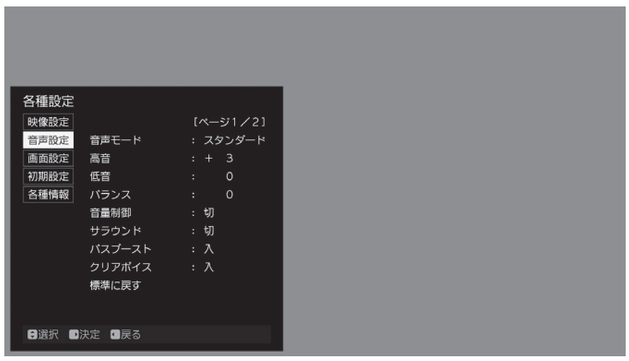
● 色温度調節

設定項目	切換項目	設定内容
Rドライブ	−62〜0	明るい部分の色調を好みに合わせて調節します。
Gドライブ	−62〜0	
Bドライブ	−62〜0	
Rカットオフ	−31〜+31	暗い部分の色調を好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	−31〜+31	
Bカットオフ	−31〜+31	

お知らせ

- 色温度調節は**色温度調節**を**する**の設定のとき調節できます。
- 色温度調節は選んだ色温度、高、中、低のモードごとに調節できます。
- ＲＧＢ入力時は、独立して色温度を調節できます。

音声設定（ページ 1/2）

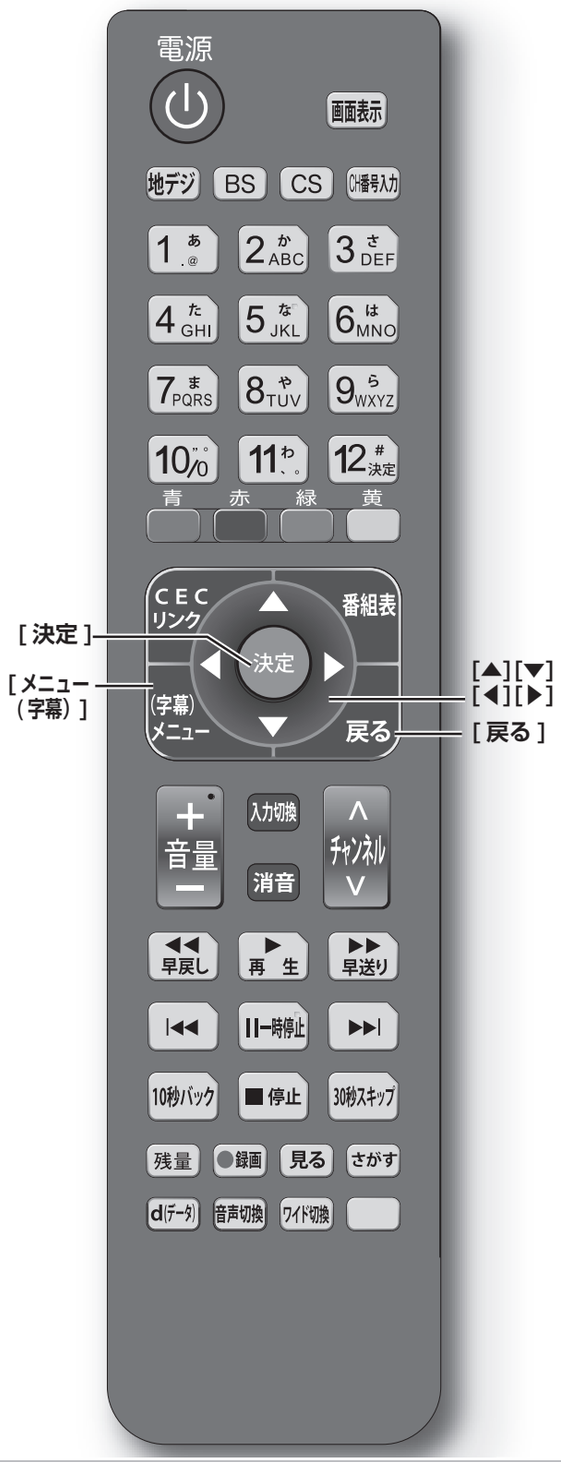


設定項目	切換項目	設定内容
音声モード	スタンダード / ミュージック / シアター / スポーツ	映像内容に合わせて設定します。
高音	−15〜+15	高音をお好みに合わせて設定します。
低音	−15〜+15	低音をお好みに合わせて設定します。
バランス	−10〜+10	バランスをお好みに合わせて設定します。
音量制御	弱 / 中 / 強	チャンネル間や番組間の音量の差を自動的に調整します。
サラウンド	入 / 切	音場を拡大することができます。
バスブースト	入 / 切	低音を強調することができます。
クリアボイス	入 / 切	音声の明瞭度を向上することができます。
標準に戻す	はい / いいえ	**はい**を選び **[決定]** を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

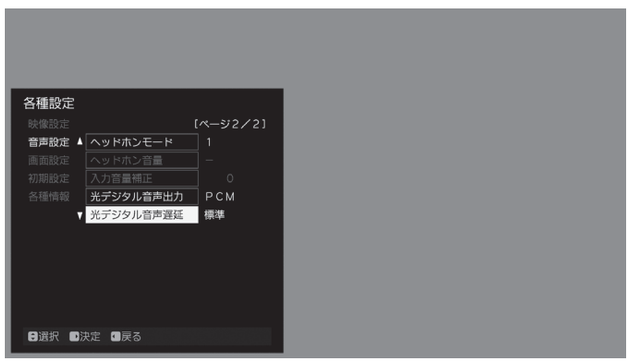
お知らせ

- 音声モードは、デジタル放送ごとに設定できます。
- 各音声モードについて、高音、低音、サラウンド、バスブースト、クリアボイス、音量制御はお好みの音声に設定できます。
- バランスは、音声モードや入力端子によらず共通の設定となります。

各種設定（つづき）



音声設定（ページ 2/2）



設定項目	切換項目	設定内容
ヘッドホンモード	1 / 2	**1**：ヘッドホン使用時、スピーカーから音が消えます。 **2**：ヘッドホン使用時、スピーカーからも音が出ます。スピーカーとヘッドホンの音量を別々に調整できます。
ヘッドホン音量	0～+60	ヘッドホンモードが **2** のとき、ヘッドホンの音量をお好みの音量に設定できます。
入力音量補正	−20～0～+20	外部機器視聴時の音量レベルに差があるときに設定します。
光デジタル音声出力	オート／PCM	光デジタル音声出力フォーマットを設定します。 **オート**：MPEG2 AAC またはドルビーデジタル対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。 **PCM**：MPEG-2 AAC およびドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
光デジタル音声遅延	標準 / 0～15	光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する場合に、映像に対して音声が進んで聞こえるときに設定します。 **標準**：標準設定値 (推奨) **0** ～ **15**：「標準」で最適にならない場合に調整します。

メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

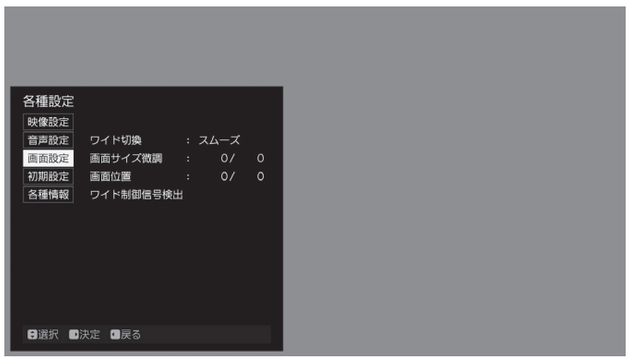
[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

お知らせ

- ヘッドホンモード、ヘッドホン音量や光デジタル音声出力の設定は、音声モードや入力端子によらず共通の設定となります。
- 光デジタル音声遅延の設定は、各入力端子およびデジタル放送によらず共通の設定です。
- 入力音量補正の設定は、各入力端子ごとにできます。

画面設定

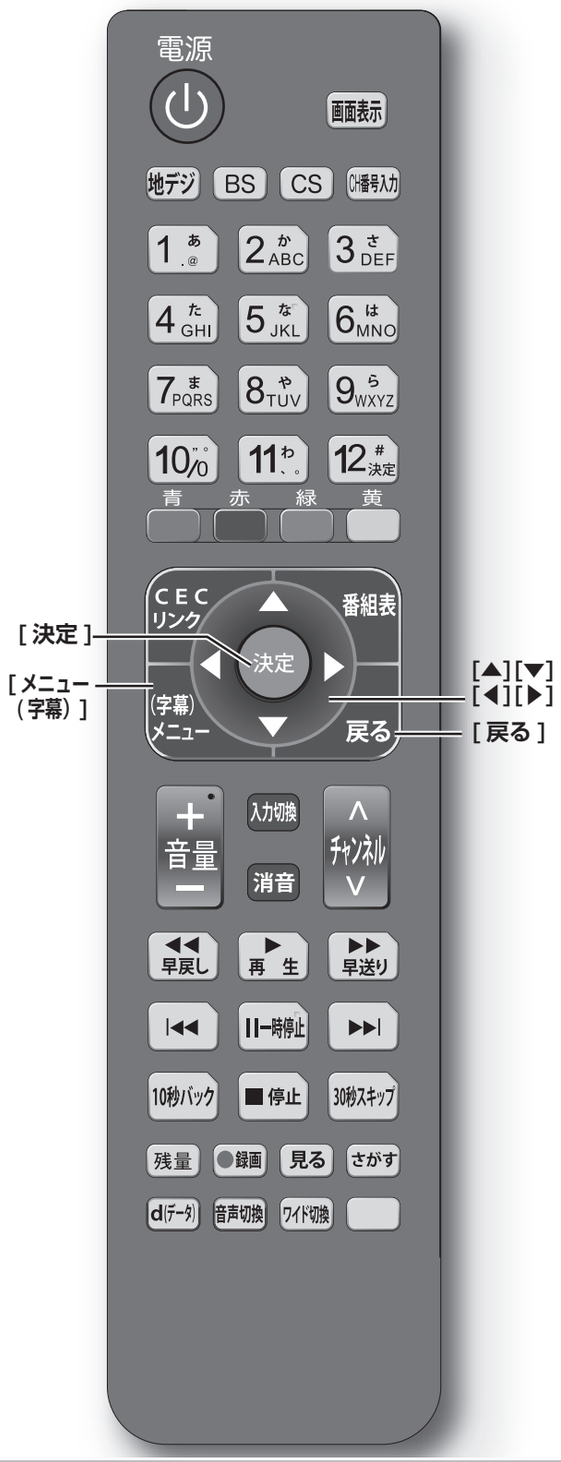


設定項目	切換項目	設定内容
ワイド切換	ノーマル、スムーズ、映画 1、映画 1 字幕、映画 2 字幕、フル、スタンダード、フル HD、ズーム、リアル	(☞ 86 ページ)
画面サイズ微調	縦方向： －10～＋10 横方向： －15～＋15	お好みのサイズに調整します。
画面位置	縦方向： －12～＋12 横方向： －12～＋12	お好みの位置に調整します。
ワイド制御信号検出	する／しない	映像信号のアスペクト比制御信号を検出して、ワイドモードを自動的に切り換えます。

お知らせ

- 画面サイズ微調は、ワイドモードごとに調整できます。
- 画面サイズ微調は、ＲＧＢ入力およびＨＤＭＩ ＰＣ信号入力時は、調整できません。
- ＲＧＢ入力時の画面位置調整はＲＧＢ入力設定を参照してください。(☞ 91 ページ) ＨＤＭＩ ＰＣ信号入力時は、調整できません。
- ワイド制御信号検出は、入力端子ごとに設定できます。

各種設定（つづき）



メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

画面設定（つづき）

● ワイド切換

ワイドモード	説明
ノーマル	通常の 4:3 の映像が中央に映ります。
スムーズ	4:3 の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向を画面一杯にし、垂直方向に約 10%大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。
映画 1	ビスタサイズの映画などを、水平・垂直方向に約 30% 拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。
映画 1 字幕	字幕付のビスタサイズの映像に最適です。
映画 2 字幕	字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。（お買い上げ時の画面位置は＋ 10 に設定されてます。
フル	横方向が圧縮されて記録された映像 (スクイーズ映像) を横方向に画面いっぱいまで拡大します。ハイビジョン以外のデジタル放送 (16:9 番組) を楽しむときなどに使用します。
スタンダード	ハイビジョン番組を楽しむときなどに使用します。
フルHD	ハイビジョン番組をオリジナルな映像で楽しむときなどに使用します。画面サイズはスタンダードより表示領域が広くなります。
ズーム	デジタル放送またはコンポーネント / HDMI 入力 1080i、1080p、720p の 16:9 映像で左右に帯のある映像を拡大することができます。 4:3 の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向を画面いっぱいに拡大し、垂直方向に約 10% 拡大します。
リアル (HDMI PC 信号、RGB 信号入力時)	入力信号の 1 画素を、パネルの 1 画素に対応させて表示します。

お知らせ

- ノーマル (HDMI PC 信号、RGB 信号入力時）では入力信号と同じアスペクト比になるように圧縮・拡大処理をして表示します。
- フル (HDMI PC 信号、RGB 信号入力時）では入力信号の解像度、アスペクト比によらず、縦横いっぱいになるように圧縮・拡大処理をして表示します。
- リアル (HDMI PC 信号、RGB 信号入力時）では入力信号の１画素をパネルの１画素に対応させて表示します。

入力信号により、以下のワイドモードを設定できます。

入力・映像フォーマット	ワイドモード
ハイビジョン以外のデジタル放送 (4:3 番組) ビデオ入力	スムーズ、映画 1，映画 1 字幕、映画 2 字幕、フル、ノーマル
ハイビジョン以外のデジタル放送 (16:9 番組)	フル、ズーム、スムーズ
ハイビジョンのデジタル放送、ビデオ入力	スタンダード、フルＨＤ、ズーム、スムーズ
ＨＤＭＩ ＰＣ信号、RGB 信号	フル、リアル、ノーマル

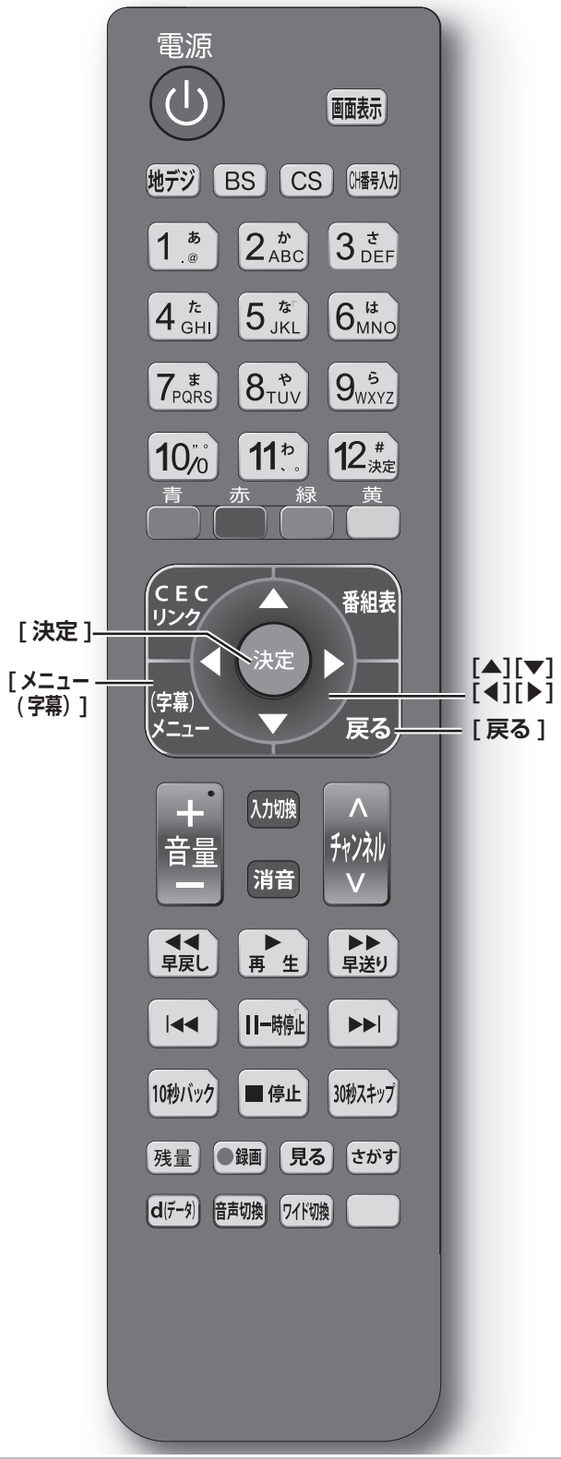
お知らせ

- ワイドモードは、デジタル放送 (地上 / ＢＳ / ＣＳ共通)、外部入力別に設定し記憶することができます。

初期設定

- **受信設定**（☞ 88 ページ）
- **通信設定**（☞ 89 ページ）
- **外部機器接続設定**（☞ 90 ページ）
- **RGB 入力設定**（☞ 91 ページ）
- **機能設定**（☞ 92 ページ）
- **ディスク設定**（☞ 93 ページ）
- **時刻設定**（☞ 93 ページ）
- **制限設定**（☞ 93 ページ）
- **設定の初期化**（☞ 94 ページ）

各種設定（つづき）



初期設定（受信設定）

設定項目	切換項目	設定内容
かんたんセットアップ	「かんたんセットアップを行います。	
郵便番号	0～9	郵便番号を設定します。
受信設定（地上デジタル）	(☞ 89 ページ)	
受信設定 (BS・CS)	(☞ 89 ページ)	
ソフトウエア更新	自動／する／しない	**自動**：更新情報が届くと、自動的に更新します。 **する**：更新情報が届くと、予定時刻をメールで表示し、予定時刻に更新を行います。 **しない**：更新情報が届くと、予定時刻をメールで表示するのみで、更新は行いません。

メニュー中の基本操作

[メニュー（字幕）] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

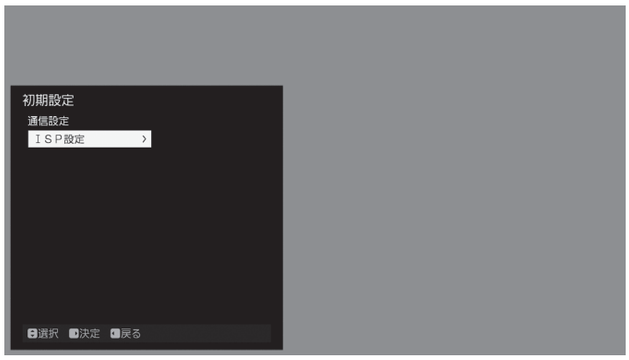
● 受信設定 (地上デジタル)

設定項目	設定内容
CH 合せ (地域名)	お住まいの地域、ケーブルテレビを設定し、初期スキャン、再スキャンを行い、受信レベルを確認します。
CH 合せ (マニュアル)	チャンネルボタン、番号を変更します。
CH スキップ設定	スキップしたいチャンネルを設定します。
受信周波数変更	受信周波数を自動的に変更するか設定します。
アッテネーター	アンテナの入力信号レベルが強すぎるときに、信号レベルを減衰させるときに使用します。

● 受信設定 (BS・CS)

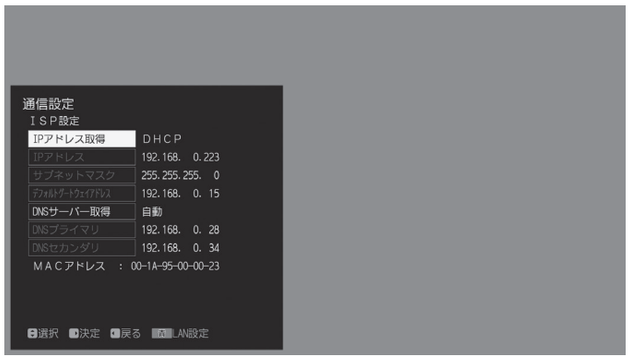
設定項目	切換項目	設定内容
CH 合せ (BS)	–	BSのチャンネルキーとチャンネル番号を変更します。
CH 合せ (CS)	–	CSのチャンネルキーとチャンネル番号を変更します。
CH スキップ設定 (BS)	–	BS チャンネルをスキップするか設定します。
CH スキップ設定 (CS)	–	CS チャンネルをスキップするか設定します。
受信設定変更	–	衛星周波数を手動で設定します。また各衛星周波数の受信レベルを確認できます。
コンバーター電源	連動／切	衛星アンテナへの電源供給を設定します。また各衛星周波数の受信レベルを確認できます。

初期設定（通信設定）



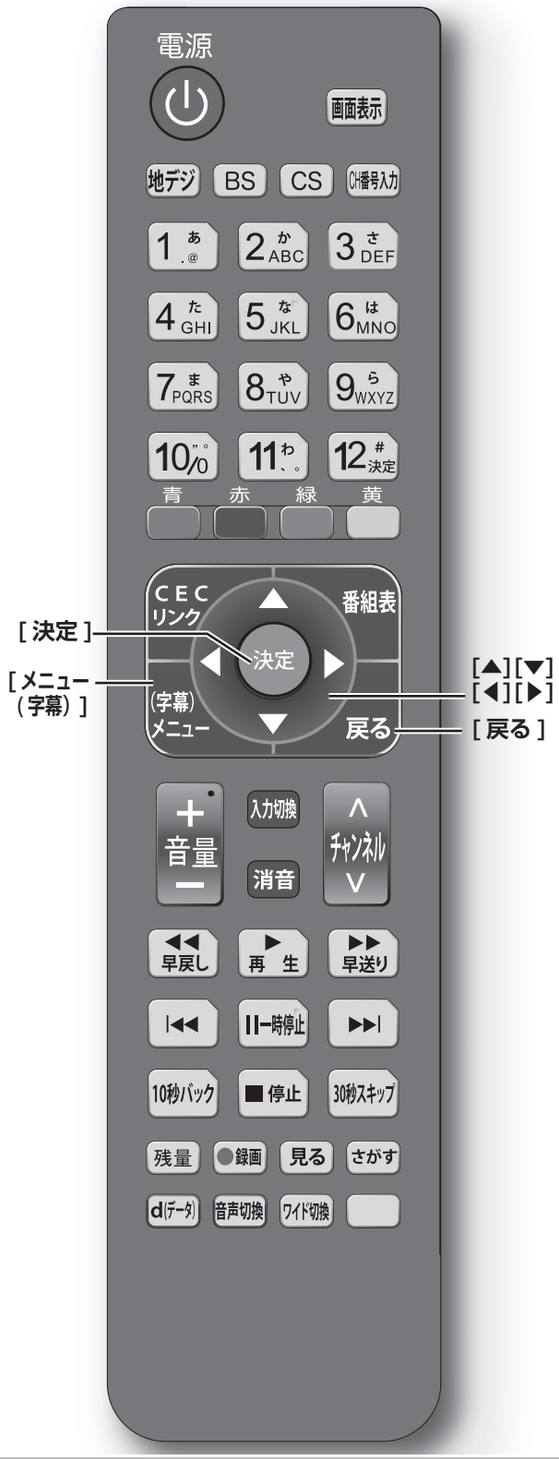
設定項目	切換項目	設定内容
ISP 設定	(☞下記)	

● ISP 設定

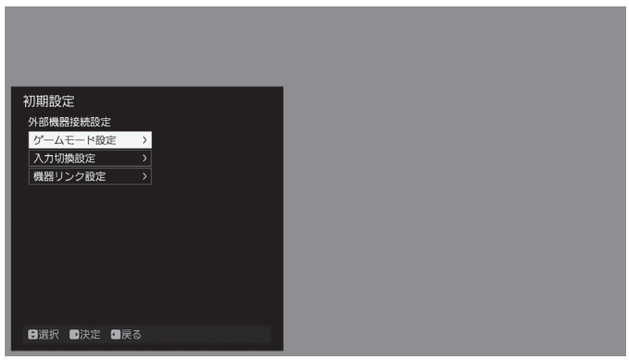


設定項目	設定内容
IP アドレス取得	IP アドレス取得の方式を、DHCP、手動のどちらかに設定します。
IP アドレス	ＩＰアドレス取得方式が手動のとき、IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	ＩＰアドレス取得方式が手動のとき、サブネットマスクアドレスを設定します。
デフォルトゲートウェイアドレス	ＩＰアドレス取得方式が手動のとき、ゲートウェイアドレスを設定します。
DNS サーバー取得	DNS 取得方式（自動 / 手動）を設定します。
DNS プライマリ	ＤＮＳサーバー取得方式が自動のとき、DNS プライマリを設定します。
DNS セカンダリ	ＤＮＳサーバー取得方式が自動のとき、２つ目の DNS アドレスを設定します。
MAC アドレス	テレビの MAC アドレスを表示ます。

各種設定（つづき）



初期設定（外部機器接続設定）



設定項目	切換項目	設定内容
ゲームモード設定	ゲーム / 切	映像遅延が軽減されます。
入力切換設定	–	入力切換時に入力端子名を非表示にしたり、画面表示ボタンを押したときの入力端子表示に、接続した外部機器名を表示させる設定を行ないます。
機器リンク設定	（☞右欄）	

メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

● 機器リンク設定

設定項目	設定内容
機器リンク制御	機器リンクを有効か無効にします。
システムオフ設定	接続機器の電源を自動的にオフする機能です。**する**にすると、本機の電源がオフになると接続機器の電源もオフになります。
TV 連動オン設定	本機の電源を自動的にオンする機能です。**する**にすると、接続機器の電源をオンにすると本機の電源もオンになります。
音声出力設定	音声を TV（テレビ）、アンプのどちらから出力するかを設定します。
録画機器	レコーダーを本機に接続した場合、操作可能な項目です。
レコーダーテスト（電源オン）	接続機器の電源がオンになることを確認します。
レコーダーテスト（電源オフ）	接続機器の電源がオフになることを確認します。
接続機器情報取得	接続機器の情報を取得します。

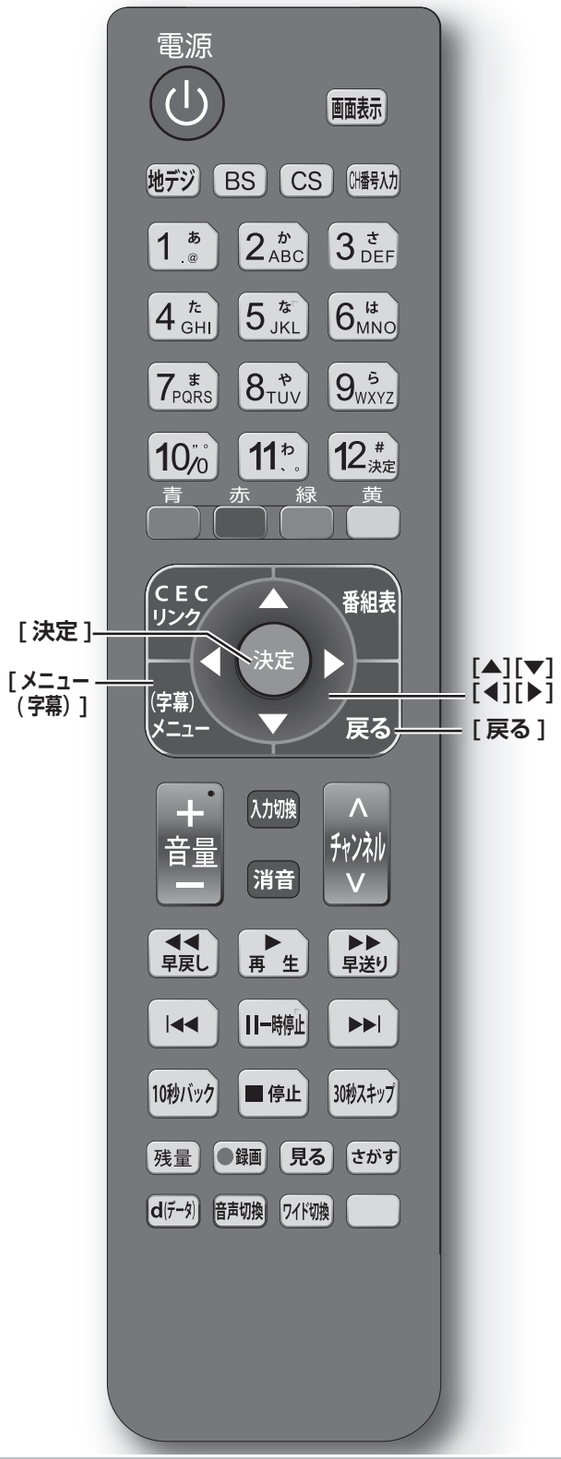
お知らせ

● CEC リンクに対応していない機器では操作できません。

初期設定（RGB 入力設定）

設定項目	切換項目	設定内容
水平位置	− 63 〜+ 63	画像の水平位置を調整します。
垂直位置	− 31 〜+ 31	画像の垂直位置を調整します。
クロック周波数	− 31 〜+ 31	映像のクロック周波数を調整します。
クロック位相	0 〜+ 31	映像のクロック位相を調整します。
標準に戻す	−	初期設定に戻します。
WXGA モード	1280×768、1360×768、1366×768/切	1280 x 768、1360 x 768、1366 x 768 のときに対応します．それ以外の解像度では**切**に設定します。
信号レベル	− 10 〜+ 10	入力信号のゲインを設定します。

各種設定（つづき）



メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

初期設定（機能設定）

設定項目	切換項目	設定内容
情報表示	(☞下記)	
高速起動	−	本機では電源が切れている状態から、操作がすぐにできるように設定することができます。デジタル放送で時刻情報を取得していない場合は時間帯設定は無効になります。
緊急放送対応	切 / 視聴中／スタンバイ	緊急警報受信ができる時間帯を設定します。(☞ 93 ページ)
低消費電力	(☞ 93 ページ)	
放送時間変更対応	する／しない	放送時間変更機能を使用するかを設定します。
映像特殊設定	する／しない	映像モードの切り換え（店頭モード）を可能（する）/ 不可 (しない) を設定します。
番組表取得	する／しない	深夜１：３０からの電子番組表を取得するかしないかを設定します。

● 情報表示

設定項目	切換項目	設定内容
番組タイトル表示	する／しない	番組情報を表示 / 非表示にします。
未読お知らせ表示	する／しない	本機の電源を入れたとき、未読お知らせ表示をするかしないかを設定します。

初期設定（機能設定）（つづき）

● 緊急放送対応

切換項目	設定内容
切	緊急警報放送を受信しません。
視聴中	警報宣言や津波警報が発令されたとき緊急警報放送が行われていることを案内します。
スタンバイ	電源がスタンバイ状態のときにも自動的に緊急警報放送を選局します。

お知らせ

- ソフトウェア更新実行中は、本機能を設定していても緊急警報放送は受信しません。
- スタンバイ設定の場合、**[主電源]** がオフのときは緊急警報放送は受信しません。

● 低消費電力

設定項目	切換項目	設定内容
消費電力	標準 / 低減 (弱)/ 低減 (強)	省エネモードを設定します。
ビデオパワーセーブ	する／しない	15 秒間、映像入力がない場合、テレビの電源が自動的に切れます。
無信号電源オフ	する／しない	放送の映像信号がなくなった場合、テレビの電源が自動的に切れます。
無操作電源オフ	する／しない	10 分間、テレビの操作をしなかった場合、テレビの電源が自動的に切れます。

初期設定（ディスク設定）

設定項目	切換項目	設定内容
リジューム設定	する／しない	録画した番組の前回再生時の停止位置を記憶するかを設定します。
リピート設定	する／しない	リピート再生するかを設定します。
ディスク省電力	する／しない	ハードディスクの消費電力モードをスタンバイのときに使用するかを設定します。
USB HDD 設定	–	接続したハードディスクの一覧と状態が表示されます。

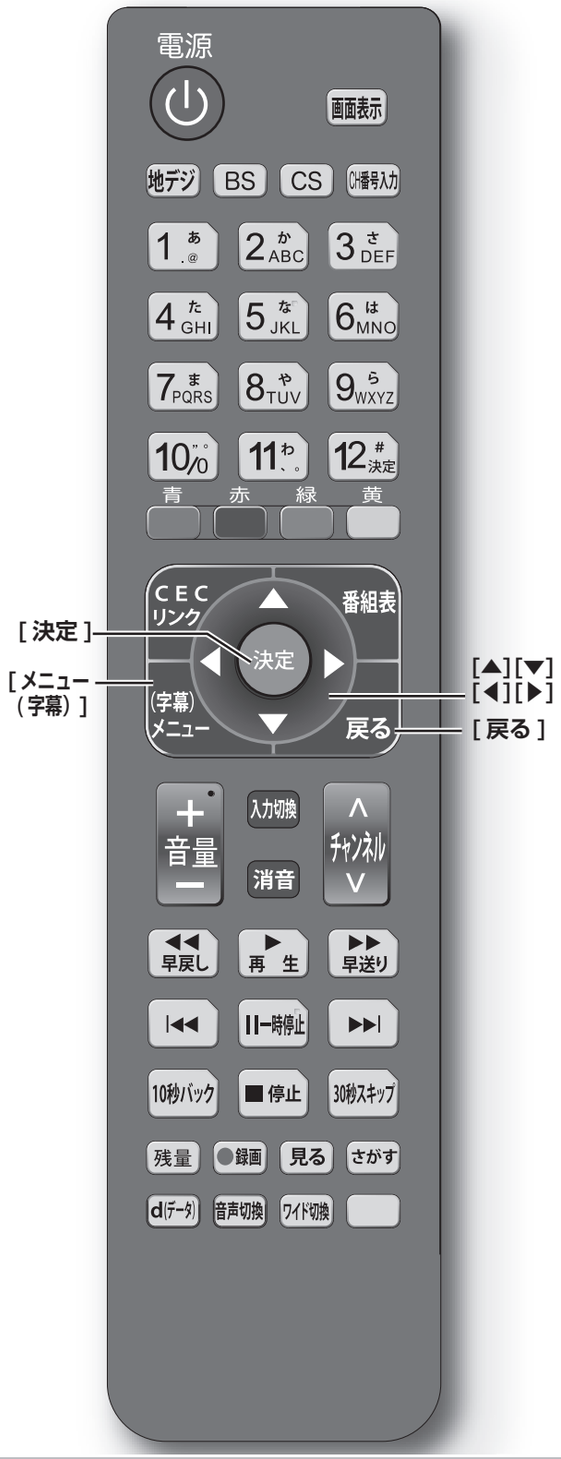
初期設定（時刻設定）

設定項目	切換項目	設定内容
時刻設定	年／月／日／時／分	現在時刻を設定します。
現在時刻表示	する／しない	デジタル放送視聴時に現在時刻を表示するかを設定します。

お知らせ

- デジタル放送を受信している場合、時刻情報を自動的に取得しますので時刻設定はできません。

各種設定（つづき）



メニュー中の基本操作

[メニュー (字幕)] →
各種設定を選択し
【決定】を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

[戻る]
選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

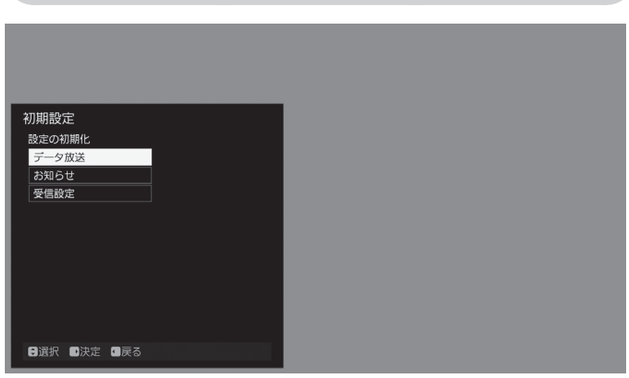
初期設定（制限設定）

設定項目	切換項目	設定内容
暗証番号	0000 ～ 9999	初めて制限設定をご使用になるとき、暗証番号の登録が必要です。
視聴制限	する／しない	視聴制限をするかを設定します。
視聴可能年令	04 ～ 20	視聴可能年令を設定します。

お知らせ

- 一度制限設定をして、次に設定を変えるときは、正しい暗証番号を入力する必要があります。
- 視聴可能年令を２０に設定すると番組の対象年令に関係なく視聴できます。
- 暗証番号は設定の初期化 / 受信設定でクリアされます。

初期設定（設定の初期化）



設定項目	切換項目	設定内容
データ放送	はい／いいえ	データ放送で登録した個人情報を消去します。
お知らせ	はい／いいえ	受信した放送メールを消去します。
受信設定	はい／いいえ	以下の項目の設定を消去します。 郵便番号 受信設定 (地上デジタル) 受信設定（BS・CS） 制限設定 ソフトウェア更新 ISP 設定 /LAN 設定

設定をする

各種情報

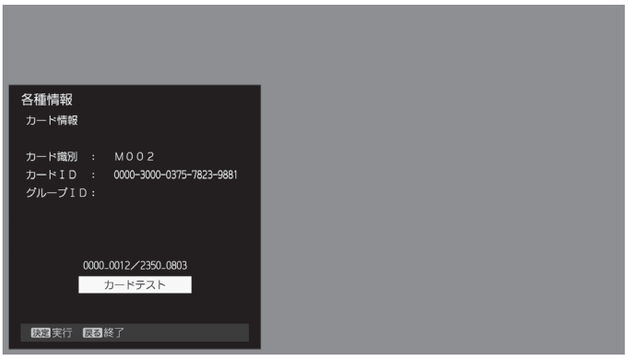
設定項目	切換項目	設定内容
お知らせ・ボード	(☞下記)	
カード情報	(☞下記)	

● お知らせ・ボード

お知らせ

● お知らせ･ボード一覧画面で、内容を確認していないメールは、**メール（未読）**と表示されます。

● カード情報



設定項目	切換項目	設定内容
カードテスト	−	Ｂ−ＣＡＳカードが正常な場合は、**正常に動作しています**が表示されます。

その他の情報

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

ページ

故障かな？と思ったら 98

用語の解説 104

主な仕様 106

ソフトウェアのライセンス情報 122

保証とアフターサービス 132

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続
- 入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

深夜一時的に映像が映らなくなる

春分の日や秋分の日の前後 20 日程度は、人工衛星が地球の陰に入るため、深夜一時的に映像が見られなくなることがあります。

原因と対策

●全般

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	[主電源] がオフになっている。	**[主電源]** をオンにしてください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞ 74 ページ）
電源が突然切れた / いつの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	無信号電源オフが働いた。	再度電源を入れてください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き（＋ －）で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮へい物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像（全般）

問題	原因	対策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞ 80 ページ）
	低消費電力の設定が低減になっている。	低消費電力の設定を標準にしてください。（☞ 93 ページ）
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞ 80 ページ）
画面が一部切れる / 画面が歪む。	ワイドモードが適切でない。	「画面モード」または設定メニューで適切な設定を選んでください。（☞ 55、79 ページ）

●映像（デジタル放送）

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞ 74ページ)
	アンテナ電源が「切」になっている。	アンテナ電源を「入」に設定してください。
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。(☞ 35 ページ)
地上デジタルの受信設定ができない / 放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	地上デジタルアンテナ入力にアンテナをしっかりと接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定をしていない。	チャンネル設定をしてください。(☞ 89 ページ)
地上デジタルが映らない / 画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信レベルが 45 以上になるようにアンテナの位置 / 方向 / 角度を適切に調整してください。(☞ 89 ページ)
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。(☞ 89ページ)
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つないでいる場合)	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	衛星アンテナの電源が入っていない。	衛星アンテナの電源は「オン」にしてください。
	衛星アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マンションなどの共同受信システムの場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル /110 度 CS デジタルを分波してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複数の BS 機器をサテライト分配器でつないでいる場合)	衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチが「オン」になっていない。	「オン」にしてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(その他)	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るのに、110 度 CS デジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	適切に設定してください。
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。

故障かな？と思ったら（つづき）

●接続した機器について

問題	原因	対策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞ 74 ページ)
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生 / 録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）を、AV アンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号を、本機のビデオ 2 入力に直接接続してください。**[HS29K300/HS24K300]** その他の機種はビデオ 2 入力用変換アダプターを使用して接続してください。

●音声（全般）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない / 左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください。(☞ 83 ページ)

●音声（デジタル放送）

問題	原因	対策
音声が出ない / 音声がおかしい。	主音声 / 副音声の設定が適切でない。	主音声 / 副音声の設定をしなおしてください。(☞ 55 ページ)

●音声（接続した機器）

問題	原因	対策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。
音声出力端子から音が出ない / 録音できない。	HDMI 入力端子に接続した機器を再生しているときは、デジタル放送 / ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません	

●番組表

問題	原因	対策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、スタンバイにしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、スタンバイにしてください。
	お住まいの地域が変った。あるいは前回のチャンネルスキャン後に放送周波数が変更された。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをしなおしてください。(☞ 89 ページ)
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源を切っている間は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	しばらくお待ちください。
ジャンル検索した番組のジャンルが、番組説明で表示されるジャンルと異なっている。	番組説明ではひとつのジャンルのみが表示されますが、1 つの番組が複数のジャンルを持っており、それぞれのジャンルで検索できるためです。	
キーワード検索ができない。	デジタル放送の番組情報データの「番組概要」に、キーワードが含まれていない。	番組概要の中に含まれているキーワードで検索してください。
	番組概要の文字と検索のキーワードが完全に一致していない。	完全に一致していないと検索できません。英字 / 数字、半角 / 全角の違いや、スペースの有無も一致している必要があります。
地上デジタルの放送局のロゴが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

●その他

問題	原因	対策
[選局▲]/[選局▼] で選局できない。	お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス (テレビ、ラジオ、独立データ) 内で順送りに選局します。	ご覧になっている放送 (地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル) と放送サービス (テレビ、ラジオ、独立データ) をご確認ください。
	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペイパービューなどの有料放送が購入できない。	LAN 回線に適切につながっていない。	ペイパービューの購入には LAN 回線への接続が必要ですので、適切に接続してください。
	LAN 回線の種類などが適切でない。	回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約 2 分以内）に **[主電源]** をオフにすると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	入力によっては表示されないメニューもあります。	入力を切り換えてください。
リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てがおかしい。	チャンネル設定の都道府県地域設定が適切でない。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをしなおしてください。（☞ 88 ページ）

故障かな？と思ったら（つづき）

●こんな表示が出たときは

エラー番号	メッセージ	内容
−	IC カードを正しく挿入してください	B-CAS カードが本体に正しく挿入されていない。
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません	視聴できないチャンネルである。
E201	降雨対応放送を受信中	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなっている。
	受信レベルが低下しています	受信レベルが低下している。
E202	アンテナ接続か放送電波に不具合があるため現在、ご覧になれません	アンテナの調整が正しくできていない。放送電波に不具合がある。
E203	現在、この放送は休止しています	選局したチャンネルが番組を放送していない。
E204	このチャンネルはありません	選局したチャンネルが放送していない。
E209	コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください	アンテナのコンバーター電源がショートしている。
E210	このチャンネルはご覧になれません	選局したチャンネルは対応していないサービスである。
EC01	この IC カードは使用できません 正しい IC カードを挿入してください	B-CAS カード以外の IC カードが挿入されているか、カードの表裏が逆に挿入されている。
−	このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	選局したチャンネルが未契約である。
−	契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	選局したチャンネルの契約期限が切れている。
−	このチャンネルはご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	選局したチャンネルの契約が正しくない。
−	IC カードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	B-CAS カードに不具合が発生している。
−	この IC カードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	B-CAS カードに不具合が発生している。
−	未対応の信号です	入力信号が本機の対応信号と合っていない。

●こんな表示が出たときは（つづき）

エラー番号	メッセージ	内容
−	USB HDD が接続されていません	USB HDD の電源が切れている、あるいは、接続ケーブルがはずれている。
−	USB HDD 容量がいっぱいです 録画を停止しました	録画中に USB HDD の空き容量がなくなった。
−	USB HDD 容量が少なくなっています	USB HDD の空き容量が残り少なくなっています。
−	録画時間が 24 時間を越えましたので録画を停止しました	連続 24 時間以上録画しようとした。
	録画中は操作できません	録画中にできない操作をした。
−	再生中は操作できません	再生中にできない操作をした。
−	ダビング中です	ダビング中にできない操作をした。
−	ダビングを中止しました	ダビング中止の操作により、ダビング処理を中止した。
−	番組数が最大になりました 番組を削除してください	ハードディスク 1 台あたりの録画済み番組数が上限（999）になった。
−	番組がコピーガードされています 録画できません	コピーガードがかかっている番組を録画しようとした 。
−	USB HDD の準備中です しばらくお待ちください	USB HDD の立ち上げ中、または USB HDD が省電力モードに入っているときに、USB HDD をアクセスする操作をした。
−	USB HDD の初期化中です しばらくお待ちください	USB HDD の初期化を行った。
−	USB HDD にアクセスできません（1）/（2）	録画または再生などの録画番組操作時、USB HDD にアクセスできなかった 。
−	USB HDD にアクセスできません 再生を停止しました	再生中に USB HDD にアクセスできなくなった 。
−	USB HDD にアクセスできません 録画を停止しました	録画中に USB HDD にアクセスできなくなった 。
−	USB HDD の初期化に失敗しました	USB HDD の初期化に失敗した。
−	USB HDD が初期化されていないため 録画できません	未初期化の USB HDD に録画しようとした。
−	USB ＊端子の電源容量を超えました 電源を切り接続機器を取り外してから 電源を入れ直してください (＊：USB 端子番号 1,2)	接続した機器の電流が大きすぎる。

用語の解説

下記は一般的な用語解説です。本機の仕様は異なっている場合があります。

110 度 CS デジタル放送

BS デジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経 110 度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルのみを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

5.1ch

左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、左右のサラウンドスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。臨場感と迫力のある音声を楽しむことができます。

AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声圧縮方式です。高い圧縮率で高い音質を実現します。

B-CAS カード

デジタル放送を見るために必要な IC カードです。ユーザー認識のための番号や、チャンネルの契約・購入内容などの情報が記録されます。

BS デジタル放送

2000 年 12 月から本格サービスが開始された新しい衛星放送です。高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。高音質のデジタル音声放送（BS ラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組などへの参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV（ケーブルテレビ）

同軸ケーブルや光ケーブルなどのケーブルを用いて行われる有線放送のことです。ケーブルテレビ局と契約することにより視聴できます。地域密着型の情報発信などが特徴でしたが、最近では多チャンネル放送や自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えてきています。

D 端子

デジタル映像の圧縮データや高画質映像信号の伝送に適した、日本独自のコネクタの通称です。輝度信号（Y）と色差信号（Cb/Cr, Pb/Pr）で構成されるコンポーネント信号は従来 3 本のケーブルで接続していましたが、これを一本にまとめたものが D 端子です。また、これらの信号の他に走査線数・走査方式・アスペクト比を切り換えるための識別信号の伝送も可能です。

EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で放送局から送られてくる番組データを利用してつくる電子番組表のことです。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

PC とディスプレイの接続標準規格である DVI に、マルチチャンネル音声伝送機能や著作権保護機能、色差伝送機能を加えるなど AV 家電向けにアレンジしたインターフェースです。1 本で非圧縮の映像・音声信号と制御信号を伝送できるので、AV 機器間の連携が容易にできます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の 1 つです。動画中の動く部分だけを保存するなどしてデータを圧縮します。デジタルテレビでは通常 MPEG-2 が採用されていますが、これは動画データを 40 分の 1 程度に圧縮することができます。

NTSC（National Television Standards Committee）

地上波アナログカラーテレビ放送の規格の 1 つで、日本や北米、中南米で採用されています。水平方向の走査線数が 525 本で毎秒 30 フレーム（1 秒間に 30 回画面を書き換える）のインターレース方式で、水平走査周波数は 15.75kHz、垂直走査周波数は 60Hz です。

PCM（Pulse Code Modulation）

音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD（CD-DA）はこの方式を採用しています。

PPV（Pay Per View）

番組単位で購入する有料番組のことです。

イベントリレー（放送時間変更対応）

番組の途中で割り込みがあったり、その他の理由で番組が放送予定時間内に終わらなかった場合に、他のチャンネルで引き続き放送を行うことです。

インターレース（飛び越し走査）

NTSC 方式のテレビやビデオの画像表示では、525 本の走査線があります。このうち、まず奇数段目の走査線 262.5 本を 1/60 秒で描き（この画面を 1 フィールドといいます）、次に偶数段目を同様に描き、これを合わせることによって 525 本の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」は、このインターレース（interlaced）を指しています。

コンポジット接続

通常の映像端子を使って映像信号を伝送する、最も普及している方式です。映像端子は通常 1 つのみで、音声端子と同じ形状で、色は黄色です。赤と白の音声出力と一緒に 3 本で接続するのが一般的です。

緊急警報放送

地上デジタル /BS デジタルのマルチ放送を利用し、地震などの災害時に放送される緊急ニュースなどを流します。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に平行して降雨に強い方式で同じ番組を放送するものです。

字幕放送

せりふなどの音声を、文字にして画面に表示することができる放送です。

走査線

テレビでは、映像を細い糸のように分解し、横方向に走らすことによって画面を作っています。この糸を走査線といいます。走査線の数が多いほど画質がよくなります。

地上デジタル放送

2003 年 12 月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHF の周波数帯域を利用して放送されます。ゴーストの無い高画質な映像と多チャンネルの放送を楽しむことができます。デジタルハイビジョン放送やデータ放送、双方向サービスなどを楽しむことができます。

デジタルハイビジョン放送

通常のアナログ放送の走査線が 525 本であるのに対し、1125 本や 750 本のプログレッシブの高画質な映像です。大画面の映像に適しています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、全ての走査線を順番に描く方法です。インターレースに比べて画像のチラツキが少なく、文字や静止画を表示することに適しています。「525p」や「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を指しています。

マルチチャンネル放送

地上デジタルや BS デジタルの標準テレビ信号（SD）で、1 つの放送局で複数の番組を放送することです。

マルチビュー放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同じ番組を別の視点から見た映像を見るなど、複数の映像を切り換えて見ることができます。

有効走査線数

走査線の中で、映像信号が載っている走査線の数をいいます。地上アナログでは 525 本の走査線のうち有効走査線数は 480 本、デジタルハイビジョンでは 1125 本のうち 1080 本となっています。有効走査線ではない走査線には、画面の縦横比を規定した識別制御信号などが載っています。

臨時放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同一放送局の他チャンネルで臨時の放送を行うことです。

主な仕様

HS50K610/HS50K360

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		HS50K610	HS50K360
サイズ		50V 型	
本体・色 / 素材		前面：ピアノブラックと メタリックシルバー / 背面 : マットブラック	前面：ピアノブラック／ 背面：マットブラック
電源		内蔵 AC100V , 50/60Hz	
消費電力 *1		115W	115W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.3W	0.3W
年間消費電力 *2		130kWh	130kWh
省エネ基準達成率（目標年度 2012 年度）		166%	166%
液晶機能	画面寸法	110 cm × 62 cm	110 cm × 62 cm
	画素数	1920 × 1080	1920 × 1080
	色再現	1,670 万色	
	パネルコントラスト比	3000:1	3000:1
	視野角 (上下 / 左右、CR 値＞10)	178° /178°	178° /178°
	応答速度	5.5ms	5.5ms
チューナー	チューナー *8	地上デジタル ×2 ／ BS・110 度 CS デジタル ×1	
	受信可能チャンネル	地上デジタル UHF、CATV(CATV バススルー方式 *3)、000-999	
		BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル	
ビデオ機能	D4 入力	480i/480p/720p/1080i	
	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p	
パソコン入力フォーマット (D-Sub 入力) *4		640×480@60Hz、800×600@60Hz、1024×768@60Hz、1280×1024@60Hz、1360×768@60Hz、1366×768@60Hz	
スピーカー	構成	内蔵ステレオ 1 ウェイ	
	脱着	不可	
音声機能	出力	10W×2	10W×2
	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力　各 1	
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) ×1 *6	
		D4 入力端子 ×1	
		PC アナログ入力端子 (D-Sub15 ピン) ×1	
		HDMI 入力端子 (Ver. 1.3)×2 (CEC 機能対応)	
	音声入力	ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1(コンポジットビデオ用) *6	
		ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1 (D4 用) *7	
		ステレオ入力端子 (ステレオミニ) ×1 (PC 用)	
		HDMI 入力端子 ×2 (映像入力と一体)	
	音声出力	光デジタル音声出力端子 ×1 (地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル／ HDMI のみ対応)	
		ステレオヘッドホン出力端子（ステレオミニホンジャック）×1	
	外付け USB ハードディスク接続	USB 端子 ×2　*5	

型名		HS50K610	HS50K360
デジタル放送関連		EPG(電子番組表、当日含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送	
		双方向 (データ放送）サービス・イーサネット (RJ-45 端子）×1	
		B-CAS カードスロット ×1	
録画 / 再生機能関連 (外付け USB ハードディスク接続時）		録画機能（クイックタイマー録画 / 番組表録画 / マニュアル録画）	
		再生機能（再生 / スロー再生 / 早送り再生 / 早戻し再生／追いかけ再生／ 30 秒スキップ /10 秒バック）	
		編集機能 (番組分割／サムネイル設定／チャプター設定／タイトル設定 / プレイリスト作成・編集 / ダビング機能（同一 USB ハードディスク内または 2 台の USB ハードディスク間）	
赤外線リモコン		専用リモコン EN-32954HS	
オンスクリーンディスプレイ		あり	
チルト&スイーベル機能		チルトなし　スイーベルあり	チルトなし　スイーベルあり
壁掛け対応		あり [VESA:400 ＊ 400]	あり [VESA:400 ＊ 400]
付属品		取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、アンテナケーブル ×1、リモコン、単 4 乾電池 [2 本]、台座、B-CAS カード (レッド）	
		B-CAS カード盗難防止金具、ビデオ 1/2 入力用変換アダプター *6、*7、転倒防止金具	
使用環境・保管環境	温度	使用環境：5℃～ 35℃ 保管環境：－ 20℃～ 60℃	
	湿度（結露なきこと）	使用環境：20% ～ 65%RH 保管環境：10% ～ 80%RH	
	高度	使用環境：0 ～ 1,980m 保管環境：0 ～ 2,980m	
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行）	スタンド含む	1126 mm×725 mm×285 mm	1124 mm×729 mm×281 mm
	スタンド含まない	1126 mm×661 mm×60 mm	1124 mm×666 mm×64 mm
本体重量	スタンド含む	21 kg	21 kg
	スタンド含まない	18 kg	18 kg

*1 定格消費電力 電気用品安全法に基づき算出しています。

*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

*3 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応。

*4 設定メニューから WXGA モードの設定をする必要があります。

*5 USB ハブを使った接続はできません。

*6 付属のビデオ 2 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*7 付属のビデオ 1 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*8 地上デジタル放送で番組を視聴中、地上デジタル放送の裏番組を同時に録画することができます。ＢＳ / １１０度ＣＳ放送の番組を録画中、録画中の番組のみ視聴できます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

HS39K360/HS39K160

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		HS39K360	HS39K160
サイズ		39V 型	
本体・色 / 素材		前面：ピアノブラック／背面：マットブラック	
電源		内蔵 AC100V，50/60Hz	
消費電力 *1		79W	79W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.3W	0.3W
年間消費電力 *2		92kWh	92kWh
省エネ基準達成率（目標年度 2012 年度）		155%	155%
液晶機能	画面寸法	85 cm × 48 cm	85 cm × 48 cm
	画素数	1920 × 1080	1920 × 1080
	色再現	1,670 万色	
	パネルコントラスト比	3000:1	3000:1
	視野角 (上下 / 左右、CR 値＞10)	150° /170°	150° /170°
	応答速度	8ms	8ms
チューナー	チューナー *8	地上デジタル ×2 ／ BS・110 度 CS デジタル ×1	
	受信可能チャンネル	地上デジタル UHF、CATV(CATV パススルー方式 *3)、000-999	
		BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル	
ビデオ機能	D4 入力	480i/480p/720p/1080i	
	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p	
パソコン入力フォーマット (D-Sub 入力) *4		640×480@60Hz、800×600@60Hz、1024×768@60Hz、1280×1024@60Hz、1360×768@60Hz、1366×768@60Hz	
スピーカー	構成	内蔵ステレオ 1 ウェイ	
	脱着	不可	
音声機能	出力	7W×2	7W×2
	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力　各 1	
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) ×1 *6	
		D4 入力端子 ×1	
		PC アナログ入力端子 (D-Sub15 ピン) ×1	
		HDMI 入力端子 (Ver. 1.3)×2 (CEC 機能対応)	
	音声入力	ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1(コンポジットビデオ用) *6	
		ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1 (D4 用) *7	
		ステレオ入力端子 (ステレオミニ) ×1 (PC 用)	
		HDMI 入力端子 ×2 (映像入力と一体)	
	音声出力	光デジタル音声出力端子 ×1 (地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル／ HDMI のみ対応)	
		ステレオヘッドホン出力端子（ステレオミニホンジャック）×1	
	外付け USB ハードディスク接続	USB 端子 ×2 *5	

型名		HS39K360	HS39K160
デジタル放送関連		EPG(電子番組表、当日含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送	
		双方向 (データ放送）サービス・イーサネット (RJ-45 端子）×1	
		B-CAS カードスロット ×1	
録画 / 再生機能関連 (外付け USB ハードディスク接続時）		録画機能（クイックタイマー録画 / 番組表録画 / マニュアル録画）	
		再生機能（再生 / スロー再生 / 早送り再生 / 早戻し再生／追いかけ再生／ 30 秒スキップ /10 秒バック）	
		編集機能 (番組分割／サムネイル設定／チャプター設定／タイトル設定 / プレイリスト作成・編集 / ダビング機能（同一 USB ハードディスク内または 2 台の USB ハードディスク間）	
赤外線リモコン		専用リモコン EN-32954HS	
オンスクリーンディスプレイ		あり	
チルト&スイーベル機能		チルトなし　スイーベルなし	チルトなし　スイーベルなし
壁掛け対応		あり [VESA: 400 ＊ 200]	あり [VESA: 400 ＊ 200]
付属品		取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、アンテナケーブル ×1、リモコン、単 4 乾電池 [2 本]、台座、B-CAS カード (レッド）	
		B-CAS カード盗難防止金具、ビデオ 1/2 入力用変換アダプター *6、*7、転倒防止金具	
使用環境・保管環境	温度	使用環境：5℃～ 35℃ 保管環境：－ 20℃～ 60℃	
	湿度（結露なきこと）	使用環境：20% ～ 65%RH 保管環境：10% ～ 80%RH	
	高度	使用環境：0 ～ 1,980m 保管環境：0 ～ 2,980m	
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行）	スタンド含む	891 mm×590 mm×225 mm	891 mm×590 mm×225 mm
	スタンド含まない	891 mm×537 mm×72 mm	891 mm×537 mm×72 mm
本体重量	スタンド含む	13 kg	13 kg
	スタンド含まない	11.5 kg	11.5 kg

*1 定格消費電力 電気用品安全法に基づき算出しています。

*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

*3 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応。

*4 設定メニューから WXGA モードの設定をする必要があります。

*5 USB ハブを使った接続はできません。

*6 付属のビデオ 2 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*7 付属のビデオ 1 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*8 地上デジタル放送で番組を視聴中、地上デジタル放送の裏番組を同時に録画することができます。ＢＳ / １１０度ＣＳ放送の番組を録画中、録画中の番組のみ視聴できます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

HS32K360/HS32K160

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		HS32K360	HS32K160
サイズ		32V 型	
本体・色 / 素材		前面：ピアノブラック／背面：マットブラック	
電源		内蔵 AC100V , 50/60Hz	
消費電力 *1		56W	56W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.3W	0.3W
年間消費電力 *2		72kWh	72kWh
省エネ基準達成率（目標年度 2012 年度）		113%	113%
液晶機能	画面寸法	70 cm × 39 cm	70 cm × 39 cm
	画素数	1366 × 768	1366 × 768
	色再現	1,670 万色	
	パネルコントラスト比	3000:1	3000:1
	視野角 (上下 / 左右、CR 値＞10)	170° /170°	170° /170°
	応答速度	6.5ms	6.5ms
チューナー	チューナー *8	地上デジタル ×2 ／ BS・110 度 CS デジタル ×1	
	受信可能チャンネル	地上デジタル UHF、CATV(CATV バススルー方式 *3)、000-999	
		BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル	
ビデオ機能	D4 入力	480i/480p/720p/1080i	
	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p	
パソコン入力フォーマット (D-Sub 入力) *4		640×480@60Hz、800×600@60Hz、1024×768@60Hz、1280×1024@60Hz、1360×768@60Hz、1366×768@60Hz	
スピーカー	構成	内蔵ステレオ 1 ウェイ	
	脱着	不可	
音声機能	出力	6W×2	6W×2
	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力　各 1	
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) ×1 *6	
		D4 入力端子 ×1	
		PC アナログ入力端子 (D-Sub15 ピン) ×1	
		HDMI 入力端子 (Ver. 1.3)×2 (CEC 機能対応)	
	音声入力	ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1(コンポジットビデオ用) *6	
		ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1 (D4 用) *7	
		ステレオ入力端子 (ステレオミニ) ×1 (PC 用)	
		HDMI 入力端子 ×2 (映像入力と一体)	
	音声出力	光デジタル音声出力端子 ×1 (地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル／ HDMI のみ対応)	
		ステレオヘッドホン出力端子（ステレオミニホンジャック）×1	
	外付け USB ハードディスク接続	USB 端子 ×2　*5	

型名		HS32K360	HS32K160
デジタル放送関連		EPG(電子番組表、当日含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送	
		双方向 (データ放送）サービス・イーサネット (RJ-45 端子）×1	
		B-CAS カードスロット ×1	
録画 / 再生機能関連 (外付け USB ハードディスク接続時）		録画機能（クイックタイマー録画 / 番組表録画 / マニュアル録画）	
		再生機能（再生 / スロー再生 / 早送り再生 / 早戻し再生／追いかけ再生／ 30 秒スキップ /10 秒バック）	
		編集機能 (番組分割／サムネイル設定／チャプター設定／タイトル設定 / プレイリスト作成・編集 / ダビング機能（同一 USB ハードディスク内または 2 台の USB ハードディスク間）	
赤外線リモコン		専用リモコン EN-32954HS	
オンスクリーンディスプレイ		あり	
チルト&スイーベル機能		チルトなし　スイーベルなし	チルトなし　スイーベルなし
壁掛け対応		あり [VESA: 100 ＊ 100]	あり [VESA: 100 ＊ 100]
付属品		取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、アンテナケーブル ×1、リモコン、単 4 乾電池 [2 本]、台座、B-CAS カード (レッド）	
		B-CAS カード盗難防止金具、ビデオ 1/2 入力用変換アダプター *6、*7、転倒防止金具	
使用環境・保管環境	温度	使用環境：5℃～ 35℃ 保管環境：－ 20℃～ 60℃	
	湿度（結露なきこと）	使用環境：20% ～ 65%RH 保管環境：10% ～ 80%RH	
	高度	使用環境：0 ～ 1,980m 保管環境：0 ～ 2,980m	
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行）	スタンド含む	738 mm×501 mm×200 mm	738 mm×501 mm×200 mm
	スタンド含まない	738 mm×446 mm×60 mm	738 mm×446 mm×60 mm
本体重量	スタンド含む	7.8 kg	7.8 kg
	スタンド含まない	7.3 kg	7.3 kg

*1 定格消費電力 電気用品安全法に基づき算出しています。

*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

*3 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応。

*4 設定メニューから WXGA モードの設定をする必要があります。

*5 USB ハブを使った接続はできません。

*6 付属のビデオ 2 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*7 付属のビデオ 1 入力用変換アダプターを使い、ミニジャックから RCA 入力端子に変換します。

*8 地上デジタル放送で番組を視聴中、地上デジタル放送の裏番組を同時に録画することができます。ＢＳ／１１０度ＣＳ放送の番組を録画中、録画中の番組のみ視聴できます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

HS29K300/HS24K300

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		HS29K300	HS24K300
サイズ		29V 型	24V 型
本体・色 / 素材		前面：ピアノブラック／背面：マットブラック	
電源		内蔵 AC100V , 50/60Hz	
消費電力 *1		46W	44W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.3W	0.3W
年間消費電力 *2		59kWh	56kWh
省エネ基準達成率（目標年度 2012 年度）		128%	117%
液晶機能	画面寸法	63 cm × 35 cm	52 cm × 29 cm
	画素数	1366 × 768	1366 × 768
	色再現	1,670 万色	
	パネルコントラスト比	3000:1	2800:1
	視野角 (上下 / 左右、CR 値＞10)	170° /170°	176° /176°
	応答速度	6.5ms	8.5ms
チューナー	チューナー *6	地上デジタル ×2 ／ BS・110 度 CS デジタル ×1	
	受信可能チャンネル	地上デジタル UHF、CATV(CATV バススルー方式 *3)、000-999	
		BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル	
ビデオ機能	D4 入力	480i/480p/720p/1080i	
	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p	
パソコン入力フォーマット (D-Sub 入力) *4		640×480@60Hz、800×600@60Hz、1024×768@60Hz、1280×1024@60Hz、1360×768@60Hz、1366×768@60Hz	
スピーカー	構成	内蔵ステレオ 1 ウェイ	
	脱着	不可	
音声機能	出力	5W×2	2W×2
	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力　各 1	
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) ×1	
		D4 入力端子 ×1	
		PC アナログ入力端子 (D-Sub15 ピン) ×1	
		HDMI 入力端子 (Ver. 1.3)×2 (CEC 機能対応)	
	音声入力	ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1(コンポジットビデオ用)	
		ステレオ入力端子 (ステレオ RCA ピン) ×1 (D4 用)	
		ステレオ入力端子 (ステレオミニ) ×1 (PC 用)	
		HDMI 入力端子 ×2 (映像入力と一体)	
	音声出力	光デジタル音声出力端子 ×1 (地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル／ HDMI のみ対応)	
		ステレオヘッドホン出力端子（ステレオミニホンジャック）×1	
	外付け USB ハードディスク接続	USB 端子 ×2　*5	

型名		HS29K300	HS24K300
デジタル放送関連		EPG(電子番組表、当日含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送	
		双方向 (データ放送）サービス・イーサネット (RJ-45 端子）×1	
		B-CAS カードスロット ×1	
録画 / 再生機能関連 (外付け USB ハードディスク接続時）		録画機能（クイックタイマー録画 / 番組表録画 / マニュアル録画）	
		再生機能（再生 / スロー再生 / 早送り再生 / 早戻し再生／追いかけ再生／ 30 秒スキップ /10 秒バック）	
		編集機能 (番組分割／サムネイル設定／チャプター設定／タイトル設定 / プレイリスト作成・編集 / ダビング機能（同一 USB ハードディスク内または 2 台の USB ハードディスク間）	
赤外線リモコン		専用リモコン EN-32954HS	
オンスクリーンディスプレイ		あり	
チルト&スイーベル機能		チルトなし　スイーベルなし	チルトなし　スイーベルなし
壁掛け対応		あり [VESA: 75 ＊ 75]	あり [VESA: 75 ＊ 75]
付属品		取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、アンテナケーブル ×1、リモコン、単 4 乾電池 [2 本]、台座、B-CAS カード (レッド）	
		B-CAS カード盗難防止金具、転倒防止金具	B-CAS カード盗難防止金具
使用環境・保管環境	温度	使用環境：5℃～ 35℃ 保管環境：－ 20℃～ 60℃	
	湿度（結露なきこと）	使用環境：20% ～ 65%RH 保管環境：10% ～ 80%RH	
	高度	使用環境：0 ～ 1,980m 保管環境：0 ～ 2,980m	
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	スタンド含む	668 mm×454 mm×160 mm	563 mm×390 mm×150 mm
	スタンド含まない	668 mm×403 mm×45 mm	563 mm×344 mm×44 mm
本体重量	スタンド含む	6.2 kg	4.4 kg
	スタンド含まない	5.9 kg	4.2 kg

*1 定格消費電力 電気用品安全法に基づき算出しています。

*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

*3 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応。

*4 設定メニューから WXGA モードの設定をする必要があります。

*5 USB ハブを使った接続はできません。

*6 地上デジタル放送で番組を視聴中、地上デジタル放送の裏番組を同時に録画することができます。ＢＳ / １１０度ＣＳ放送の番組を録画中、録画中の番組のみ視聴できます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

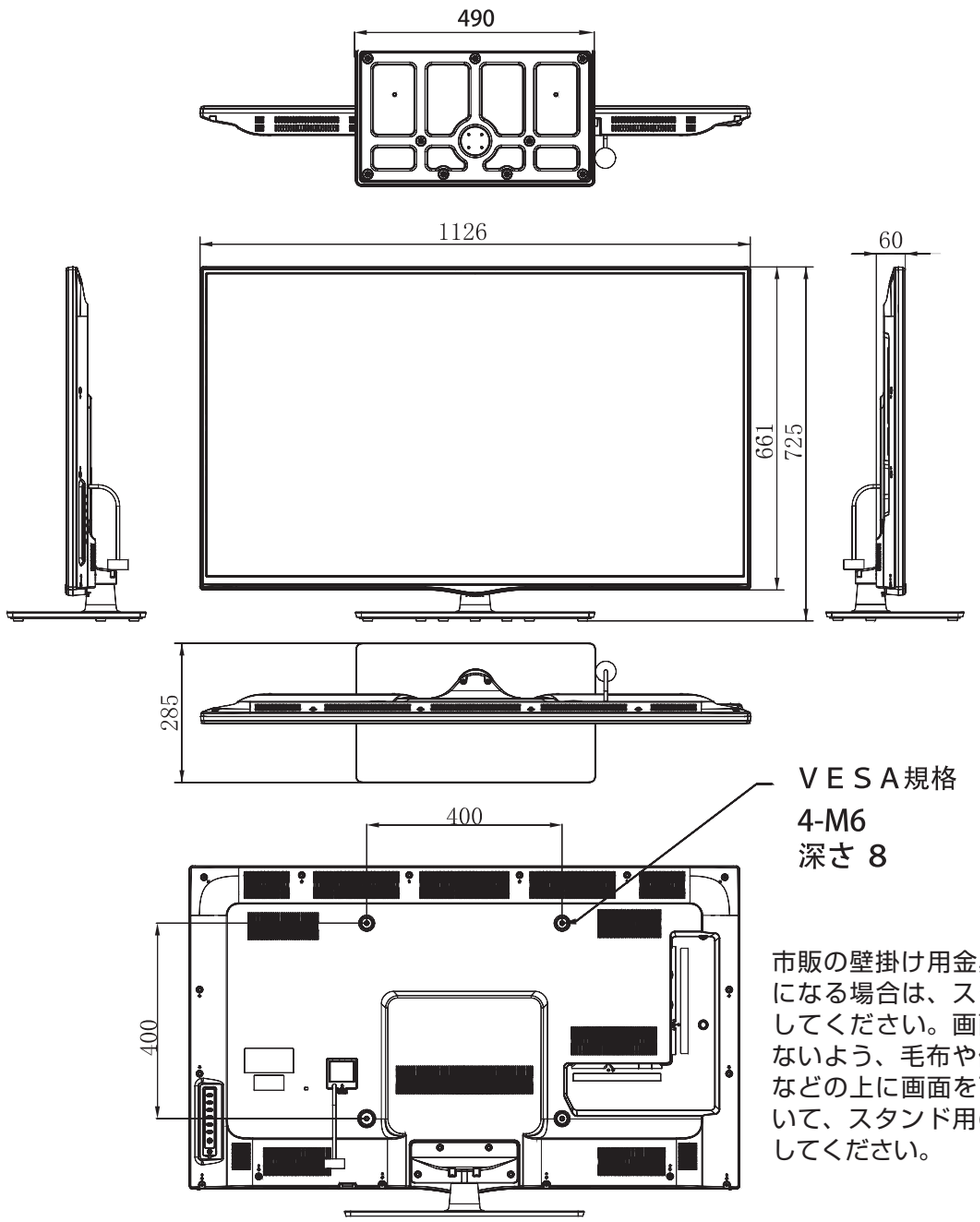
その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

ＨＳ５０Ｋ６１０背面図

単位mm



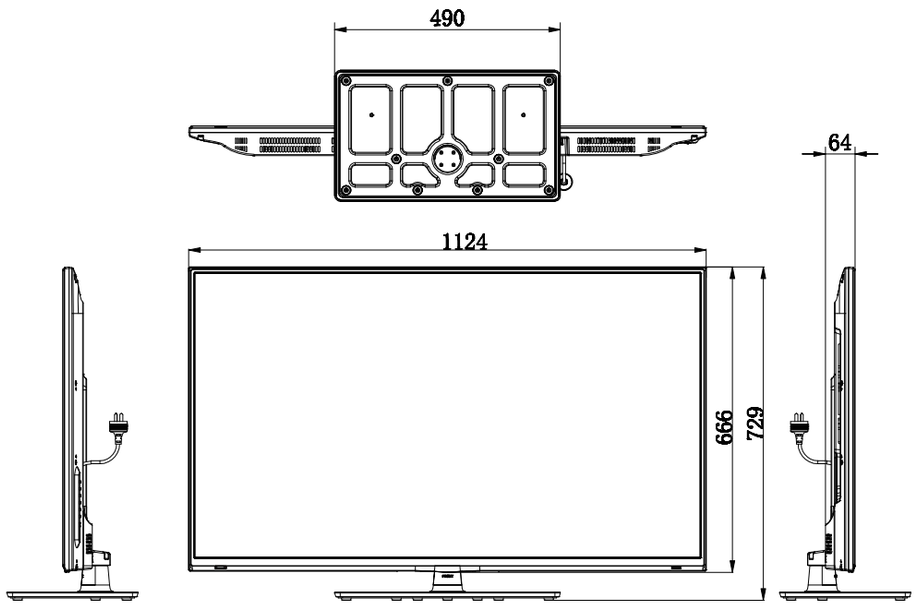
ＶＥＳＡ規格　ねじ穴※
4-M6
深さ 8

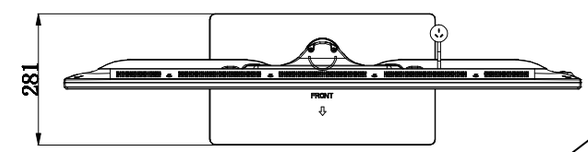
市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

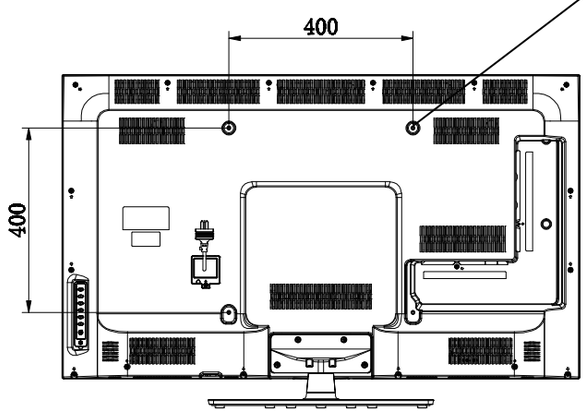
当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

ＨＳ５０Ｋ３６０背面図

単位mm







ＶＥＳＡ規格　ねじ穴※
4-M6
深さ 8

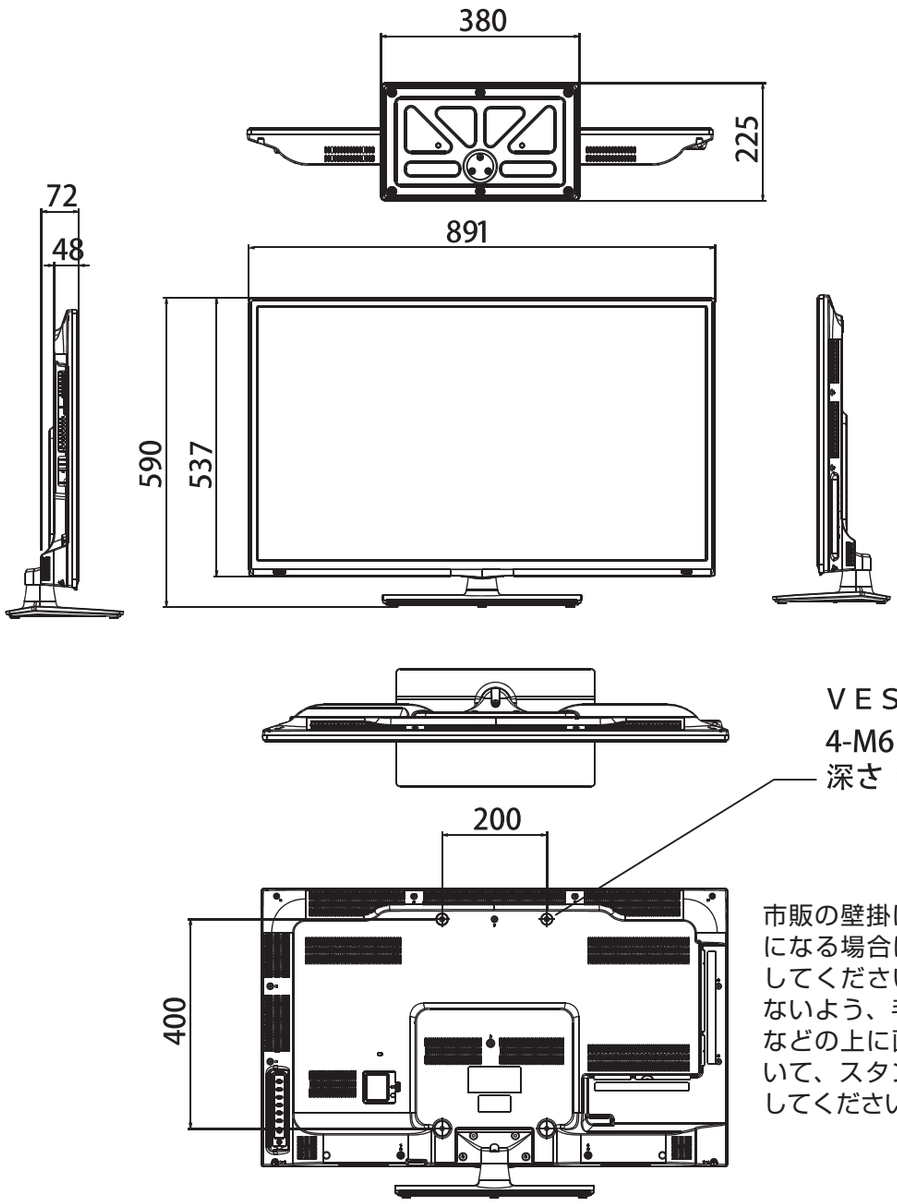
市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

ＨＳ３９Ｋ３６０背面図

単位mm



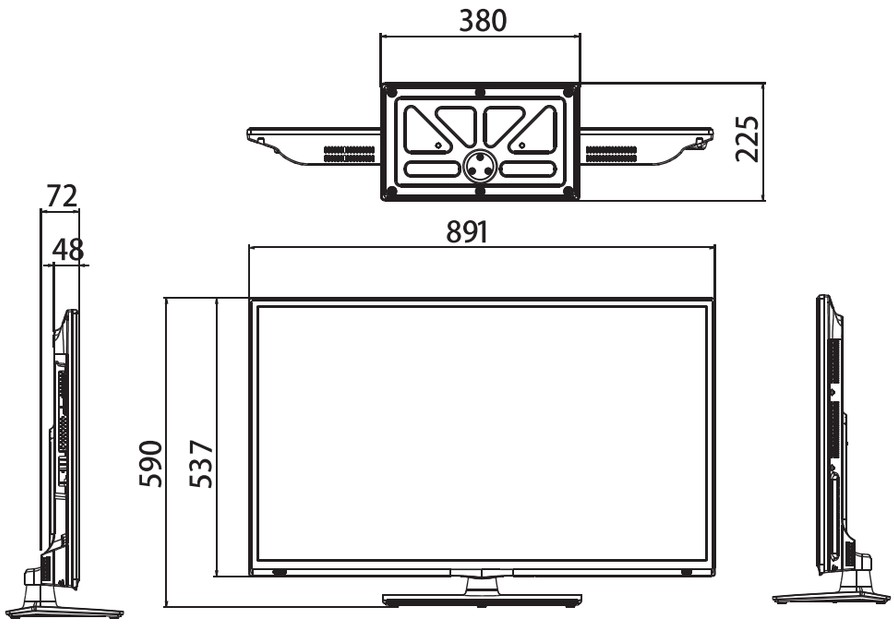
ＶＥＳＡ規格 ねじ穴※
4-M6
深さ 8

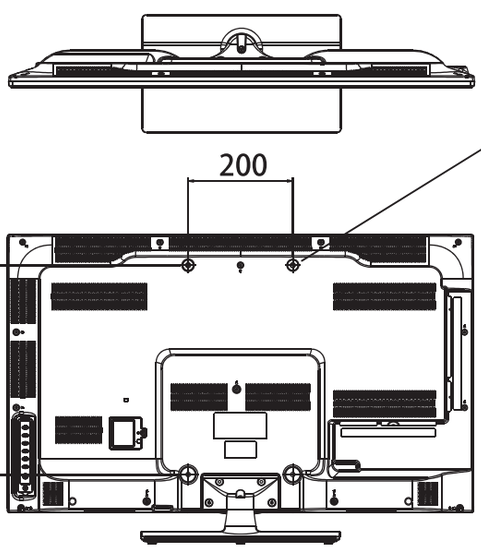
市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

ＨＳ３９Ｋ１６０背面図

単位mm





ＶＥＳＡ規格 ねじ穴※
4-M6
深さ 8

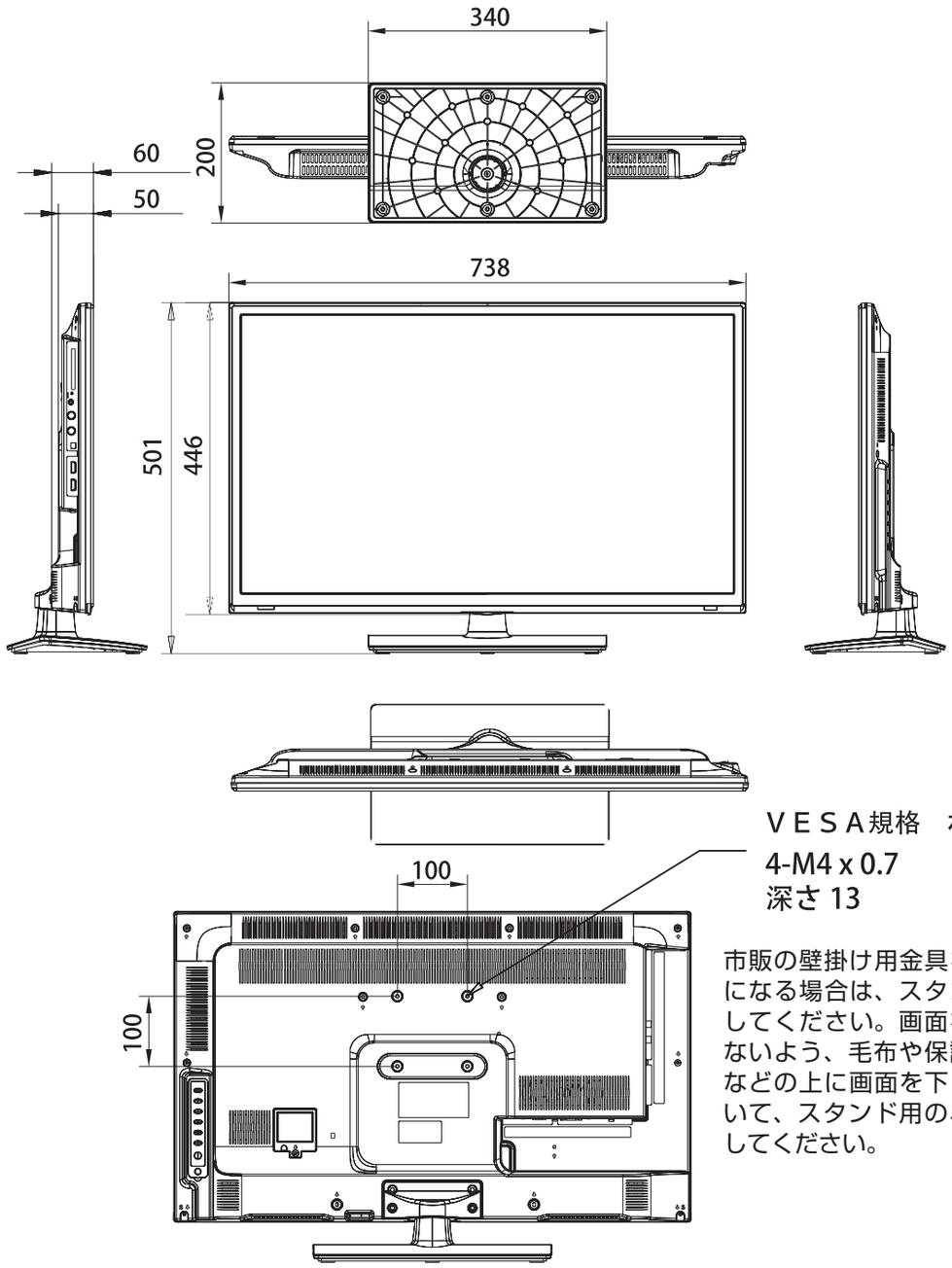
市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

ＨＳ３２Ｋ３６０背面図

単位mm



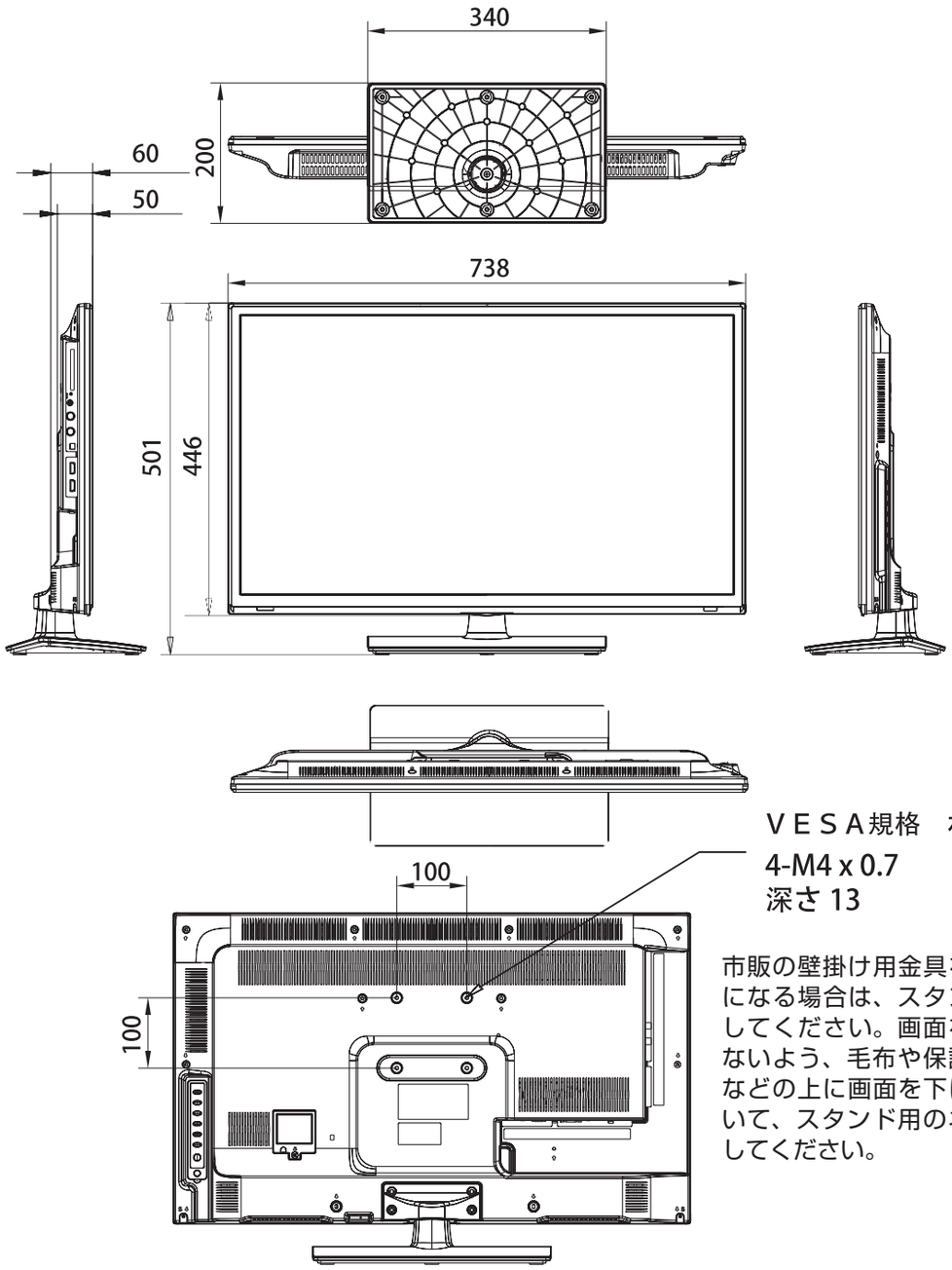
ＶＥＳＡ規格　ねじ穴※
4-M4 x 0.7
深さ 13

市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

ＨＳ３２Ｋ１６０背面図

単位mm



ＶＥＳＡ規格　ねじ穴※
4-M4 x 0.7
深さ 13

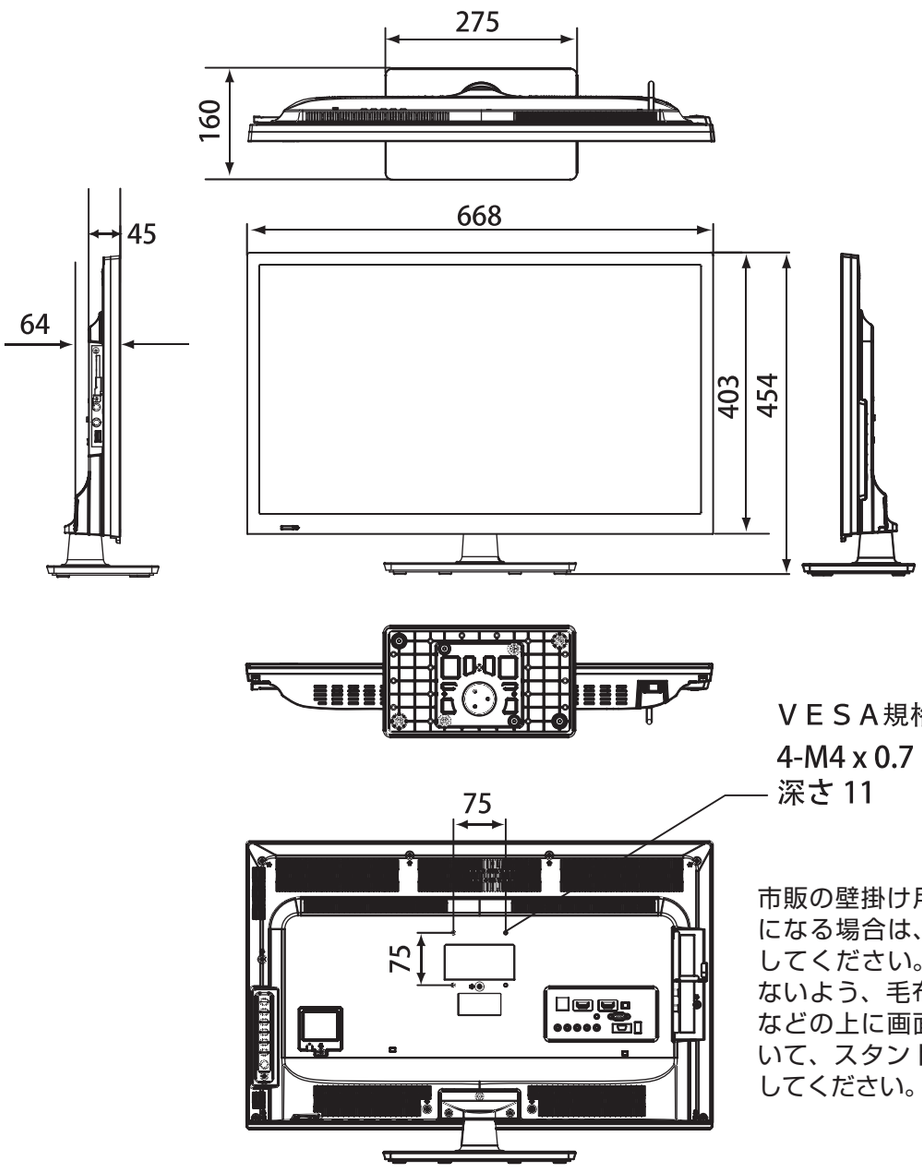
市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

主な仕様（つづき）

ＨＳ２９Ｋ３００背面図

単位mm



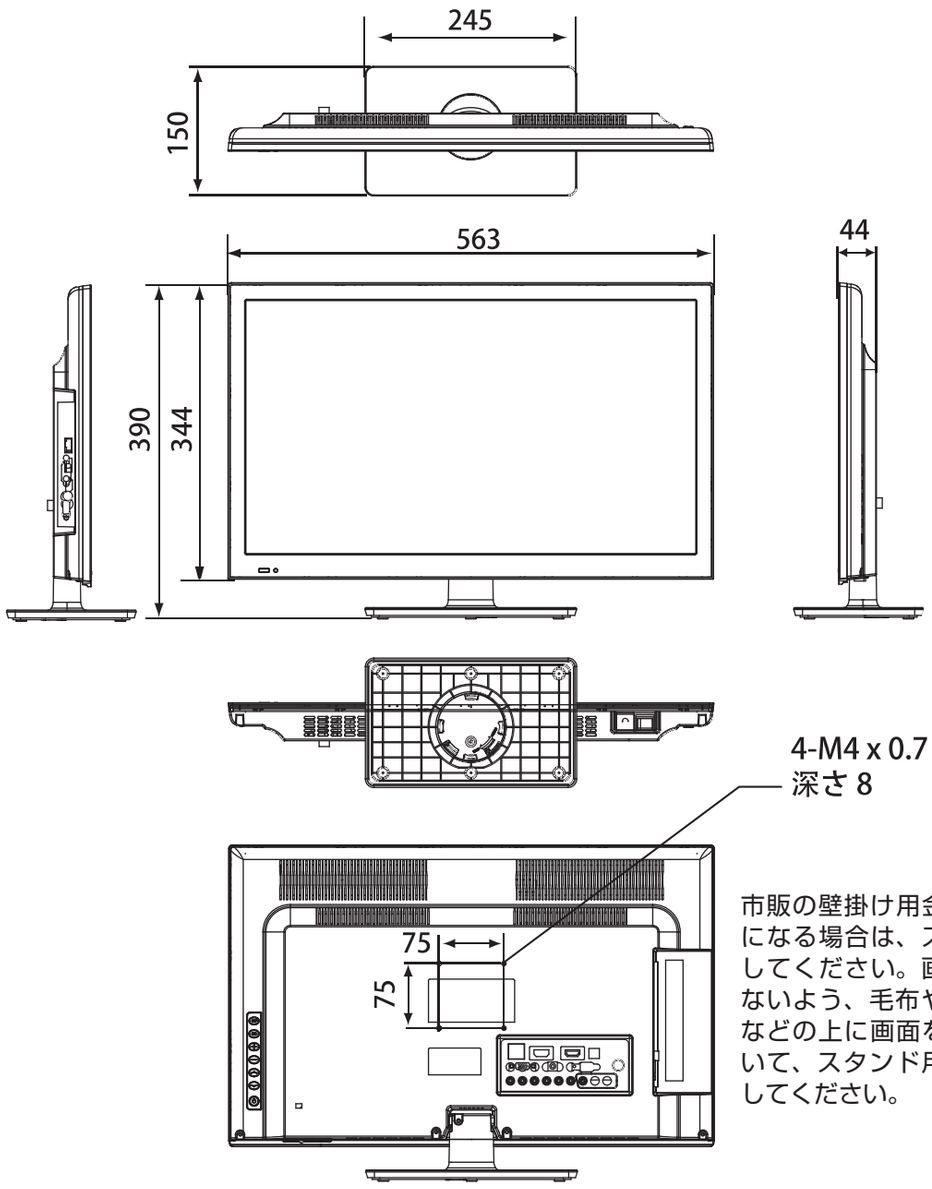
ＶＥＳＡ規格　ねじ穴※
4-M4 x 0.7
深さ 11

市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

ＨＳ２４Ｋ３００背面図

単位mm



市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

ソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェアのライセンス情報

Hisense 液晶テレビで使われるソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれの著作権が存在します。

本製品には、第三者が開発したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェアには、第三者の所有権および知的財産権が存在します。これらについては著作権法その他の法律により保護されています。

また、本製品は米国 Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照して下さい。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒 103-0007　東京都中央区日本橋浜町 2-19-9 VCT ビル 5F

海信日本株式会社　050-5529-0571

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください（弊社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします）。

当該ソフトウェアモジュールについては、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
Linux Kernel busybox vblade ALSA driver DirectFB driver	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
glibc ALSA lib DirectFB lib ShivaVG	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

※ ご購入いただいた Hisense 液晶テレビは、製品として弊社所定の保証をいたします。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble
The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary.
To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing
the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of
this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.
(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

ソフトウェアのライセンス情報（つづき）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components
(compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royaltyfree redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be torefrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable underany particular circumstance, the balance of the section is intended toapply and the section as a whole is intended to apply in othercircumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any
version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANGY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERSMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details. You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ソフトウェアのライセンス情報（つづき）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1,February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the
explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at nocharge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or atable of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works.

But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.)
Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

ソフトウェアのライセンス情報（つづき）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses
the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that
work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any

work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number.
If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

ソフトウェアのライセンス情報（つづき）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (continued)

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston,
MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」をご参照いただき、故障かどうかお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

●電話によるお問い合わせ

受付時間：月曜～金曜　9:30 ～ 18:00（祝祭日、年末年始、夏季休業期間を除く）

フリーダイヤル：**0120-987-924**

●FAX によるお問い合わせ

FAX 番号：**050-5529-0574**(有料)

※ お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

●メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは http://www.hisense.co.jp のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

※ サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用されるようお願いいたします。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合･修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

● ご相談になるときは以下のことをお知らせください。

型名：

使用状況や故障の状態（できるだけ詳しく）：

購入年月日：

年　　月　　日

お買い上げ店

メモ

メモ

Hisense® ハイセンス

海信日本株式会社
〒 103-0007　東京都中央区日本橋浜町 2-19-9 VCT ビル 5F
http://www.hisense.co.jp

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。
© Hisense Japan Co. Ltd.

HJ130702-0